magicolor 1650EN
リファレンスガイド

A034-9572-12K

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標および商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標および商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンターに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡

し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。

5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第３者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）
カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条　定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条　ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条　配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、（a）本契約の諸条件を遵守している、（b）明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、（c）損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、（d）本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、（e）本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条　保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条　責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプライヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条　商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条　期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条　政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条　準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条　一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）は、ICC プロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

「東洋インキ標準色コート紙」とは

東洋インキ製造株式会社の枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

DIC 標準色プロファイル使用許諾契約

本使用許諾契約（以下本契約といいます）をよくお読み下さい。本契約は、お客様（個人、法人の別を問いません）と日本国法人 DIC 株式会社（以下 DIC といいます）との間に締結される法的な契約です。お客様が本契約の条項に同意されない場合には、DIC 標準色プロファイル（以下総称してプロファイルといいます；DIC Standard SFC_AM2.0、DIC Standard SFM_AM2.0、DIC Standard SFU_AM2.0、DIC Standard SFC_FM2.0、DIC Wakimizu SFC_AM2.0、DIC Wakimizu SFC_FM2.0、DIC ABILIO SFC_AM1.0、DIC Hy-Bryte SFC_AM1.0、DIC Standard WebC_AM2.1、DIC Standard WebC_FM2.1、DIC NewsColor_AM1.0、DIC NewsColor_FM1.0）を一切使用することはできません。

1. 使用許諾

DIC は、お客様に対して、本契約の各条項に定める条件に従ったプロファイルの使用のみを無償にて許諾します。プロファイルに関する商標権、著作権等その他の知的財産権を含む権利は DIC に留保され、その利用を許諾するものではありません。

2. 使用方法およびその制限

本契約により、お客様は、プリンタにインストール済みのプロファイルを使用することができます。また、お客様は、プリンタまたはプリンタ用オプションであるハードディスクドライブのいずれか一台にプロファイルをインストールし、かつ使用することができます。

お客様は、プロファイルの全部またはその一部を、複製、解析、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、変換、翻訳、再使用許諾、譲渡、貸与、リース、頒布等をすることはできません。また、お客様は、プロファイルの類似品を製作し、または何らかのソフトウェアを改良するために、プロファイルを利用することはできません。

プロファイルは、人身損害、重大な物理的損害または環境上の損害をもたらす可能性のある用途に使用されることを意図するものではないことをお客様は承認するとともに、このような用途にプロファイルを使用しません。

DIC は、お客様が本契約の各条項のいずれか 1 つにでも違反した場合、本契約を通知なく、お客様が違反した時点に遡って解除することができるものとします。この場合には、お客様は、速やかにプロファイルを全て破棄しなければなりません。

3. 不保証

DIC は、お客様がプロファイルを無償で使用されることに鑑み、明示または黙示を問わず、プロファイルの商品価値および使用可能性、特定目的に対する適合性、ならびに第三者の権利侵害を侵害しないこと等その他一切の保証を行うことなく、プロファイルをお客様に提供します。これらについての一切のリスクはお客様のご負担とさせていただきます。DIC は、プロファイルに欠陥または瑕疵が発見された場合であっても、有償または無償を問わず、これらの欠陥または瑕疵の修正、修復を保証するものではありません。

4. 免責

過失を含むいかなる場合であっても、DIC は、プロファイルに起因する、または関連する付随的、特別もしくは間接損害、または逸失利益の賠償責任等その他一切の責任を負いません。たとえ、DIC が、これらの損害の可能性について事前に知らされていた場合も同様です。

5. 残存条項

第 3 条（不保証）および第 4 条（免責）の規定は、第 2 条（使用方法およびその制限）に基づき本契約が解除され、お客様がプロファイルを全て破棄された後もなお有効に存続するものとします。

6. 準拠法、契約の分離性および管轄裁判所

本契約は、日本の法律に準拠し、同法律に従って解釈されます。何らかの理由により、管轄権を有する裁判所が本契約のいずれかの条項またはその一部について効力を失わせた場合であっても、本契約の他の条項は依然として完全な効力を有するものとします。また、本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。

7. 完全な合意

本契約は、プロファイルの使用について、お客様と DIC の取り決めのすべてを記載するものです。

OpenSSL Statement

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

   “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”

4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

   “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

NetSNMP License

Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like)

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD)

Copyright ©2001-2003, Networks Associates Technology, Inc All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD)

Portions of this code are copyright ©2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice,this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD)

Copyright ©2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS"AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD)

Copyright ©2003-2004, Sparta, Inc All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD)

Copyright ©2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

WPA Supplicant

もくじ

1 Mac OS X での使い方

プリンタードライバーの動作環境

プリンタードライバーのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピューター	以下の CPU を搭載した Apple Macintosh : - PowerPC G3 以上（PowerPC G4 以上を推奨） - Intel プロセッサ
コンピューターとプリンターの接続方法	USB 接続（USB 2.0(High-Speed)）、 ネットワーク接続（10Base-T/100Base-TX）
オペレーティングシステム	Mac OS X（10.2.8/10.3/10.4/10.5/10.6）（最新のパッチの適用を推奨）
メモリ	OS が推奨する以上（128 MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量	256 MB 以上（イメージ展開用）
対応言語	日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、チェコ語、ポーランド語、韓国語、繁体字中国語、簡体字中国語、オランダ語

プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

プリンタードライバーのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

プリンタードライバーのインストール

下記は、Mac OS X 10.4 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。実際の画面の指示にしたがって操作してください。

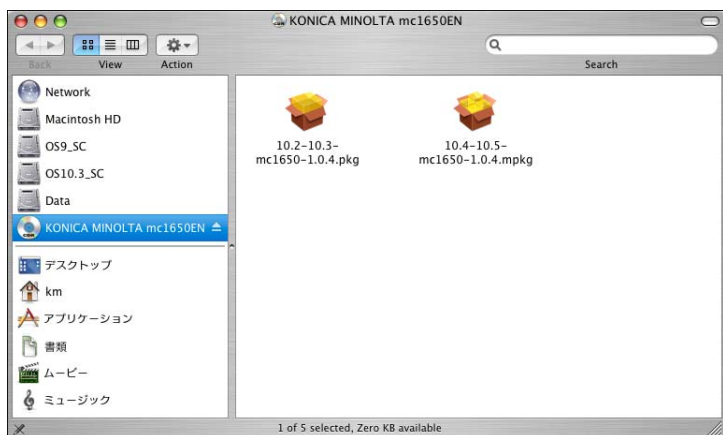
1 Printer Driver CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

Mac OS X 10.6 用プリンタドライバは、Printer Driver CD-ROM（For Windows 7/Windows Server 2008 R2/Mac OS X 10.6）に収録しています。

2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、パッケージファイル「10.4-10.5-mc1650-1.x.x.mpkg」をダブルクリックします。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

Mac OS X 10.2/10.3 をお使いの場合、「10.2-10.3-mc1650-1.x.x.pkg」をダブルクリックしてください。

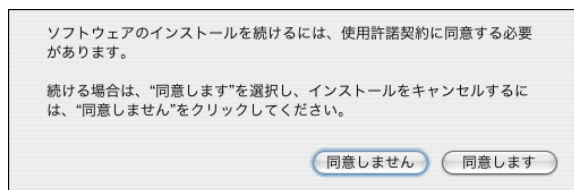
Mac OS X 10.6 をお使いの場合、「10.6-mc1650-1.x.x.mpkg」をダブルクリックしてください。

3 ［続ける］をクリックします。

4 ［続ける］をクリックします。

5 ［同意します］をクリックします。

ソフトウェアのインストールを続けるには、使用許諾契約に同意する必要があります。

続ける場合は、“同意します”を選択し、インストールをキャンセルするには、“同意しません”をクリックしてください。

同意しません　同意します

6 インストール先の選択画面で、インストールを行うディスクを選択し、［続ける］をクリックします。

7 ［インストール］をクリックします。

8 認証画面で、管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

インストールが始まります。

9 インストールが完了したら［閉じる］をクリックします。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

プリントセンターの設定（Mac OS X 10.2.8）

USB 接続の場合

1 USB ケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。

2 プリンターの電源がオンであることを確認し、コンピューターを再起動します。

3 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリントセンター」を開きます。

4 プリンタリスト画面で､キーボードの [Option] キーを押しながら [追加] をクリックします。

5 プリンタリストのポップアップメニューから「詳細」を選択します。

6 「装置」ポップアップメニューから「magicolor 1650」を選択します。

「magicolor 1650」が表示されないときは、プリンターの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

7 「プリンタの機種」ポップアップメニューから「KONICA MINOLTA」を選択します。

8 「名前」リストで「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」を選択します。

9 [追加] をクリックします
プリンタリストに新しいプリンターが表示されます。

オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」(p.67) を参照してください。

ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、IP プリント設定、ポート 9100 設定、IPP 設定があります。

ランデブー設定はサポート外です。

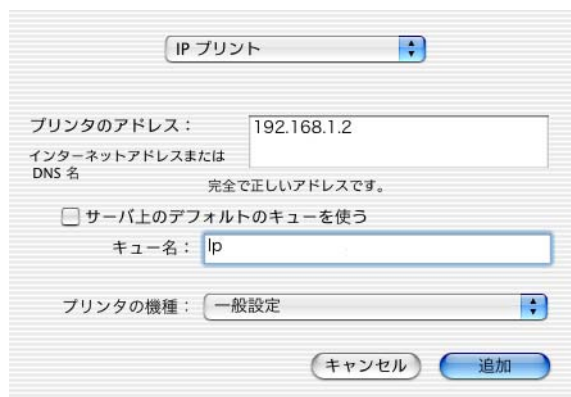
IP プリント設定

1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。

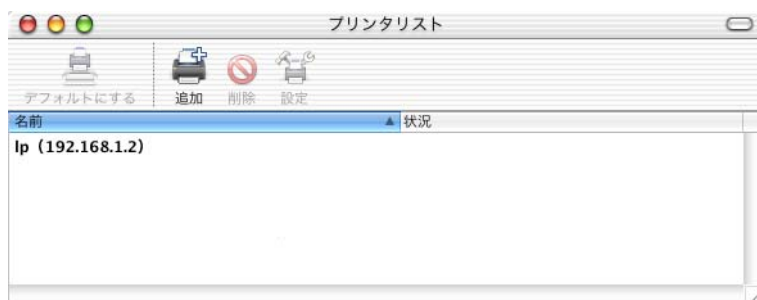
2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリントセンター」を開きます。

3 プリンタリスト画面で [追加] をクリックします。

4 ポップアップメニューから「IP プリント」を選択します。

5 「プリンタのアドレス」ボックスにプリンターの IP アドレスを入力します。「サーバ上のデフォルトのキューを使う」のチェックは外します。「キュー名」ボックスに「lp」を入力します。

6 「プリンタの機種」ポップアップメニューから「KONICA MINOLTA」を選択します。

7 「機種名」ボックスで「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」を選択します。

8 [追加] をクリックします。
プリンタリストに新しいプリンターが表示されます。

オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」(p.67）を参照してください。

ポート 9100 設定

1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリントセンター」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、キーボードの [Option] キーを押しながら [追加] をクリックします。

4 プリンタリストのポップアップメニューから「詳細」を選択します。

5 「装置」ポップアップメニューから「AppSocket/HP JetDirect」を選択します。

6 「装置名」ボックスにプリンター名を入力します。
例では、「magicolor 1650EN」を入力しています。

7 「装置の URI」ボックスで「socket:// ＜ IP アドレス＞」を入力します。

入力例：socket://192.168.1.2

8 「プリンタの機種」ポップアップメニューから「KONICA MINOLTA」を選択します。

9 「名前」ボックスで「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」を選択します。

10 [追加] ボタンをクリックします。
プリンタリストに新しいプリンターが表示されます。

オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」（p.67）を参照してください。

IPP 設定

1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリントセンター」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、キーボードの [Option] キーを押しながら [追加] をクリックします。

4 プリンタリストのポップアップメニューから「詳細」を選択します。

5 「装置」ポップアップメニューから「Internet Printing Protocol (http)」を選択します。

6 「装置名」ボックスにプリンター名を入力します。
例では、「magicolor 1650EN」を入力しています。

7 「装置の URI」ボックスで「http:// ＜ IP アドレス＞ /ipp」を入力します。

入力例：http://192.168.1.2/ipp

8 「プリンタの機種」ポップアップメニューから「KONICA MINOLTA」を選択します。

9 「名前」ボックスで「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」を選択します。

10 [追加] ボタンをクリックします。
プリンタリストに新しいプリンターが表示されます。

オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」（p.67）を参照してください。

プリンタ設定ユーティリティの設定（Mac OS X 10.3）

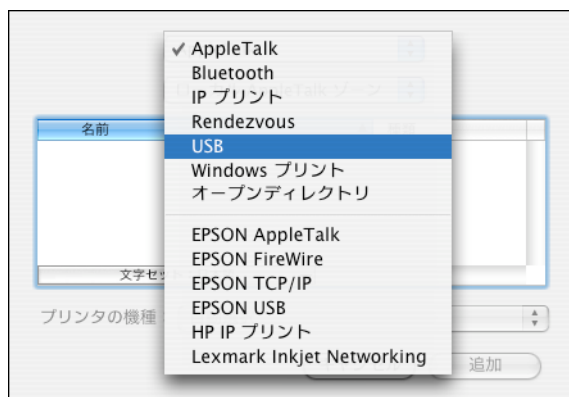
USB 接続の場合

1 USB ケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。

2 プリンターの電源がオンであることを確認し、コンピューターを再起動します。

3 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ（Print Center）」を開きます。

4 プリンタリスト画面で、[追加] をクリックします。

5 プリンタリストのポップアップメニューから「USB」を選択します。

6 「製品」リストから「magicolor 1650」を選択します。

「magicolor 1650」が表示されないときは、プリンターの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

7 「プリンタの機種」ポップアップリストから「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」が選択されていることを確認します。

8 [追加] をクリックします
プリンタリストに新しいプリンターが表示されます。

オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」（p.67）を参照してください。

ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、IP プリント設定（IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定）があります。

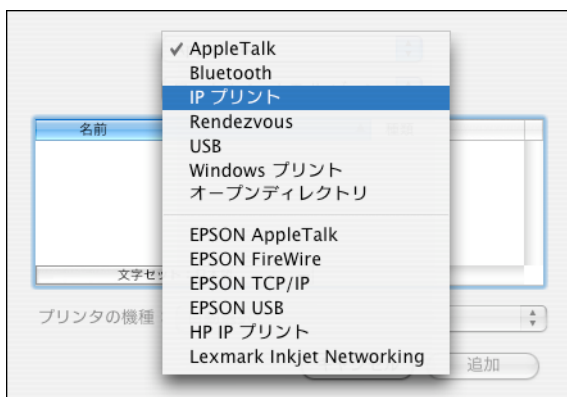
ランデブー設定はサポート外です。

IP プリント設定（IPP 設定 /LPD 設定 / ポート 9100 設定）

1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ（Print Center）」を開きます。

3 プリンタリスト画面で [追加] をクリックします。

4 ポップアップメニューから「IP プリント」を選択します。

5 「プリンタのタイプ」ポップアップメニューから、プリンターのタイプを選択します。

IPP 設定の場合は、「IPP（Internet Printing Protocol）」を選択します。

LPD 設定の場合は、「LPD/LPR」を選択します。

ポート 9100 設定の場合は、「Socket/HP JetDirect」を選択します。

6 「プリンタのアドレス」ボックスにプリンターの IP アドレスを入力します。

LPD 設定の場合、「キュー名」テキストボックスに「lp」と入力します。

IPP 設定の場合、「キュー名」テキストボックスに「ipp」と入力します。

7 「プリンタの機種」ポップアップメニューから「KONICA MINOLTA」を選択します。

8 「機種名」ボックスで「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」を選択します。

9 [追加] をクリックします。
プリンタリストに新しいプリンターが表示されます。

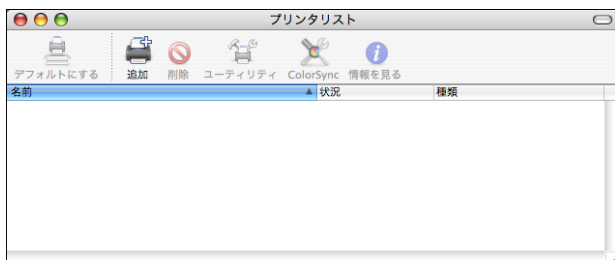
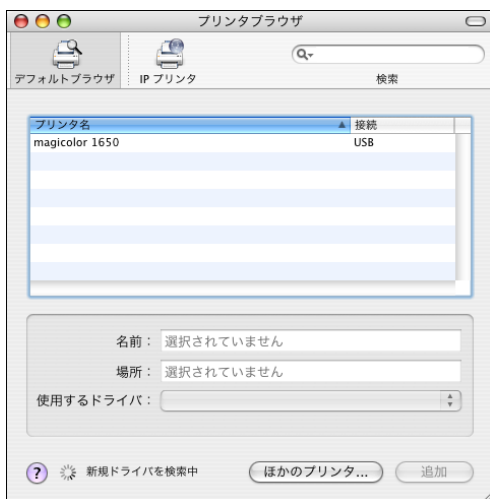
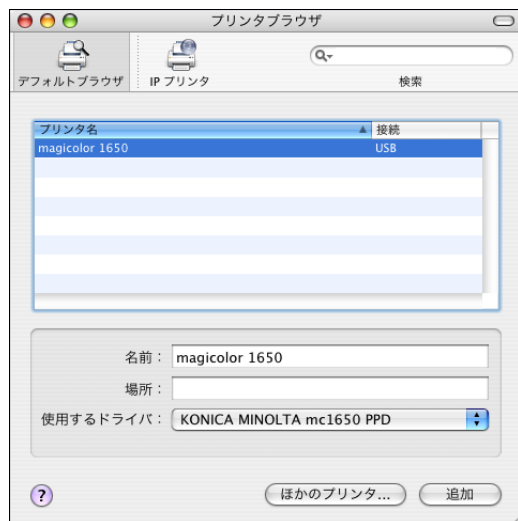
オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」（p.67）を参照してください。

プリンタ設定ユーティリティの設定（Mac OS X 10.4）

USB 接続の場合

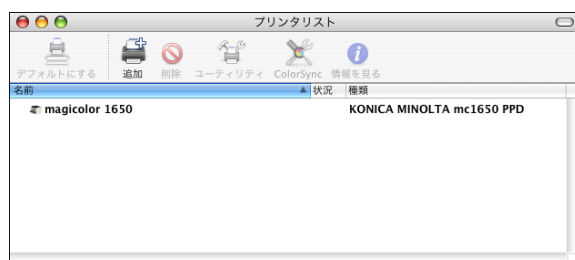
1 USB ケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、［追加］をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

4 プリンタブラウザ画面の「プリンタ名」リストから、「magicolor 1650」を選択します。

「magicolor 1650」が表示されないときは、プリンターの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

5 「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

6 ［追加］をクリックします。

プリンタリスト画面に新しいプリンターが表示されます。

オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」（p.67）を参照してください。

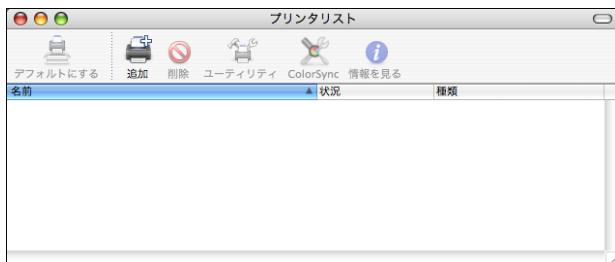
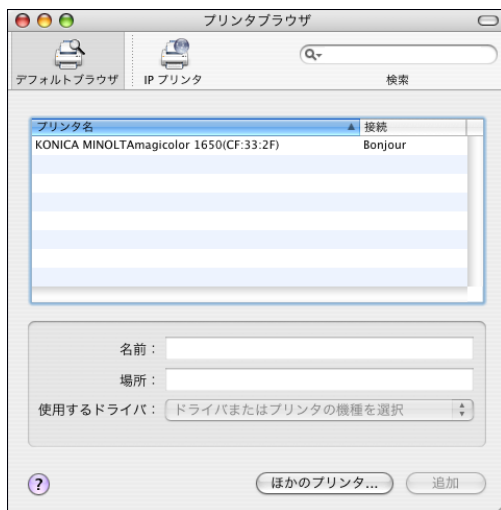
ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、Bonjour 設定と IP プリント設定（IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定）があります。

Bonjour 設定

1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、［追加］をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

4 プリンタブラウザ画面の「プリンタ名」リストから、「KONICA MINOLTAmagicolor 1650（xx:xx:xx）」を選択します。

xx:xx:xx は MAC アドレスの後半 6 桁です。

5 「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

6 ［追加］をクリックします。

7 お使いの環境に合わせて、給紙ユニットと両面ユニットを設定します。

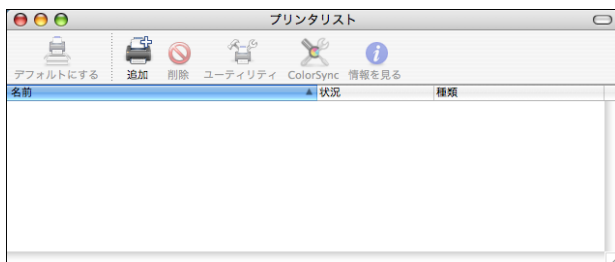
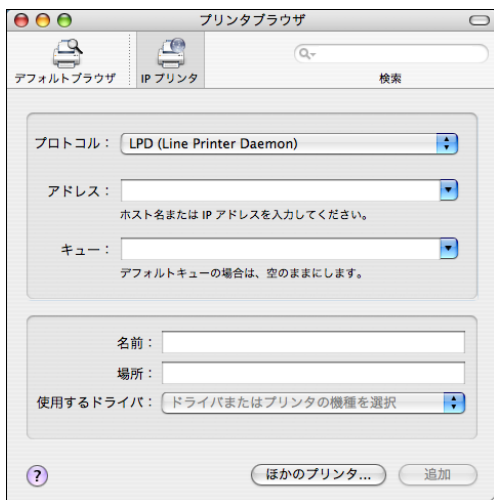
8 ［続ける］をクリックします。

プリンタリスト画面に、新しいプリンターが表示されます。

IP プリント設定（IPP 設定 / ポート 9100 設定 /LPD 設定）

1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で［追加］をクリックします。

4［IP プリンタ］をクリックします。

5「プロトコル」ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。

IPP 設定の場合、「IPP（Internet Printing Protocol）」を選択します。

LPD 設定の場合、「LPD（Line Printer Daemon）」を選択します。

ポート 9100 設定の場合、「Socket/HP Jet Direct」を選択します。

6 「アドレス」ボックスにプリンターの IP アドレスを入力します。

LPD 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「lp」と入力します。

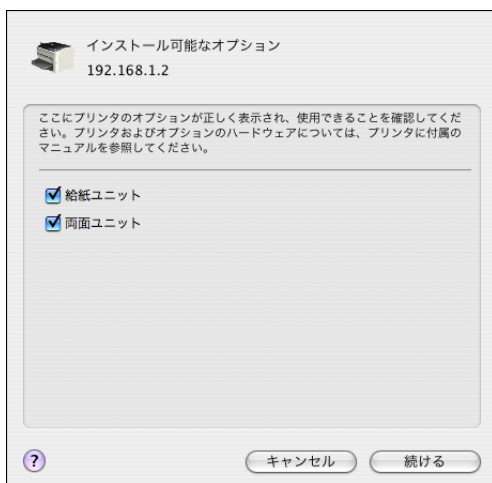
IPP 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「ipp」と入力します。

7 必要に応じて、「名前」ボックスにプリンターの名前を入力します。

8 必要に応じて、「場所」ボックスにプリンターの設置場所を入力します。

9 「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

10 ［追加］をクリックします。

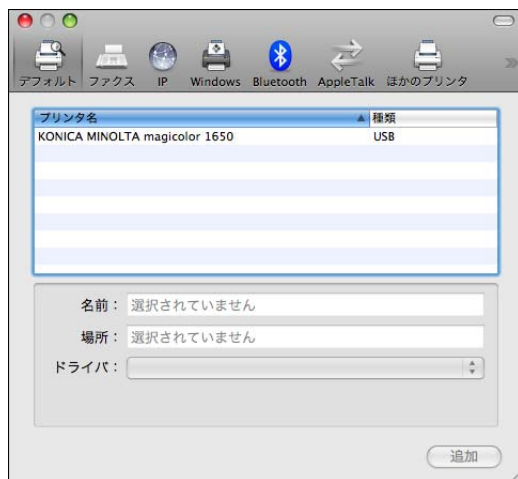
11 お使いの環境に合わせて、給紙ユニットと両面ユニットを設定します。

12 ［続ける］をクリックします。

プリンタリスト画面に新しいプリンターが表示されます。

プリンター設定（Mac OS X 10.5/10.6）

USB 接続の場合

1 USB ケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。
2 アップルメニューより「システム環境設定」を選択します。
3 「プリントとファクス」をクリックします。
4 「プリントとファクス」画面で、［＋］をクリックします。

プリンターブラウザー画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

5 プリンターブラウザー画面の「プリンタ名」リストから「KONICA MINOLTA magicolor 1650」を選択します。

「KONICA MINOLTA magicolor 1650」が表示されないときは、プリンターの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

6 「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」が、「ドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

7 ［追加］をクリックします。

8 お使いの環境に合わせて、給紙ユニットと両面ユニットを選択します。

9 ［続ける］をクリックします。

「プリントとファクス」画面が表示されます。

ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、Bonjour 設定と IP プリント設定（IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定）があります。

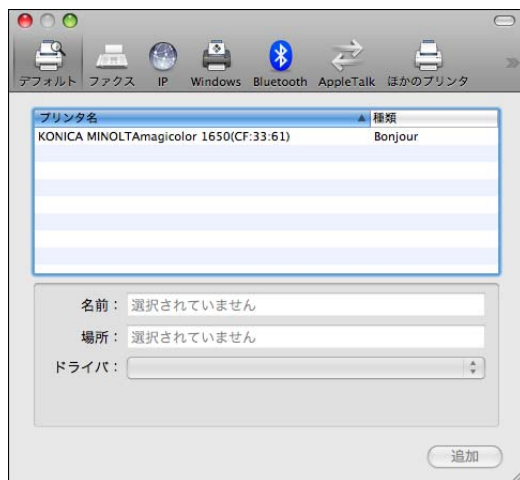
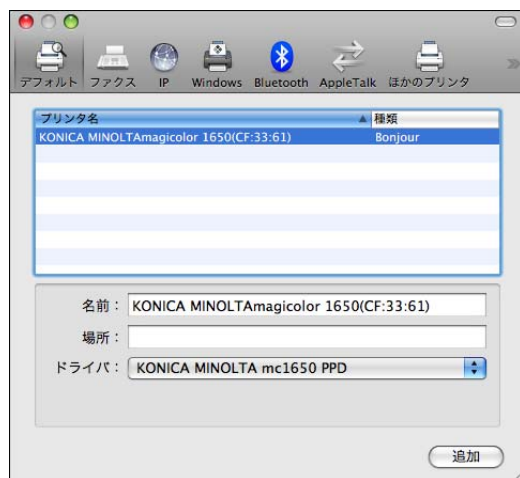
Bonjour 設定

1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。

2 アップルメニューより「システム環境設定」を選択します。

3「プリントとファクス」をクリックします。

4「プリントとファクス」画面で、［＋］をクリックします。

プリンターブラウザー画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

5 プリンターブラウザー画面の「プリンタ名」リストから「KONICA MINOLTAmagicolor 1650(xx:xx:xx)」を選択します。

“xx:xx:xx” は MAC アドレスの後半 6 桁です。

6 「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」が、「ドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

7 ［追加］をクリックします。

8 お使いの環境に合わせてオプションの給紙ユニットと両面ユニットを選択します。

9 ［続ける］をクリックします。

「プリントとファクス」画面が表示されます。

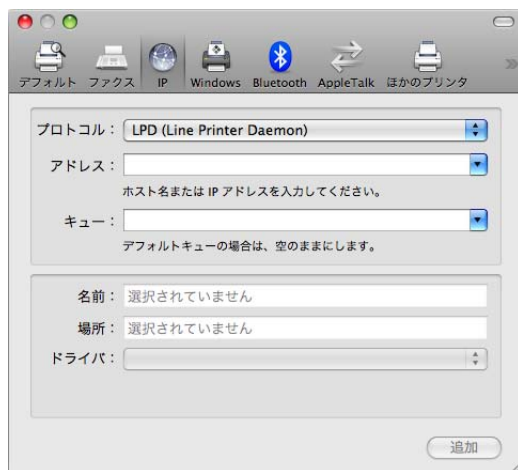
IP プリント設定（IPP 設定 /LPD 設定 / ポート 9100 設定）

1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。

2 アップルメニューより「システム環境設定」を選択します。

3 「プリントとファクス」をクリックします。

4 「プリントとファクス」画面で、［＋］をクリックします。

5 ［IP］をクリックします。

6 「プロトコル」ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。

- IPP 設定の場合、「IPP（Internet Printing Protocol）」を選択します。
- LPD 設定の場合、「LPD（Line Printer Daemon）」を選択します。
- ポート 9100 設定の場合、「HP Jetdirect - Socket」を選択します。

7 「アドレス」ボックスにプリンターの IP アドレスを入力します。

– LPD 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「lp」と入力します。

– IPP 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「ipp」と入力します。

8 必要に応じて、「名前」ボックスにプリンターの名前を入力します。

9 必要に応じて、「場所」ボックスにプリンターの設置場所を入力します。

10 「KONICA MINOLTA mc1650 PPD」が、「ドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

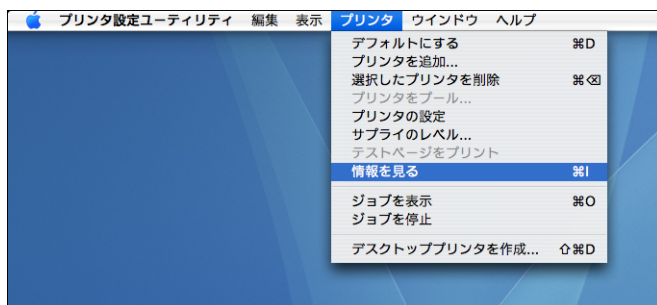
11 ［追加］をクリックします。

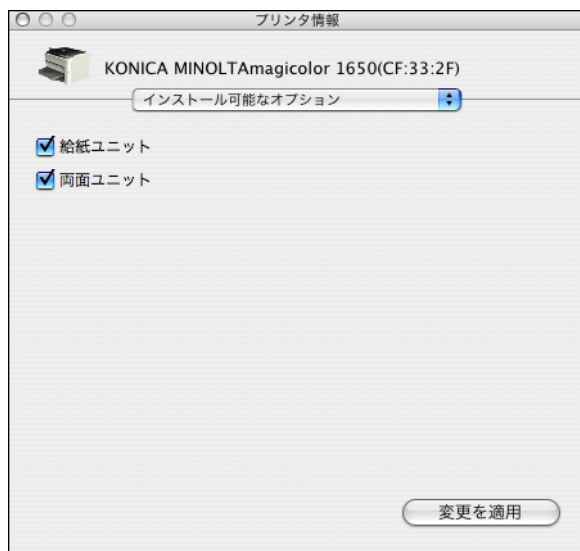
「プリントとファクス」画面が表示されます。

オプションの設定

Mac OS X 10.2/10.3/10.4 の場合

1 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

2 プリンタリスト画面で本機を選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。

3 ポップアップメニューから「インストール可能なオプション」を選択します。

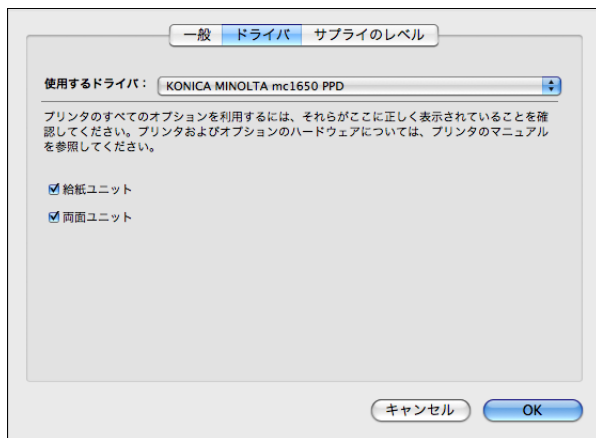
4 お使いの環境に合わせて、給紙ユニットと両面ユニットを選択します。

5 ［変更を適用］をクリックします。

6 プリンタ情報画面を閉じます。

Mac OS X 10.5/10.6 の場合

1 アップルメニューより「システム環境設定」を選択します。
2「プリントとファクス」をクリックします。
3 プリンタリストから本機を選択し、「オプションとサプライ」をクリックします。

4「ドライバ」を選択します。

5 お使いの環境に合わせてオプションの給紙ユニットと両面ユニットを選択します。

6 ［OK］をクリックします。

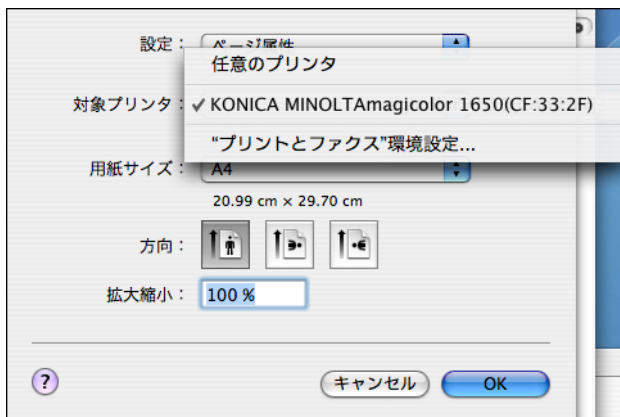
7 「プリントとファクス」画面を閉じます。

ページ設定画面の設定

アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択したときに表示されます。

1 「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択します。

ページ設定画面が表示されます。

2 「対象プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

ページ設定画面の「設定」ポップアップメニューで表示される各メニューでは、以下のような設定を行うことができます。

設定	設定内容
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行います。
デフォルトとして保存	変更した設定を初期値として保存します。

ページ属性メニュー

ページ属性画面では、用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行うことができます。

■ 用紙サイズ

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ 方向

印刷方向を選択します。

■ 拡大縮小

拡大縮小して印刷する場合は、拡大縮小の比率を入力します（25 ～ 400%）。

どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4.2 mm までの範囲は印刷できません。

カスタム用紙サイズの設定

ページ属性画面（前ページ）の「用紙サイズ」ポップアップメニューから「カスタムサイズを管理」を選択すると、カスタム・ページ・サイズ画面が表示されます。

カスタム・ページ・サイズ画面では、カスタム用紙サイズの設定を行うことができます。

■ ＋

新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ －

選択しているカスタム用紙サイズを削除するときにクリックします。

■ 複製

すでにあるカスタム用紙サイズを複製して新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ ページサイズ

縦と横のサイズを入力して、カスタム用紙サイズを設定します。

本プリンターで設定できる数値は、以下のとおりです。

幅：	9.2 cm ～ 21.6 cm
高さ（普通紙）の場合：	19.5 cm ～ 35.6 cm
高さ（厚紙）の場合：	18.4 cm ～ 29.7 cm

■ プリンタの余白

ページの上下左右の余白（マージン）の値を設定します。

どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4.2 mm までの範囲は印刷できません。

プリント画面の設定（Mac OS X 10.4）

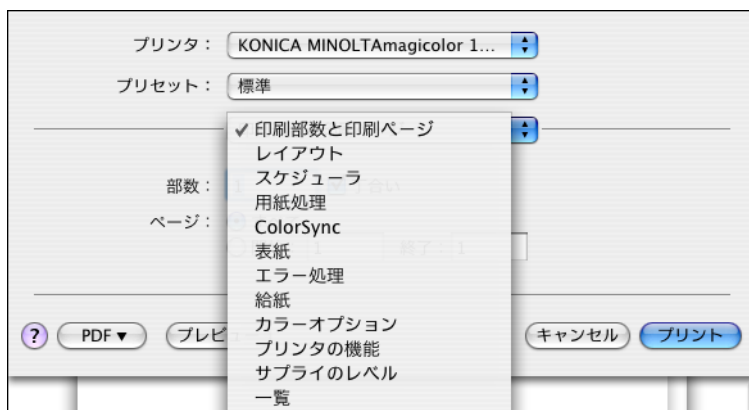
ここでは、アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

1 「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択します。

プリント画面が表示されます。

2 「プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー

メニュー	設定内容
印刷部数と印刷ページ	印刷するページや部数を設定します。
レイアウト	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定をします。
スケジューラ	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。
用紙処理	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
ColorSync	ColorSync の設定をします。
表紙	表紙の設定をします。
エラー処理	エラーの出力方法を指定します。

メニュー	設定内容
給紙	給紙方法を設定します。
カラーオプション	カラー印刷の設定をします。
プリンタの機能	用紙種類、解像度の設定をします。
サプライのレベル	消耗品の状態を表示します。
一覧	現在の印刷設定を確認することができます。

同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

■ ?（ヘルプボタン）

プリント画面のヘルプを表示します。

■ PDF

PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。

■ プレビュー

印刷を行う前に印刷イメージを確認したいときに、このボタンをクリックします。

■ キャンセル

変更した設定を無効（キャンセル）にして、画面を閉じます。

■ プリント

変更した設定を有効にして、印刷を行います。

印刷部数と印刷ページメニュー

印刷部数と印刷ページ画面では、印刷するページや部数の設定を行います。

■ 部数

印刷部数を設定します。「丁合い」にチェックをつけると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。

例えば部数を「5」にして「丁合い」にチェックをつけると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。

■ ページ

すべて：	すべてのページを印刷します。
開始、終了：	印刷するページを指定します。

レイアウトメニュー

レイアウト画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。

■ ページ数／枚

1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば「2」を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。

■ レイアウト方向

1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ 境界線

1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ 両面

両面印刷に関する設定を行います。

切：	両面印刷を行いません。
長辺とじ：	長辺とじで両面印刷を行います。
短辺とじ：	短辺とじで両面印刷を行います。

両面印刷を行うときは、あらかじめ「オプションの設定」(p.67) で「両面ユニット」を選択しておいてください。

スケジューラメニュー

スケジューラ画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。

■ 書類をプリント

今すぐプリント：すぐに印刷を開始します。

後でプリント：　印刷を開始する時刻を指定します。

保留：　　　　　プリントジョブを保留します。

■ 優先順位

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

用紙処理メニュー

用紙処理画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。

■ ページの順序

自動：文書のページ順序で印刷するときに選択します。

通常：通常のページ順序で印刷するときに選択します。

逆送り：印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。

■ プリント

すべてのページ：すべてのページを印刷します。

奇数ページ：奇数ページのみ印刷します。

偶数ページ：偶数ページのみ印刷します。

■ 出力用紙サイズ

使用する出力用紙サイズ：ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。

用紙サイズに合わせる：書類の用紙サイズを、プリンターで使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。プリンターで使用されている用紙サイズを指定します。

ColorSync メニュー

■ カラー変換

コンピューターでカラーマッチングを行うか、プリンターでカラーマッチングを行うかを選択します。

■ Quartz フィルタ

Quartz フィルタを選択し、色調を変更できます。

表紙メニュー

■ 表紙をプリント

書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。

■ 表紙のタイプ

表紙の種類を選択します。

■ 課金情報

表紙に印刷される課金情報を設定します。

エラー処理メニュー

■ PostScript エラー

PostScript エラーを出力するかどうかを選択します。

■ トレイの切り替え

このプリンタードライバーでは使用しません。

給紙メニュー

給紙画面では、給紙方法の設定を行います。

■ 全体

すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

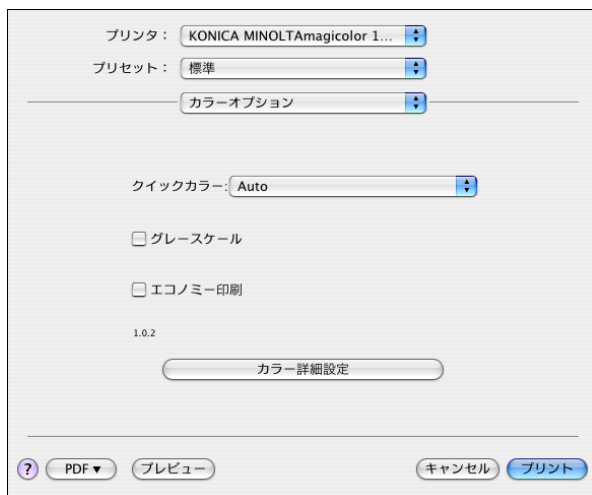
■ 先頭ページのみ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ 残りのページ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

オプションの給紙ユニットを装着している場合は、あらかじめ「オプションの設定」（p.67）で「給紙ユニット」を選択しておいてください。「給紙ユニット」が選択されていない場合は、トレイ 2 がグレー表示になり選択できません。

カラーオプションメニュー

■ クイックカラー

クイックカラーを選択します。

■ グレースケール

この項目にチェックをつけると、カラー部分をグレースケールで印刷します。

■ エコノミー印刷

エコノミー印刷を行うかどうかを選択します。

■ カラー詳細設定

クリックすると、カラー詳細設定ページを表示します。

クイックカラーを「カスタム」に設定している場合に有効です。

カラー詳細設定 / イメージ

■ RGB カラー

イメージの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

イメージの RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB イメージの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ スクリーン

イメージの中間色の再現性を選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / テキスト

■ RGB カラー

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

テキストの RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB のテキストデータの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ スクリーン

テキストの中間色の再現性を選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / グラフィックス

■ RGB カラー

グラフィックスの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

グラフィックスの RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB のグラフィックスの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ スクリーン

グラフィックスの中間色の再現性を選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / シミュレーション

- ■ シミュレーションプロファイル

  RGB カラープロファイルを選択します。
- ■ 用紙下地色にあわせる

  下地色を印刷するかどうかを選択します。
- ■ CMYK グレー再現

  プリントジョブ内の中間色を印刷する方法を選択します。
- ■ プロファイルの管理

  カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。
- ■ 詳細設定を隠す

  カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

プリンタの機能メニュー

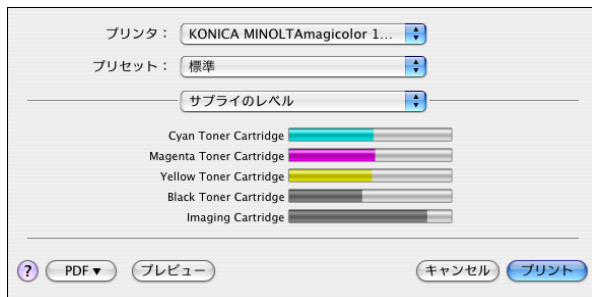
■ 用紙種類

用紙の種類を選択します。

■ 解像度

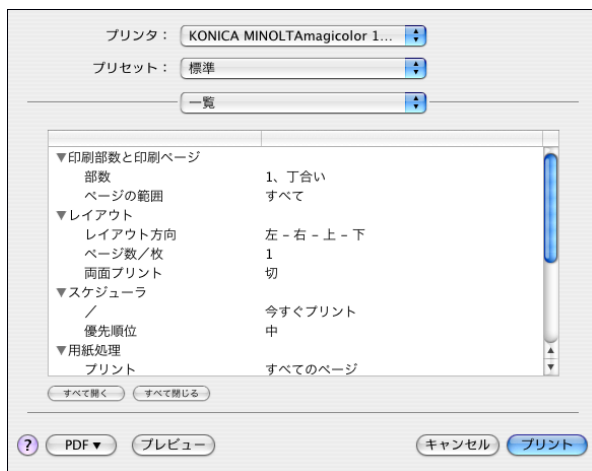
解像度を選択します。

サプライのレベルメニュー

サプライのレベル画面では、現在の消耗品の状態を確認することができます。

サプライのレベルメニューは、Mac OS X v10.4 で Bonjour 接続、IPP 接続、LPD 接続された場合に表示されます。

サプライのレベルメニューは、お使いのアプリケーションによっては表示されない場合があります。

一覧メニュー

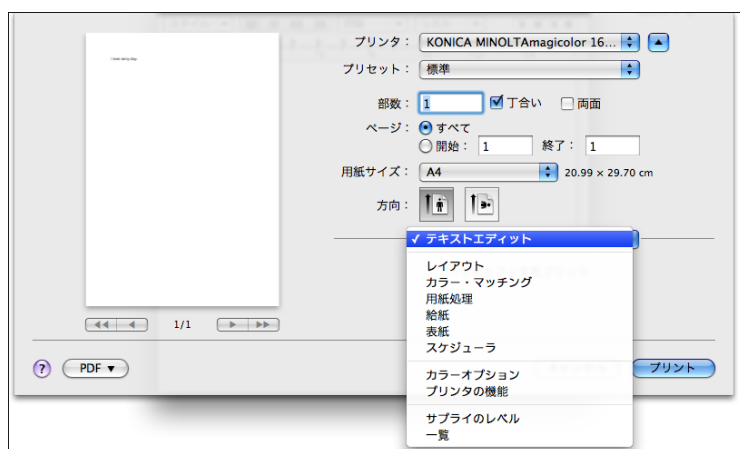
一覧画面では、現在のプリント設定を確認することができます。

プリント画面の設定（Mac OS X 10.5/10.6）

ここではアプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「プリント…」または「印刷…」を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

1 「ファイル」メニューから「プリント…」または「印刷…」を選択します。

2 「プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー

メニュー	設定内容
レイアウト	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定をします。
カラー・マッチング	カラーマッチングの方法を設定します。
用紙処理	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
給紙	給紙方法を設定します。
表紙	表紙の設定をします。
スケジューラ	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。

メニュー	設定内容
カラーオプション	カラー印刷の設定を行います。
プリンタの機能	用紙種類と解像度の設定を行います。
サプライのレベル	消耗品の状態を表示します。
一覧	現在の印刷設定を確認することができます。

共通のボタン

■ ?（ヘルプボタン）

プリント画面のヘルプを表示します。

■ PDF

PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。

■ キャンセル

変更した設定を無効（キャンセル）にして、画面を閉じます。

■ プリント

変更した設定を有効にして、印刷を行います。

■ 部数

印刷部数を設定します。「丁合い」にチェックをつけると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。

例えば部数を「5」にして「丁合い」にチェックをつけると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。

「両面」にチェックをつけると、文書を紙の両側に印刷します。

■ ページ

すべて：　すべてのページを印刷します。

開始、終了：　印刷するページを指定します。

■ 用紙サイズ

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ 方向

印刷方向を選択します。

レイアウトメニュー

レイアウト画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。

■ ページ数／枚

1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば「2」を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。

■ レイアウト方向

1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ 境界線

1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ 両面

両面印刷に関する設定を行います。

切：	両面印刷を行いません。
長辺とじ：	長辺とじで両面印刷を行います。
短辺とじ：	短辺とじで両面印刷を行います。

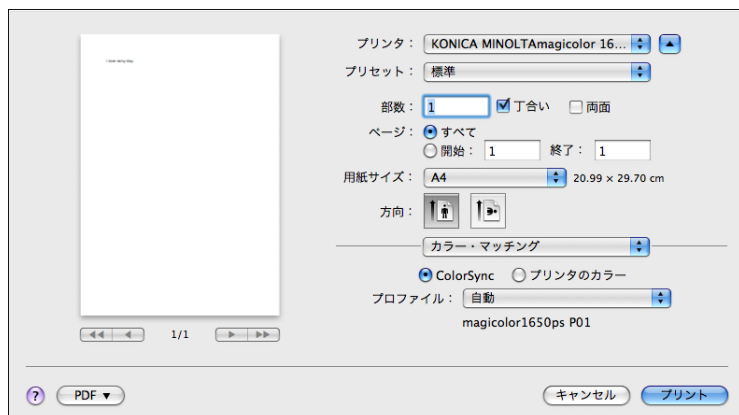
両面印刷を行うときは、あらかじめ「オプションの設定」（p.67）で「両面ユニット」を選択しておいてください。

■ ページの方向を反転

印刷する方向を上下反転させます。

■ 左右反転（OS X 10.6 のみ）

左右反転して印刷するかどうか指定します。

カラー・マッチング

■ カラー・マッチング

ColorSync :	コンピューターでカラーマッチングを行います。
プリンタのカラー :	プリンターでカラーマッチングを行います。

■ プロファイル

カラーマッチングを行うためのプロファイルを選択します。

用紙処理メニュー

用紙処理画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。

■ プリントするページ

すべてのページ：	すべてのページを印刷します。
奇数ページのみ：	奇数ページのみ印刷します。
偶数ページのみ：	偶数ページのみ印刷します。

■ 出力用紙サイズ

ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。

用紙サイズに合わせる：	書類の用紙サイズを、プリンターで使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。プリンターで使用されている用紙サイズを指定します。
縮小のみ：	印刷サイズを縮小する場合に選択してください。

■ ページの順序

自動：	文書のページ順序で印刷するときに選択します。
通常：	通常のページ順序で印刷するときに選択します。
逆送り：	印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。

給紙メニュー

給紙画面では、給紙方法の設定を行います。

■ 全体

すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

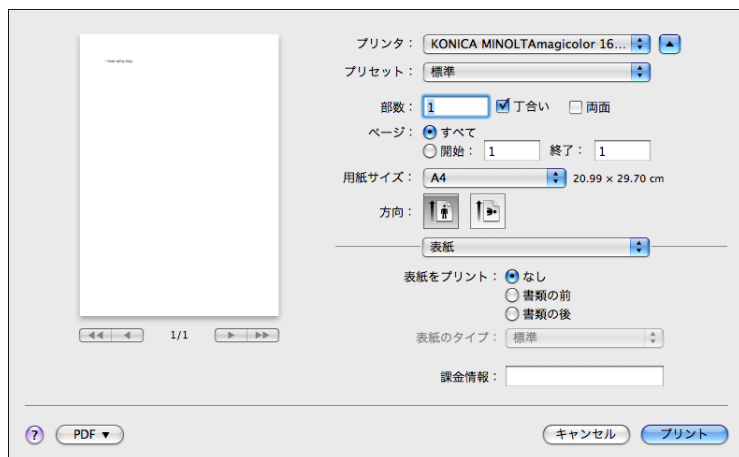
■ 先頭ページのみ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ 残りのページ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

オプションの給紙ユニットを装着している場合は、あらかじめ「オプションの設定」（p.67）で「給紙ユニット」を選択しておいてください。オプションの設定画面で「給紙ユニット」が選択されていない場合は、給紙画面のトレイ２がグレー表示になり選択できません。

表紙メニュー

■ 表紙をプリント

書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。

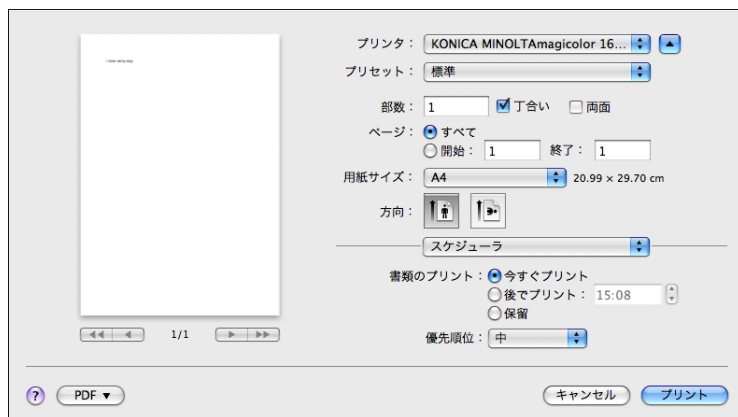
■ 表紙のタイプ

表紙の種類を選択します。

■ 課金情報

表紙に印刷される課金情報を設定します。

スケジューラメニュー

スケジューラ画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。

■ 書類のプリント

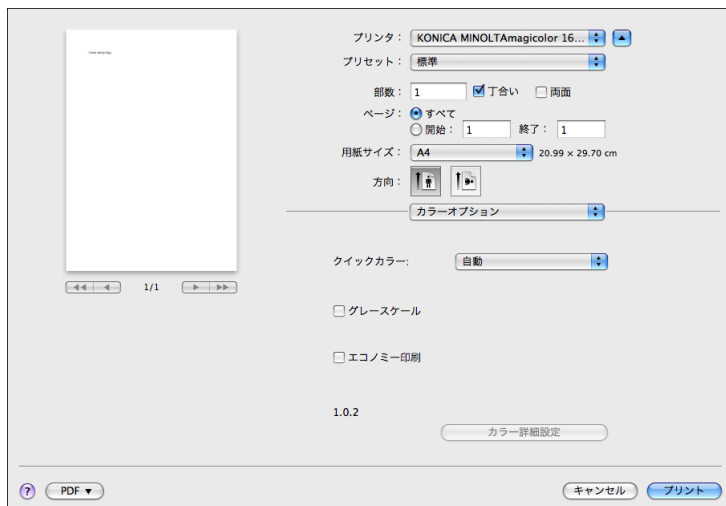
今すぐプリント：すぐに印刷を開始します。

後でプリント： 印刷を開始する時刻を指定します。

保留： プリントジョブを保留します。

■ 優先順位

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

カラーオプションメニュー

■ クイックカラー

クイックカラーを選択します。

■ グレースケール

この項目にチェックをつけると、カラー部分をグレースケールで印刷します。

■ エコノミー印刷

エコノミー印刷を行うかどうかを選択します。

■ カラー詳細設定

クリックすると、カラー詳細設定ページを表示します。

クイックカラーを「カスタム」に設定している場合に有効です。

カラー詳細設定 / イメージ

■ RGB カラー

イメージの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

イメージの RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB イメージの黒色とグレーの再現方法を選択します。

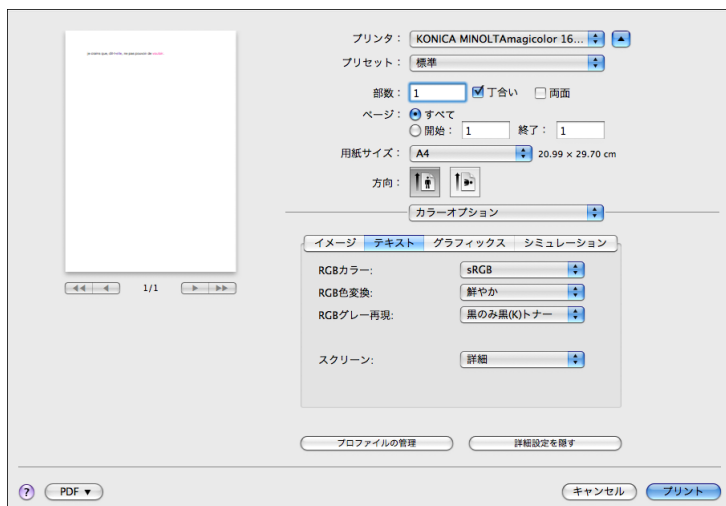
■ スクリーン

イメージの中間色の再現性を選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / テキスト

■ RGB カラー

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

テキストの RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB テキストの黒色とグレーの再現方法を選択します。

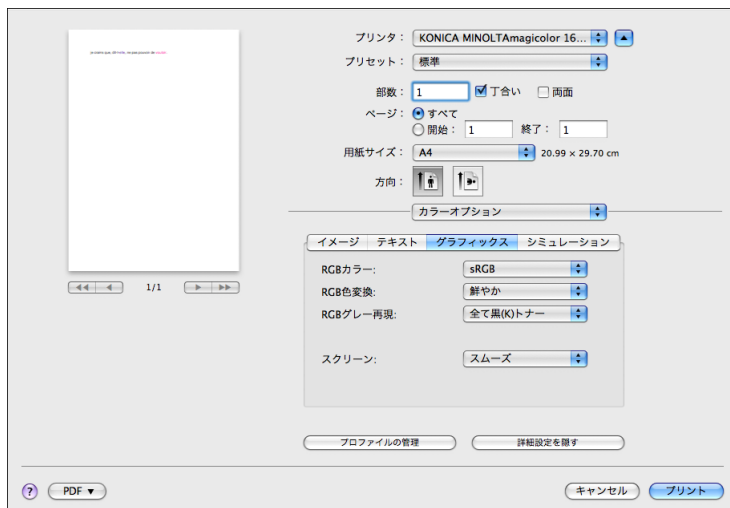
■ スクリーン

テキストの中間色の再現性を選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / グラフィックス

■ RGB カラー

グラフィックスの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

グラフィックスの RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB グラフィックスの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ スクリーン

グラフィックスの中間色の再現性を選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / シミュレーション

■ シミュレーションプロファイル

RGB カラープロファイルを選択します。

■ 用紙下地色にあわせる

下地色を印刷するかどうかを選択します。

■ CMYK グレー再現

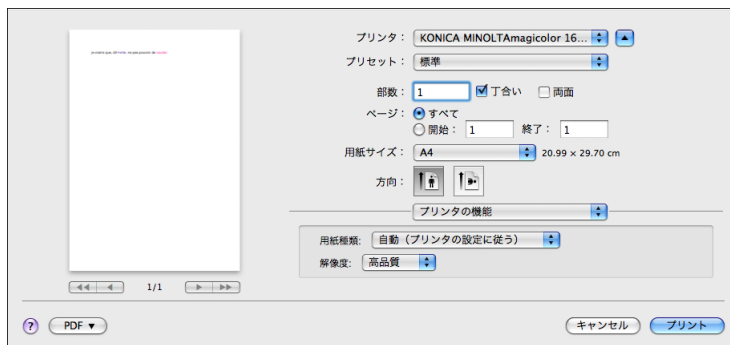
プリントジョブ内の中間色を印刷する方法を選択します。

■ プロファイルの管理

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

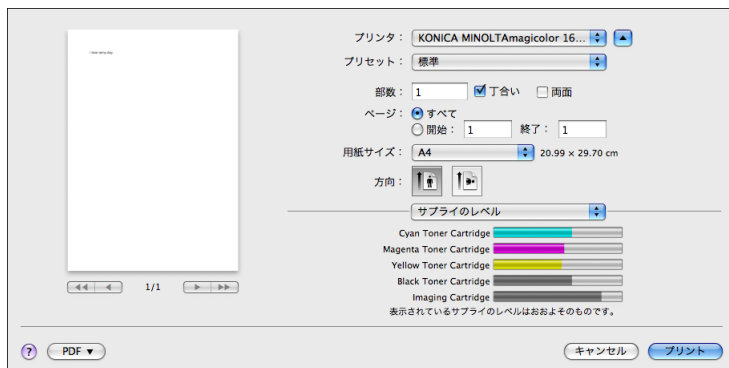
プリンタの機能メニュー

■ 用紙種類

用紙の種類を選択します。

■ 解像度

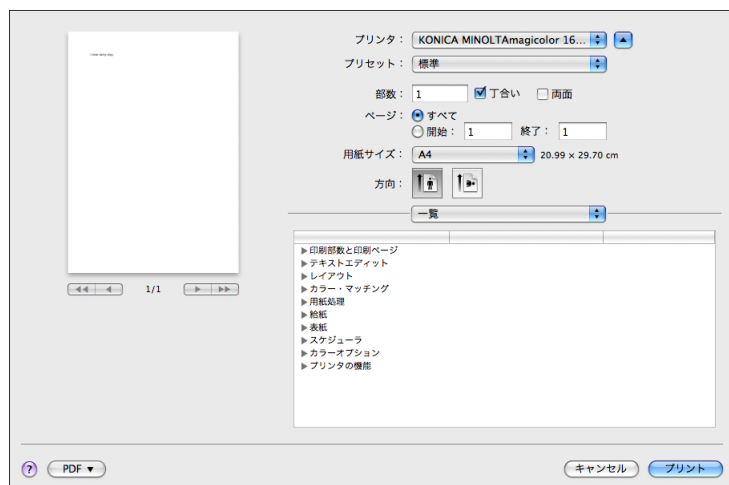
解像度を選択します。

サプライレベルのメニュー

サプライレベルの画面では、現在の消耗品の状態を確認することができます。

サプライのレベルメニューは、Mac OS X v10.4/10.5/10.6 で Bonjour 接続、IPP 接続、LPD 接続された場合に表示されます。

サプライのレベルメニューは、お使いのアプリケーションによっては表示されない場合があります。

一覧メニュー

一覧画面では、現在のプリント設定を確認することができます。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリセットで保存した機能が反映されない。	プリンターの機能によっては、プリセットでは保存されません。
プリンターが作動しない。	OS の不具合により、用紙サイズと用紙種類の組合せが禁止できません。正しくない組合せで印刷したとき、プリンターが作動しません。用紙サイズと用紙種類は、正しい組合せで印刷してください。
Bonjour でプリンターが検出できない。	PageScope Web Connection を使って、Network – TCP/IP – Bonjour 有効をチェックしてください。詳しくは、「ネットワーク画面」（p.243）をごらんください。
プリンタードライバーおよび PPD ファイルのバージョンを確認したい。	Mac OS X 10.4 の場合： 「プリンタ設定ユーティリティ」よりプリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のポップアップメニューから「名前と場所」を選択します。 Mac OS X 10.5/10.6 の場合： 「プリントとファクス」よりプリンターを選択します。「オプションとサプライ」をクリックし、「一般」タブをクリックします。
他社製のプリンターから切り替えたとき、画面の表示がおかしい。	一旦プリント画面を閉じ、開き直してください。
カスタム用紙サイズが、設定した値と違う。	OS の不具合により、カスタム用紙サイズで設定した値が、微妙に変わってしまうことがあります。（例：14.70 cm → 14.69 cm）
2-up 印刷時に用紙の中央に印刷されない。	OS の不具合により、以下のサイズで 2-up 印刷を行ったときは、用紙の中央に印刷されません。リーガル、SP Folio、フールスキャップ、ガバメントリーガル、ステートメント、Folio

症状	対応・処置
Acrobat Reader からの印刷時、「丁合い」が正しく機能しなかったり、印刷途中でジョブがキャンセルされたりする。	Acrobat Reader で印刷に不具合が出る場合は、OS に付属の「プレビュー」で印刷してください。
Mac OS X 10.4 を使用して、カスタム用紙サイズを選択し、幅を 21.6 cm に設定し、ジョブを送信すると Letter サイズの用紙を要求される。	カスタム用紙サイズの幅を 21.59 cm に変更し、再度ジョブを送信してください。

NetWare での使い方

NetWare による利用

プリンターコントローラーは、以下の環境をサポートしています。

NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	バインダリ /NDS	プリントサーバー／リモートプリンター
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	プリントサーバー
	TCP/IP	NDPS（lpr）	

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのリモートプリンターモードの場合

バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

1. クライアントよりSupervisor権限でPserverを登録するNetWareサーバーにログインします。
2. Pconsole を起動します。
3. 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、[Enter] キーを押します。
4. 「プリントサーバー名」、「プリンター名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンターの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。
5. [Esc] キーを押し、Pconsole を終了します。
6. NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

キューを使用するユーザー権限、プリンター通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

7 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

– NetWare 有効： チェック済み

– フレームタイプ： 自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）

– 動作モード： プリントサーバー／リモートプリンター

– プリントサーバー名： 手順 4 で設定したプリンター名

– プリンター番号： プリンター番号（0 ～ 255）を設定します。255 を設定すると「自動」になります

8 プリンターの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

9 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバー画面を表示し、接続しているプリンター 0 に、作成したプリンターが「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのプリントサーバーモードの場合

バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

1 クライアントよりSupervisor権限でPserverを登録するNetWareサーバーにログインします。

2 Pconsole を起動します。

3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、［Enter］キーを押します。

4 「プリントサーバー名」、「プリンター名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンターの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

5 ［Esc］キーを押し、Pconsole を終了します。

6 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

– NetWare 有効： チェック済み

– フレームタイプ： 自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）

– 動作モード： プリントサーバー

– プリントサーバー名： 手順 4 で作成したプリントサーバー名

– プリントサーバーパスワード： NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。

– プリントサーバモード： 両方

– 優先ファイルサーバ： Pserver を接続するファイルサーバー名

– プリントキュー取得間隔： 1（必要に応じて変更してください）

7 プリンターの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

8 NetWare Server のコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

9 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続されていることを確認してください。

NetWare 4.x リモートプリンターモード（NDS）の場合

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ」を選択します。

4 「プリントサーバー名」、「プリンター名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンターの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

キューを使用するユーザー権限、プリンター通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

– NetWare 有効： チェック済み
– フレームタイプ： 自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
– 動作モード： プリントサーバー／リモートプリンター
– プリントサーバー名： 手順 4 で設定したプリンター名
– プリンター番号： プリンター番号（0 ～ 255）を設定します。255 を設定すると「自動」になります。

6 プリンターの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

7 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

8 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバー画面を表示し、接続しているプリンター 0 に、作成したプリンターが「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバーモード（NDS）の場合

プリントサーバーモードを使用する場合は、NetWare サーバーに IPX プロトコルがロードされている必要があります。

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ（非 NDPS）」を選択します。

4 「プリントサーバー名」、「プリンター名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンターの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、［作成］をクリックします。

キューを使用するユーザー権限、プリンター通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare」メニューを選択し、各項目を設定します。

– NetWare 有効： チェック済み

– フレームタイプ： 自動（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）

– 動作モード： プリントサーバー

– プリントサーバー名： 手順 4 で作成したプリントサーバー名

– プリントサーバーパスワード： NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。

– プリントサーバモード /NDS： NDS

– 優先 NDS ツリー名： Pserver がログインするツリー名

– 優先 NDS コンテキスト名： Pserver を接続するコンテキスト名

– プリントキュー取得間隔： 1（必要に応じて変更してください）

6 プリンターの電源の再投入（オフ／オン）を行います。

7 NetWare サーバーのコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

8 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続していることを確認してください。

NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service（NDPS）の場合

NDPS に関する設定を行う前に、NDPS ブローカーと NDPS マネージャが作成、ロードされていることを確認してください。

NetWare サーバーで TCP/IP プロトコルが設定されていることを確認し、本機に IP アドレスが設定され、本機が起動していることを確認して、作業を行ってください。

1. クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
2. NWAdmin を起動します。
3. プリンターエージェントを作成する「組織」、「部門」コンテナを右クリックし、作成より、「NDPS プリンタ」を選択します。
4. 「NDPS プリンタ名」欄に、「プリンタ名」を入力します。
5. 「プリンタエージェントのソース」欄で「新規プリンタエージェントを作成する」を選択し、「作成」をクリックします。
6. プリンタエージェント名を確認し、「NDPS マネージャ名」欄で、NDPS マネージャをブラウズし、登録します。
7. 「ゲートウェイタイプ」で、「Novell プリンタゲートウェイ」を選択し、登録します。
8. 「Novell NDPS の設定」ウインドウで、プリンタ「（なし）」、ポートハンドラ「Novell ポートハンドラ」を選択し、登録します。
9. 「接続タイプ」で、「リモート（IP 上で LPR）」を選択し、登録します。
10. 本機に設定した IP アドレスをホストアドレスに、プリンタ名に「Print」と入力して「完了」を押して登録します。
11. プリンタードライバーの登録画面が現れますが、各 OS とも「なし」を選択して登録を終了してください。

プリンターを使用するユーザー権限、プリンター通知オプション、キューの割当ては、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

NetWare サーバを使用するときのクライアント（Windows）の設定

1 Windows 2000 の場合は、「スタート」をクリックし、「設定」— 「プリンタ」をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 の場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。
Windows XP/Server 2003 の場合は、「スタート」をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。
Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「デバイスとプリンター」をクリックします。

「スタート」メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「プリンタとその他のハードウェア」－「プリンタと FAX」をクリックします。

2 Windows 2000/Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。
Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「プリンターの追加」をクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

3 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンタ名）を指定します。

4 プリンターモデルの一覧で、使用する OS やプリンタードライバーに応じて、CD-ROM 内のプリンタードライバーのあるフォルダーを指定します。

5 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

3 プリンターユーティリティのインストール

プリンターユーティリティのインストール

インストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

インストールを行う前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

Windows Vista/Server 2008 を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「続行」または「はい」をクリックします。

プリンターユーティリティをインストールする手順を説明します。

ユーザツール

- Status Monitor
- PageScope Direct Print

設定・管理ツール

- PageScope Plug and Print
- PageScope Net Care Device Manager
- PageScope Net Care Device Manager Plug-in
- PageScope Network Setup

1 Utilities and Documentation CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

Windows Vista/Server 2008 をご使用の場合は、CD-ROM 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので、「AutoRun.exe の実行」をクリックしてください。

インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM 内の「AutoRun.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

2 ツールフォルダーを選択します。

3 インストールしたい種類のツールをクリックします。

4 [インストール] をクリックします。

前のページに戻るには、[戻る] ボタンをクリックします。

トップページに戻るには、[トップメニューへ] ボタンをクリックします。

5 画面の指示に従って、インストールを進めます。

6 インストールが完了したら、Utilities and Documentation CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブから取り出し、安全な場所に保管してください。

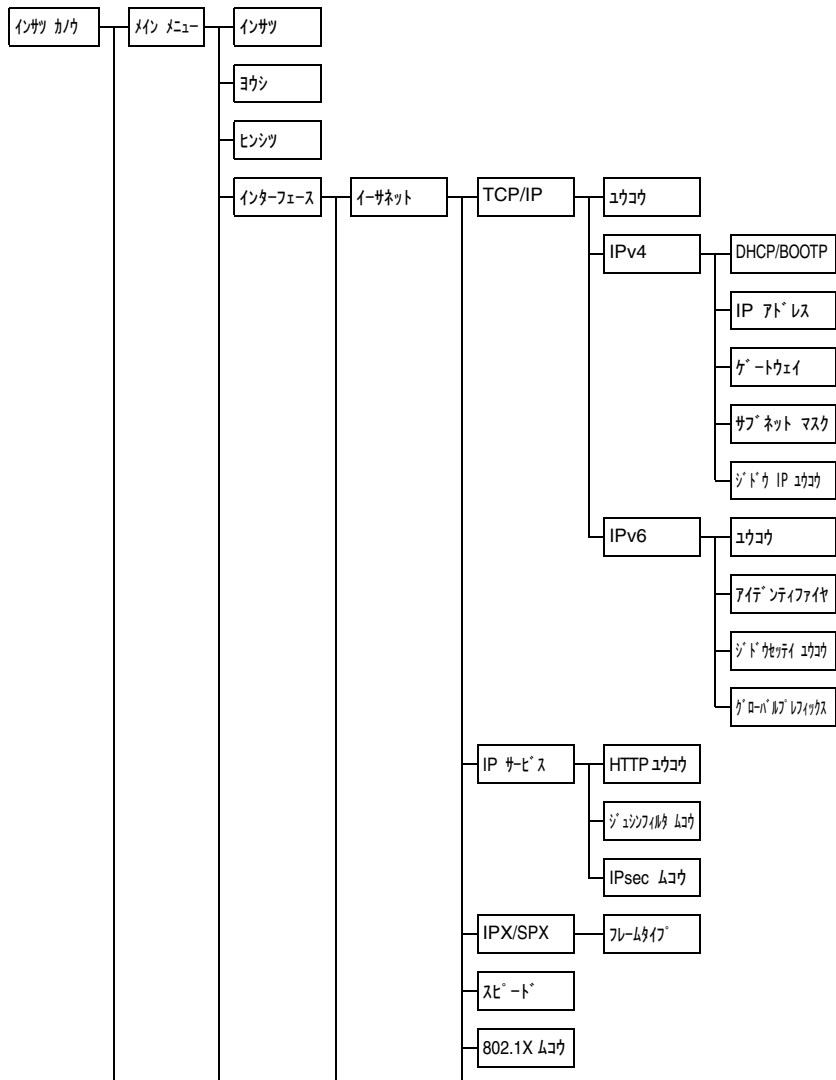
PageScope Net Care Device Manager をインストールする場合は、あらかじめ基本モジュール（Microsoft .NET Framework 2.0、Microsoft.Net Framework の言語パッケージ、Microsoft SQL Server 2005 Express Edition）、Server for PageScope Enterprise Suite をインストールする必要があります。基本パッケージについては、Utilities and Documentation CD-ROM よりインターネット経由でダウンロードすることができます。

イーサネット設定メニューについて

4

イーサネットメニュー

設定メニューの構成

セキュリティ設定(ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ｼｽﾃﾑ — ｾｷｭﾘﾃｨ — ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ — ﾕｳｺｳ)を「ｵﾝ」にしている場合、ｲｰｻﾈｯﾄ設定に入るときに管理者パスワードが必要になります。

イーサネットメニューの表示

プリンターの操作パネルで以下のキー操作を行い、プリンターのイーサネットメニューの設定項目を表示します。このメニューでは、設定可能なネットワークの項目をすべて表示できます。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ
►	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
＊ メニュー 選択 ↵	ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ｲｰｻﾈｯﾄ
＊ メニュー 選択 ↵	ｲｰｻﾈｯﾄ TCP/IP

以下のイーサネットの設定を行うと、プリンターを再起動する必要があります。プリンターの表示を印刷可能な状態に戻すと、再起動を確認するメッセージが表示されます。ﾊｲを選択し、再起動を行ってください。

- TCP/IP — ﾕｳｺｳ
- DHCP/BOOTP
- IP ｱﾄﾞﾚｽ

- ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
- ｹﾞｰﾄｳｪｲ
- ｼﾞﾄﾞｳ IP ﾕｳｺｳ
- 802.1X ﾑｺｳ
- IPX/SPX ｰﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
- ｽﾋﾟｰﾄﾞ
- IPv6 — ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾃｲ ﾕｳｺｳ（「ｲｲｴ」から「ﾊｲ」に変更した場合）

イーサネットメニューの設定項目

プリンターがネットワーク接続されている場合は、以下の項目を設定する必要があります。各設定項目の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

手動で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する場合は、はじめに DHCP の設定を「ｲｲｴ」にしてください。

TCP/IP

ﾕｳｺｳ（有効）

目的	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、TCP/IP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、TCP/IP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IPv4 — DHCP/BOOTP

目的	ネットワーク内に DHCP サーバーまたは BOOTP サーバーがある場合に、DHCP サーバーまたは BOOTP サーバーから自動的に IP アドレスを取得するかどうか、または他のネットワーク情報を読み込むかどうかを設定します。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IPv4 — IP ｱﾄﾞﾚｽ

目的	本プリンターのネットワーク上の IP アドレスを設定します。

範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 ▲、▼ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◀、▶ キーを押して3桁の数値4つの間を移動させます。
初期値	192.168.001.002

IPv4 — ｹﾞｰﾄｳｪｲ

目的	ネットワーク上にルーター／ゲートウェイがあり、サブネットを越えた先のネットワーク上のユーザーからもプリンターを利用できるようにする場合に、ルーター／ゲートウェイのアドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 ▲、▼ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◀、▶ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

IPv4 — ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ

目的	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。サブネットマスクを使用して、プリンターの利用可能な範囲を制限することができます（例えば、部署ごとに範囲を設定できます）。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 ▲、▼ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◀、▶ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

IPv4 — ｼﾞﾄﾞｳ IP ﾕｳｺｳ（自動 IP 有効）

目的	DHCP/BOOTP、PING、ARP から応答がない場合に、プリンターの IP アドレスを自動で取得するか固定して設定するかを選択します。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IPv6 — ﾕｳｺｳ（有効）

目的	IPv6 アドレスを有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、IPv6 が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、IPv6 が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IPv6 — ｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾌｧｲﾔ

目的	リンクローカルアドレスが表示されます。

IPv6 — ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾃｲ ﾕｳｺｳ（自動設定有効）

目的	IPv6 アドレスの自動設定を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、IPv6 の自動設定が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、IPv6 の自動設定が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IPv6 — ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾌﾟﾚﾌｨｯｸｽ

目的	グローバルアドレスが表示されます。

IP ｻｰﾋﾞｽ

HTTP ﾕｳｺｳ（HTTP 有効）

目的	HTTP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、HTTP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、HTTP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

ｼﾞｭｼﾝﾌｨﾙﾀﾑｺｳ（受信フィルター無効）

目的	フィルターを無効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、受信フィルターが無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ｲｲｴ

IPsec ﾑｺｳ（IPsec 無効）

目的	IPsec を無効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、IPsec が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ｲｲｴ

IPX/SPX

ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ

目的	IPX/SPX を使用するためのプロトコルを設定します。
設定値	ｼﾞﾄﾞｳ 802.2 802.3 ETHER II SNAP
初期値	ｼﾞﾄﾞｳ

ｽﾋﾟｰﾄﾞ

目的	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。
設定値	ｼﾞﾄﾞｳ 100 FULL DUPLEX 100 HALF DUPLEX 10 FULL DUPLEX 10 HALF DUPLEX
初期値	ｼﾞﾄﾞｳ

802.1X ﾑｺｳ（802.1X 無効）

目的	IEEE802.1X を無効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、IEEE802.1X が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ｲｲｴ

PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ

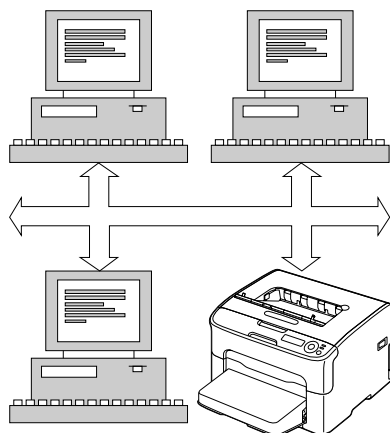
目的	PS プロトコルを設定します。
設定値	ﾊﾞｲﾅﾘ ｸｵｰﾃｯﾄﾞﾊﾞｲﾅﾘ
初期値	ﾊﾞｲﾅﾘ

ネットワーク印刷

ネットワーク接続

概念図

プリンターを TCP/IP ネットワークに接続するには、内部ネットワークアドレスをプリンターに設定しておく必要があります。

多くの場合、他で使用されていない IP アドレスのみを入力します。ただし、ネットワーク環境によっては、サブネットマスク／ゲートウェイ（ルーター）アドレスも入力する必要があります。

接続方法

イーサネット接続の場合

標準イーサネットインターフェースは RJ45 コネクタで、伝送速度が 10 ～ 100 メガビット／秒（Mbit/s）です。

プリンターをイーサネットネットワークに接続するときは、プリンターの IP（Internet Protocol）アドレスの設定方法によって、操作手順が異なります。プリンターの工場出荷時には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが設定されています。

- IP アドレス：TCP/IP ネットワーク上で各デバイスを識別する固有の値
- サブネットマスク：IP アドレスが属するサブネットを判断するために使用されるフィルター
- ゲートウェイ：サブネットを越えて通信する場合に最初に経由する、ネットワーク上のノード（機器）

ネットワーク上にある各コンピューターとプリンターの IP アドレスは固有のアドレスでなければならないため、通常プリンターの初期設定のアドレスを変更して、そのネットワークや周りのネットワーク上にある他の機器の IP アドレスとコンフリクト（競合）しないようにする必要があります。2 種類の方法のいずれかでその変更を行うことができます。それぞれの方法について、以下に詳しく説明します。

- DHCP を使用する場合
- アドレスを手動設定する場合

DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用している場合は、プリンターの電源をオンにすると、DHCP サーバーによってプリンターの IP アドレスが自動的に割り当てられます。（DHCP の説明については、「ネットワーク印刷」（p.136）を参照してください。）

プリンターの IP アドレスが自動的に設定されない場合は、プリンターの設定で DHCP が使用可能になっているかを確認してください（ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ － ｲﾝｻﾂ － ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ）。DHCP が使用可能になっていない場合は、「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IPv4 — DHCP/BOOTP」メニューで「ﾊｲ」を選択してください。

1 プリンターをネットワークに接続します。

イーサネットケーブルのコネクタ（RJ45）を、プリンターのインターフェースパネルのイーサネットポートに差し込んで、プリンターをネットワークに接続します。

2 コンピューターとプリンターの電源をオンにします。

3 プリンターのメッセージ画面に「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」と表示されたら、設定リストページを印刷し、IP アドレスが設定されているかを確認します。

4 プリンタードライバーをインストールします。

アドレスを手動設定する場合

以下の方法で、プリンターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定変更することができます。（詳しくは、第 4 章 “ イーサネット設定メニューについて ” を参照してください。）

手動で IP アドレスを設定する場合は、「ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IPv4 — DHCP/BOOTP」で「ｲｲｴ」を選択してください。
また、IP アドレスを変更した場合は、あらたにポートを追加するか、プリンタードライバーを再インストールしてください。

ご注意

プリンターの IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。

1 コンピューターとプリンターの電源をオンにします。

2 プリンターのメッセージ画面に「ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ」と表示されたら、IP アドレスの設定を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ
★ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ
★ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ
►	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
★ メニュー 選択 ↵	ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ｲｰｻﾈｯﾄ
★ メニュー 選択 ↵	ｲｰｻﾈｯﾄ TCP/IP
★ メニュー 選択 ↵	TCP/IP ﾕｳｺｳ
►	TCP/IP IPv4
★ メニュー 選択 ↵	IPv4 DHCP/BOOTP
►	IPv4 IP ｱﾄﾞﾚｽ
★ メニュー 選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ 192.168.001.002
▲、▼ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◄、► キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。	
★ メニュー 選択 ↵	xxx.xxx.xxx.xxx ｶﾞ ｾﾝﾀｸ ｻﾚﾏｼﾀ

3 ゲートウェイとサブネットマスクを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

ゲートウェイを設定せずにサブネットマスクを設定する場合は、手順 4 にすすんでください。

ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
►	IPv4 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
★ メニュー 選択 ↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ 000.000.000.000
◄、► キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 ▲、▼ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
★ メニュー 選択 ↵	xxx.xxx.xxx ｶﾞ ｾﾝﾀｸ ｻﾚﾏｼﾀ

4 サブネットマスクを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
►	IPv4 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
★ メニュー 選択 ↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 000.000.000.000
◄、► キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 ▲、▼ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
★ メニュー 選択 ↵	xxx.xxx.xxx ｶﾞ ｾﾝﾀｸ ｻﾚﾏｼﾀ

5 設定変更を保存し、プリンターを印刷可能な状態に戻します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▲	▲キーを 6 回押します。 REBOOT ＊ﾊｲ
★ メニュー 選択 ↵	REBOOTING···

6 設定リストページを印刷し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ｲﾝｻﾂｶﾉｳ
★ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ
★ メニュー 選択 ↵	ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ｲﾝｻﾂ
★ メニュー 選択 ↵	ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ
►	ｲﾝｻﾂ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ
★ メニュー 選択 ↵	ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ ﾊｲ

ネットワーク印刷

ネットワーク印刷に関する用語

ここでは、ネットワーク印刷に関する用語を説明します。

- Bonjour
- BOOTP
- DDNS
- DHCP
- DNS
- HTTP
- IEEE802.1X
- IPP
- IPsec
- IPv6
- IPX/SPX
- LPD/LPR
- Port 9100
- SLP
- SMTP
- SNMP
- WSD プリント

本章では、これらのネットワーク印刷に関する用語と、IPP 印刷の方法について説明します。

Bonjour

Bonjour は、ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術です。以前は Rendezvous と呼ばれていましたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更されました。

BOOTP

BOOTP（Bootstrap Protocol）は、ディスクレスクライアントが、自己の IP アドレス、ネットワーク上の BOOTP サーバーの IP アドレス、
起動するためにメモリにロードするファイルを取得できるようにするインターネットプロトコルです。BOOTP により、クライアントは、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブがなくても起動できるようになります。

DDNS（Dynamic DNS）

DDNS（Dynamic Domain Name System）は、動的に割り当てられる IP アドレスを、自動的に固定ドメインに割り当てる技術です。

近年、常時接続環境が整ってきたことにより、自宅のパソコンをインターネットに Web サーバーとして公開しようとするユーザーが増えてきました。ただ、インターネットサービスプロバイダーから提供される IP アドレスは、接続のたびに変更される場合が多く、インターネットに公開するには不便でした。

DDNS サービスを利用することにより、常に固定のホスト名で自宅サーバーにアクセスすることが可能になります。

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）は、動的 IP アドレスをネットワーク上のデバイスに割り当てるプロトコルです。動的 IP アドレスを使用するため、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得することもあります。システムによっては、デバイスがネットワークに接続され続けていても IP アドレスが途中で変わることもあります。また、DHCP は固定 IP アドレスと動的 IP アドレスの両方が存在する環境にも対応しています。動的アドレスを使用すると、ソフトウェアが IP アドレスの情報を把握するため、ネットワーク管理者が IP アドレスの管理を行うよりも、ネットワーク管理が簡単になります。例えば、固有の IP アドレスを手動で割り当てる手間をかけずに、新しいデバイスをネットワークに追加することができます。

DNS

Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのことです。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになります。

HTTP

HTTP（HyperText Transfer Protocol）は、ワールドワイドウェブ（WWW）で使用されている基礎となるプロトコルです。HTTP では、メッセージの書式、送信方法や、各種コマンドに対する Web サーバーとブラウザーの動作が規定されています。例えば、ブラウザーで URL を入力すると、実際には、要求した Web ページの取得と送信を指示する HTTP コマンドがその Web サーバーに送られます。

IEEE802.1X

LAN でのユーザー認証の方式を定めたプロトコルで、無線だけでなく有線で利用することもできます。RADIUS サーバー（認証サーバー）により認証を行い、認証に成功したユーザーは通信を行うことができます。認証に失敗したユーザーとの通信は行われません。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol）は、インターネット経由での印刷を行うプロトコルです。IPP により、ユーザーは、プリンターの機能の確認、プリンターへのプリントジョブの送信、プリンターやプリントジョブの状況確認、送信済みのプリントジョブのキャンセルが可能です。

IPP の使用方法についての詳細は、「IPP（Internet Printing Protocol）印刷」（p.141）を参照してください。

IPsec

TCP/IP で使用されているセキュリティー技術です。送信するパケットの暗号化や認証に関するプロトコルを決めることによって、セキュリティーを強化したサービス提供が可能となります。

IPv6

IPv6（Internet Protocol version 6）は、インターネットを使用する機器の増加に伴い、現在使用されている IPv4 に代わるものとして準備が進められてきたプロトコルです。IP アドレスが 128 ビット化され、セキュリティー機能が追加されています。

IPX/SPX

IPX/SPX（Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange）は、Novel 社により開発されたネットワークプロトコルです。TCP/IP が普及する以前の一般的な LAN プロトコルで、主に NetWare 環境で使用されていました。

LPD/LPR

LPD/LPR（Line Printer Daemon/Line Printer Remote）は、TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。もともと BSD UNIX 用に開発されましたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっています。

Port 9100

ネットワーク経由で印刷をする場合、TCP/IP の port 番号 9100 を利用して raw データを送信することができます。

SLP

従来は、ネットワーク上のサービスの場所を確認するためには、利用したいサービスを提供しているコンピューターのホスト名やネットワークアドレスをユーザーが入力する必要がありました。そのために多くの管理上の問題が発生しました。

ところが、SLP を使用して、いくつかのネットワークサービスを自動化することにより、プリンターなどのネットワークリソースを簡単に確認、利用できるようになりました。

SLP のユーザーはネットワークのホスト名を把握しておく必要がなくなり、代わりに、利用したいサービスの内容のみを知っておくだけでよくなりました。さらに、SLP は利用したいサービスの URL を返すこともできます。

ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト

SLP はユニキャストとマルチキャストに対応したプロトコルです。つまり、メッセージは一度に 1 エージェントに送信されるか（ユニキャスト）、受信可能な全エージェントに同時に送信されます（マルチキャスト）。ただし、マルチキャストはブロードキャストとは異なります。理論上は、ブロードキャストメッセージはネットワーク上のすべてのノード（機器）に届きます。マルチキャストメッセージはマルチキャストグループに入っているノード（機器）にしか届かないという点で、ブロードキャストとは異なります。

ネットワーク上のルーターはほとんどブロードキャストデータを通過させません。つまり、サブネット上から発信されたブロードキャストはルーティングされないか、またはそのルーターに接続された他のどのサブネットにも転送されません（ルーター側から見ると、1 つのサブネットは、ルーターのポートに接続されたすべてのコンピューターになります）。

これに対し、マルチキャストはルーターによって転送されます。あるグループから発信されたマルチキャストのデータは、そのグループ用のマルチキャストデータを受信可能なコンピューターが 1 台以上あるサブネットすべてに、ルーターから転送されます。

SMTP

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）は、電子メールをやりとりするためのプロトコルです。

もともとはサーバー同士でメールをやり取りするために使われていましたが、現在は電子メールクライアントソフトウェアが、POP を使用してサーバーにメールを送信するためにも利用されています。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）は、複雑なネットワークを管理するプロトコルの集合です。SNMP は、ネットワークのいろいろな場所にメッセージを送信して動作します。SNMP 対応のデバイス（エージェントと呼ばれます）は、そのデバイスに関するデータを MIB（Management Information Bases）に記録し、そのデータを SNMP リクエスタに返します。

WSD プリント

Windows Vista で搭載された Web サービス機能を使用した印刷方法です。Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、Web サービス機能により、ネットワーク接続されたプリンターを自動的に検出して WSD プリンターとしてインストールします。印刷時に WSD プリンターを指定することで、通信に HTTP を使用して印刷できます。

IPP（Internet Printing Protocol）印刷

プリンタードライバーのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

プリンタードライバーのインストールを行う前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「続行」または「はい」をクリックします。

IPP 印刷を行うにはネットワークの設定が必要です。詳細は「接続方法」（p.131）、「IPP」（p.138）をごらんください。

Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合

Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合、プリンタードライバーのインストールを行う前に OS 側で設定を行う必要があります。

1 ［スタート］をクリックします。

2 「管理ツール」から「サーバーマネージャ」を選択します。

ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、「続行」または「はい」をクリックします。

3 サーバーマネージャ画面の「機能の概要」から、「機能の追加」を選択します。

4 「インターネット印刷クライアント」にチェックして機能をインストールします。

5 コンピューターを再起動します。

インストーラーからの IPP ポートの追加

1 Printer Driver CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、メインメニュー画面が表示されます。

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 をご使用の場合は、CD-ROM 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので、「AutoRun.exe の実行」をクリックしてください。

インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM 内の「AutoRun.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

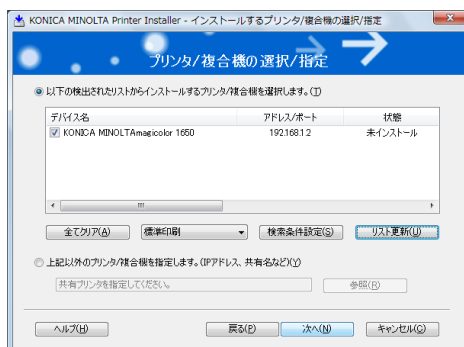
2 メインメニュー画面から「プリンタのインストール」をクリックします。

3 インストーラーライセンス契約画面が表示されますので、内容をお読みください。[同意します] をクリックします。

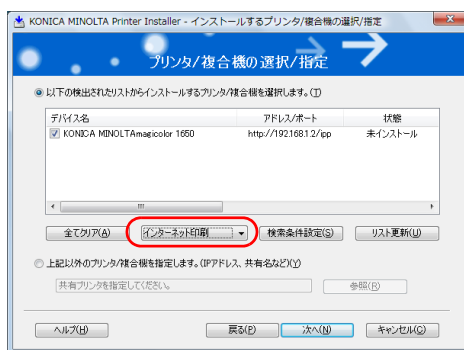
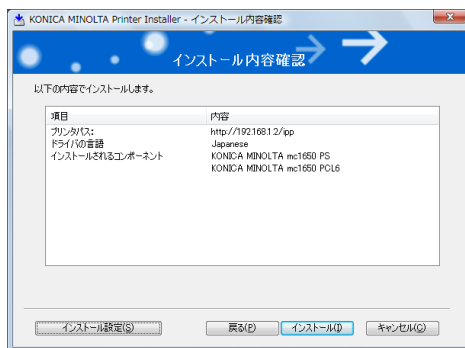
[同意しません] を選択した場合、メインメニュー画面に戻ります。

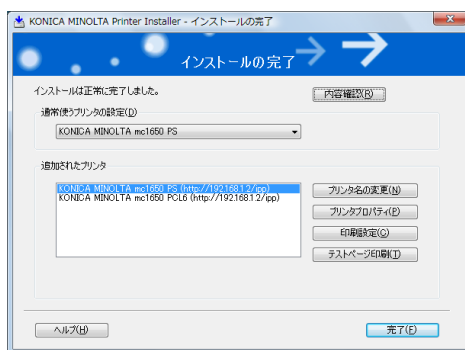
4 お読みください画面が表示されますので、内容を確認して [次へ] をクリックします。

5 「プリンタのインストール」を選択して [次へ] をクリックします。

6 プリンターが検出され、デバイスリストに表示されます。インストールしたいプリンターを選択します。

■ [全てクリア] をクリックすると、リストに表示されているデバイスの選択(チェックマーク)をすべて解除します。

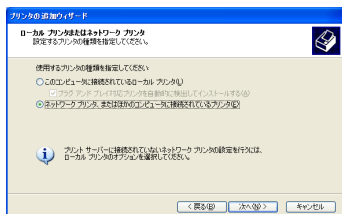
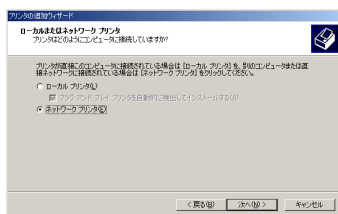
■ [リスト更新] をクリックすると、検索されたプリンターの情報が最新のものに更新されます。

7 印刷方法のプルダウンリストから「インターネット印刷」を選択し、[次へ] をクリックします。

8 インストールする内容を確認し、［インストール］をクリックします。

「インストールされるコンポーネント」を変更したい場合は、［インストール設定］をクリックして変更してください。

9 ［完了］をクリックします。

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加（Windows XP/Server 2003/2000 の場合）

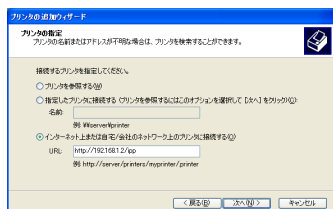
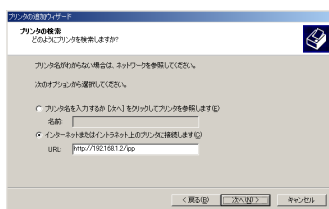
- Windows XP Home Edition の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows XP Professional/Server 2003 の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows 2000 の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「設定」から「プリンタ」を選択します。次に「プリンタの追加」をクリックします。

1 2 番目に表示される画面で「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合)、または「ネットワーク プリンタ」(Windows 2000 の場合) を選択し、[次へ] をクリックします。

Windows XP/Server 2003

Windows 2000

2 次に表示される画面で、「URL」に以下のいずれかの形式でプリンターのネットワークパス名を入力し、[次へ] をクリックします。

- http://IP アドレス /ipp
- http://IP アドレス :80/ipp
- http://IP アドレス :631/ipp

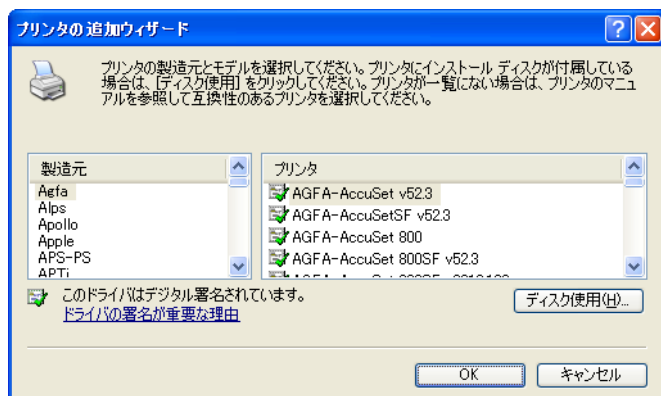
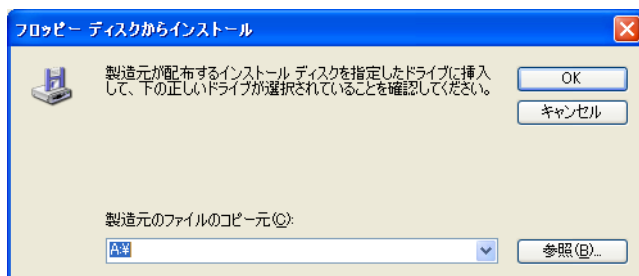
Windows XP/Server 2003

Windows 2000

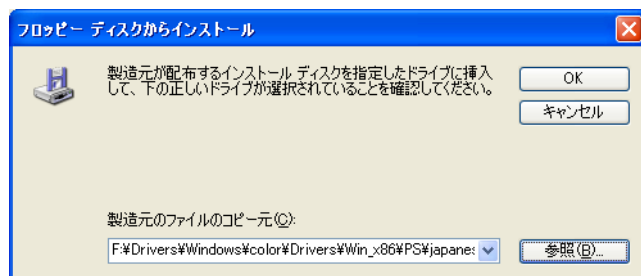
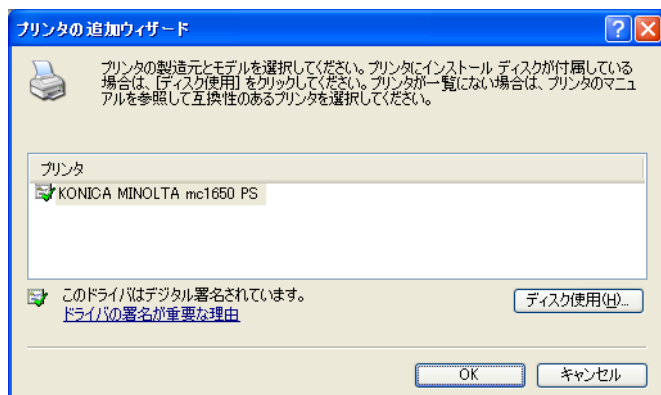
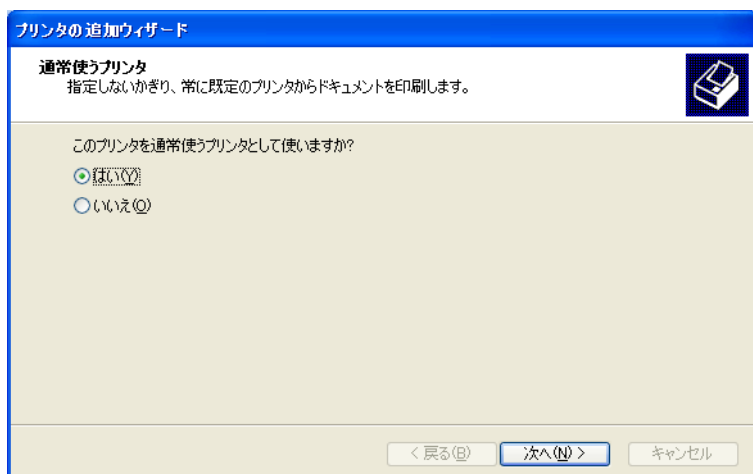
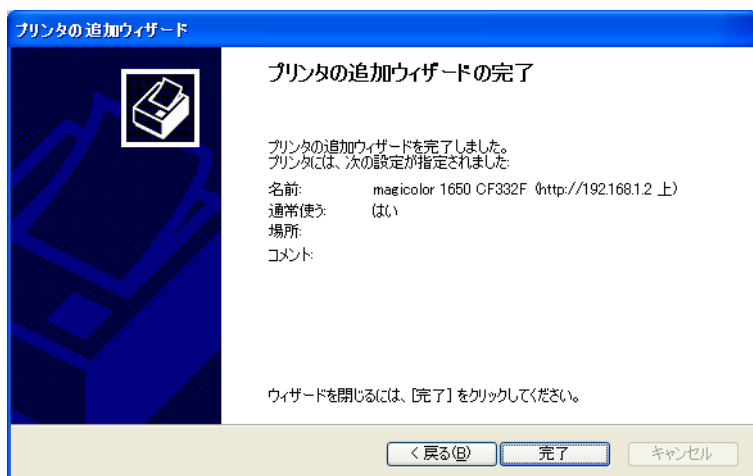
システムがプリンターに接続できない場合、以下のメッセージが表示されます。

- Windows XP/Server 2003 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報を参照するには、[ヘルプ] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。
- Windows 2000 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報については [ヘルプ] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。

3 Windows XP/Server 2003 の場合：手順 4 にすすんでください。

Windows 2000 の場合：手順 2 で有効なパス名を入力すると、「KONICA MINOLTA magicolor 1650 プリンタが接続されているサーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていません。ローカルコンピュータにドライバをインストールする場合は［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。これはプリンタードライバーがまだインストールされていないためです。［OK］をクリックします。

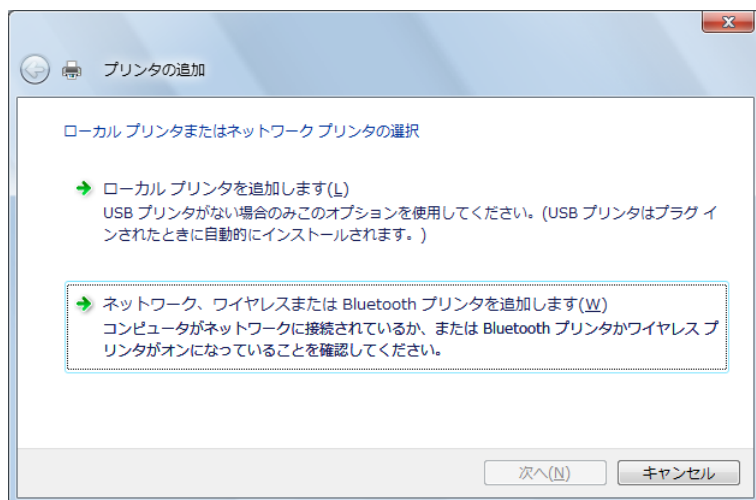
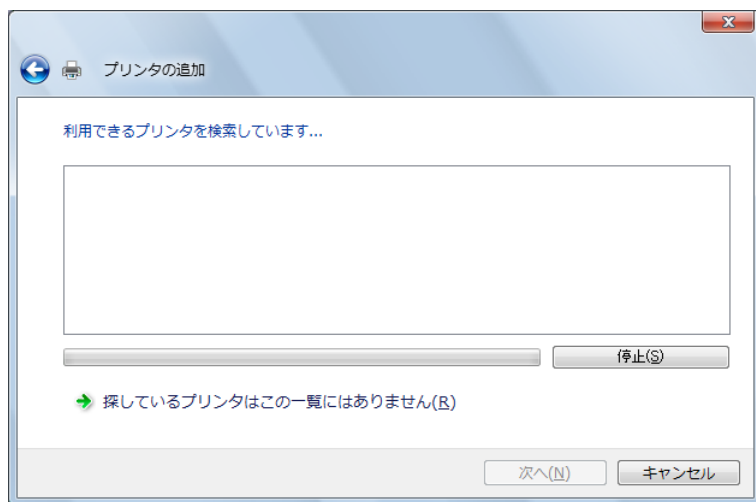
4 ［ディスク使用］をクリックします。

5 ［参照］をクリックします。

6 CD-ROM 内のプリンタードライバーファイルがあるフォルダー（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥japanese）を指定し、[開く] をクリックします。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

9 通常使うプリンタとして使うかを選択し、［次へ］をクリックします。

10 ［完了］をクリックします。

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合）

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」（Windows Vista/Server 2008 の場合）/「デバイスとプリンターの表示」（Windows 7/Server 2008 R2 の場合）をクリックし、プリンタ画面を表示します。

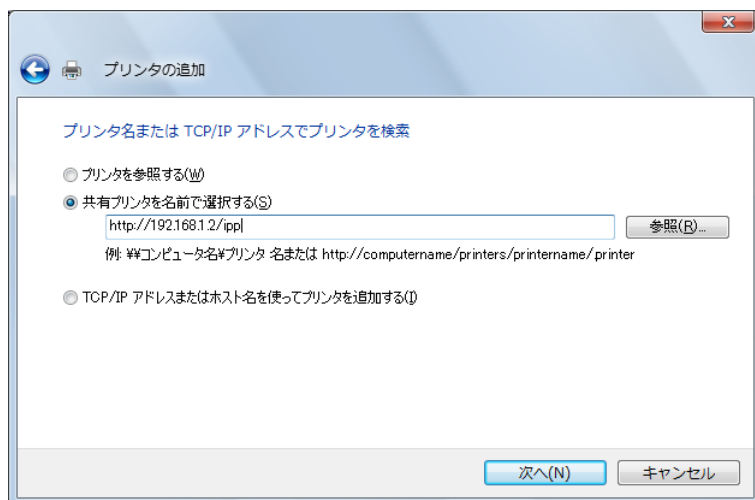
2 ツールバーの「プリンタのインストール」（Windows Vista/Server 2008 の場合）/「プリンターの追加」（Windows 7/Server 2008 R2 の場合）をクリックします。

「プリンタの追加」が表示されます。

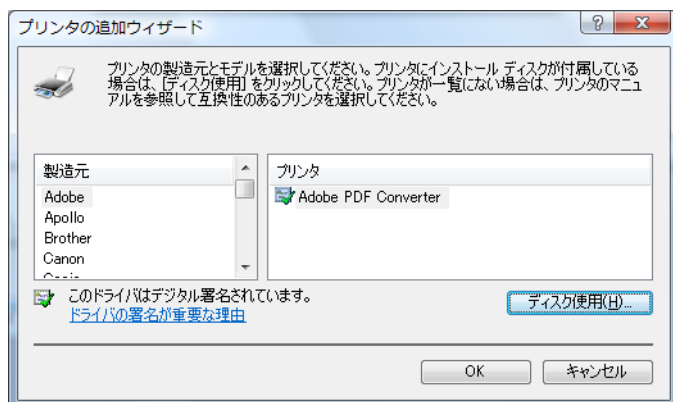
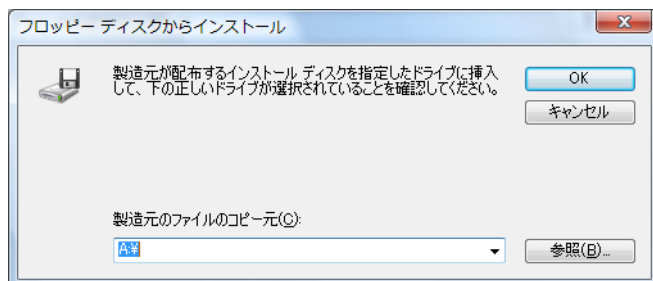
3 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。

4 「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。

5 次に表示される画面で、「共有プリンタを名前で選択する」に以下のいずれかの形式でプリンターのネットワークパス名を入力し、［次へ］をクリックします。

■ http://IP アドレス /ipp

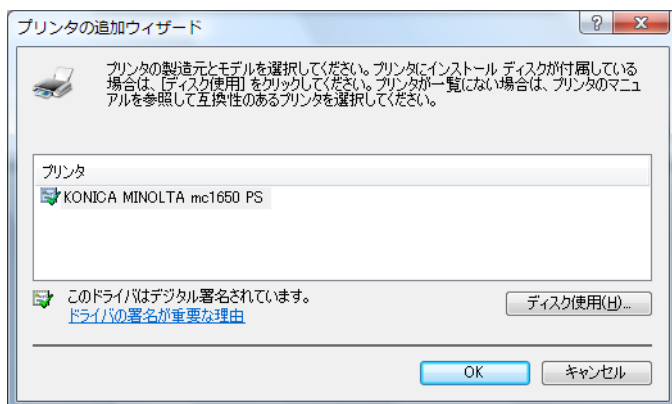
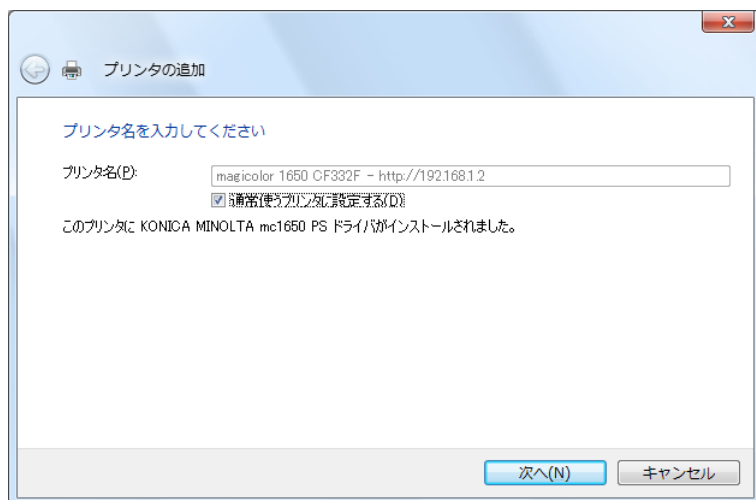
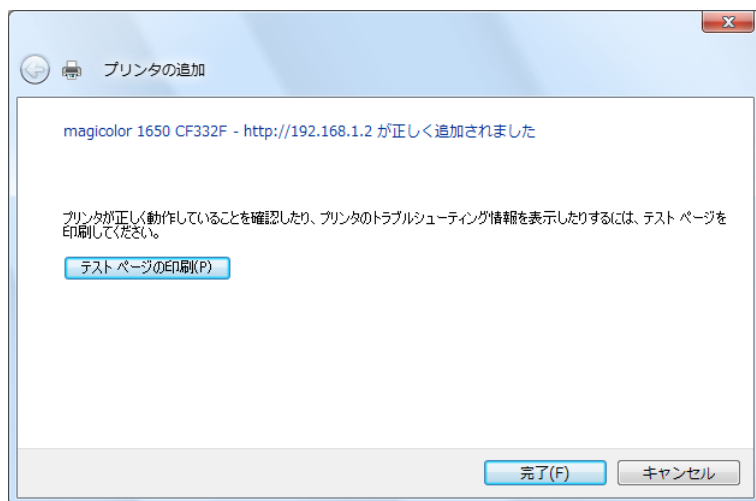
■ http://IP アドレス :80/ipp

■ http://IP アドレス :631/ipp

プリンターへ接続できなかった場合、以下のメッセージが表示されます。

■ 「プリンタへ接続できませんでした。名前が正しく入力されていて、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。」

6 [ディスク使用] をクリックします。

7 [参照] をクリックします。

8 CD-ROM 内のプリンタードライバーファイルがあるフォルダー（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥japanese）を指定し、［開く］をクリックします。

9 [OK] をクリックします。

10 [OK] をクリックします。

11 [次へ] をクリックします。

12 [完了] をクリックします。

Web サービスプリント

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、ネットワーク上にある Web サービスプリント対応のプリンターを検索してインストールできます。

プリンタードライバーのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

プリンタードライバーのインストールを行う前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「続行」または「はい」をクリックします。

Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で [ネットワーク探索] が「有効」に設定されていることを確認します。

Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合

Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合、プリンタードライバーのインストールを行う前に OS 側で設定を行う必要があります。

1 ［スタート］をクリックします。

2 「管理ツール」から「サーバーマネージャ」を選択します。

ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、「続行」または「はい」をクリックします。

3 サーバーマネージャ画面の「役割の概要」から、「役割の追加」を選択します。

4 「印刷サービス」または「印刷とドキュメントサービス」にチェックして機能をインストールします。

ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で Web サービスプリントを利用する場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーを認識させます。

1 本機のプリンタードライバーをインストールします。

■ インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでプリンタードライバーをインストールします。
インストールするポートはどのポートでも構いません。
詳しくは、「インストレーションガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）または「「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加（Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合）」（p.147）をごらんください。

2 本機をネットワークに接続した状態で電源をオンにします。

- インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

3 Web サービスプリントを利用する場合は、[コンピューター]の[ネットワークと共有センター]で[ネットワーク探索]が有効になっていることを確認します。

4 [ネットワーク]ウィンドウを開きます。

- Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート]をクリックして、[ネットワーク]をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[コンピューター]を開いて、[ネットワーク]をクリックします。
  [コンピューター]に[ネットワーク]が表示されないときは、[コントロール パネル]の[ネットワークとインターネット]カテゴリをクリックし、[ネットワークのコンピューターとデバイスの表示]をクリックします。

接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。

5 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの[インストール]をクリックします。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

6 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが[プリンタ]ウィンドウまたは[デバイスとプリンター]ウィンドウに表示されていることを確認します。

プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、[ドライバーの更新 ...]が必要です。
詳しくは、「接続後にドライバーを更新する」(p.166)をごらんください。

Windows Vista/Server 2008 の場合は、先にプリンタードライバーをインストールしていない状態でも、引き続きプリンタードライバーのインストールディスクを指定してインストールできます。
[新しいハードウェアが見つかりました]画面が表示されたら、画面の指示にしたがって操作します。詳しくは、「ネットワークウィンドウからのインストール」(p.155)をごらんください。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定することができません。あらかじめプリンタードライバーをインストールしてください(手順 1)。

ネットワークウィンドウからのインストール

Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからでもプリンタードライバーをインストールできます。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。「ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる」（p.153）方法で接続してください。

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」を開き、「ファイルの共有の設定」を選びます。

2 「ネットワーク探索」が有効になっていることを確認します。

3 Printer Driver CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、メインメニュー画面が表示されます。

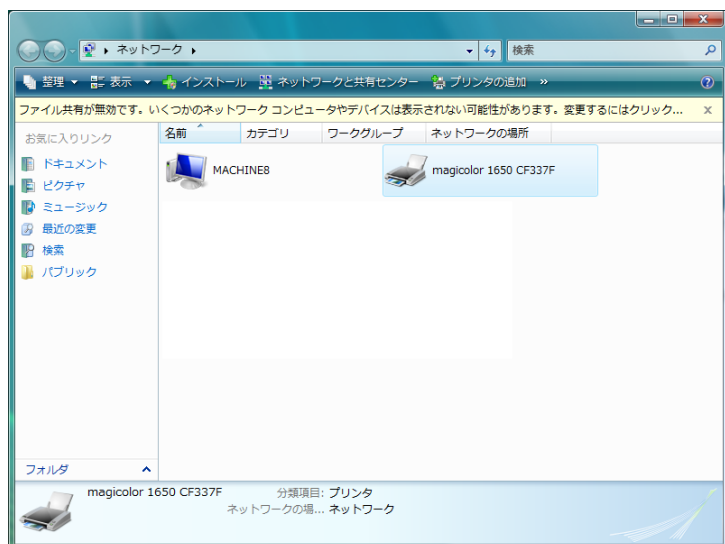
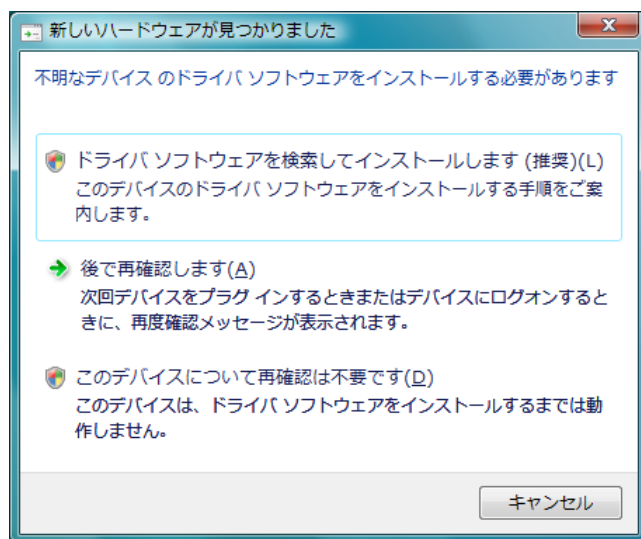
CD-ROM 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので、「AutoRun.exe の実行」をクリックしてください。

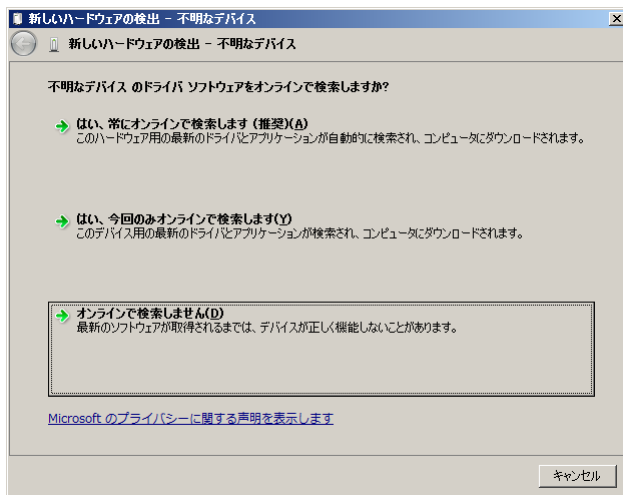
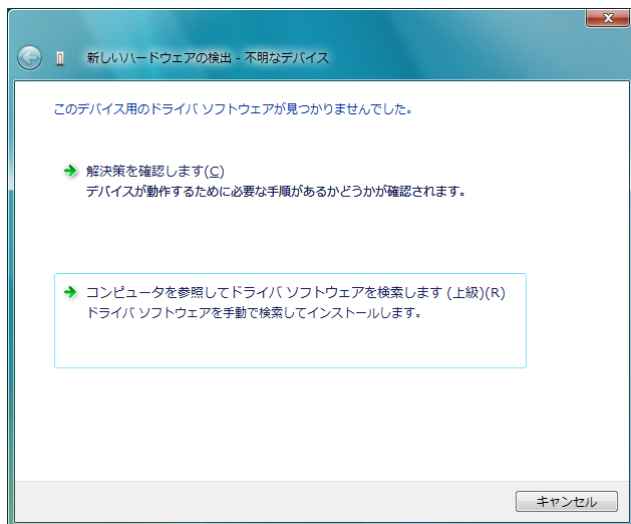
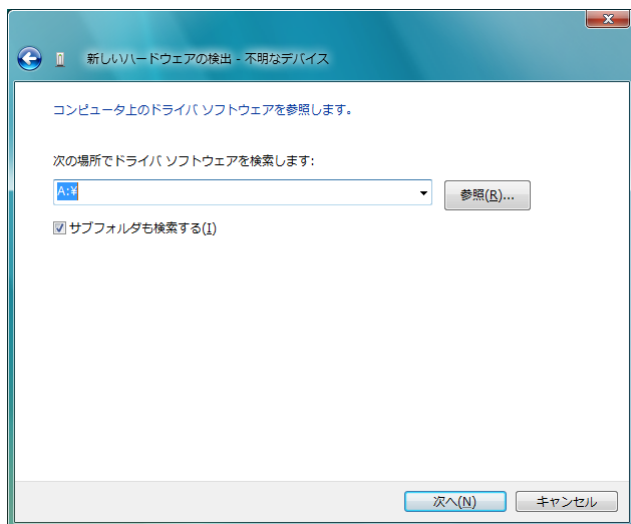
インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM 内の「AutoRun.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

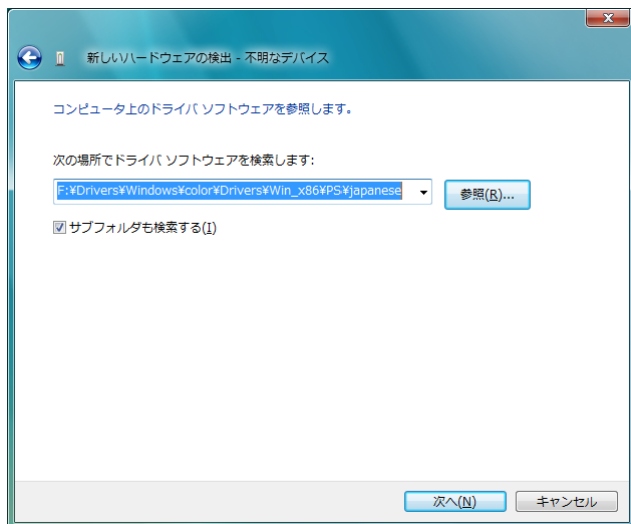
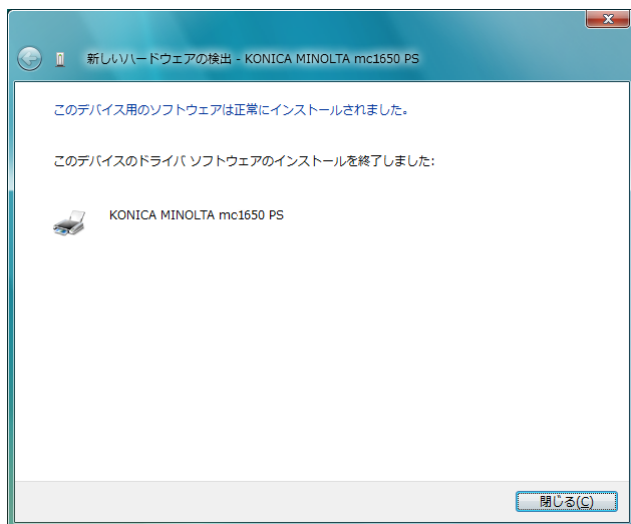
4 インストールプログラムを終了します。

5 ［スタート］をクリックして、「ネットワーク」をクリックします。

「ネットワーク」ウィンドウが開き、接続されている PC とデバイスが検索されます。

6 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの「インストール」をクリックします。

7「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

8 Windows Vista をご使用の場合は、手順 9 へすすんでください。

Windows Server 2008 をご使用の場合は、「オンラインで検索しません」をクリックしてください。

9 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックします。

10 ［参照］をクリックします。

11 CD-ROM 内のプリンタードライバーファイルがあるフォルダー（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥japanese）を指定して、［OK］をクリックします。

12 ［次へ］をクリックします。

13 ［閉じる］をクリックします。

「プリンタの追加」ウィザードからのインストール

Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからでもプリンタードライバーをインストールできます。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。「ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる」（p.153）方法で接続してください。

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」を開き、「ファイルの共有の設定」を選びます。

2 「ネットワーク探索」が有効になっていることを確認します。

3 Printer Driver CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、メインメニュー画面が表示されます。

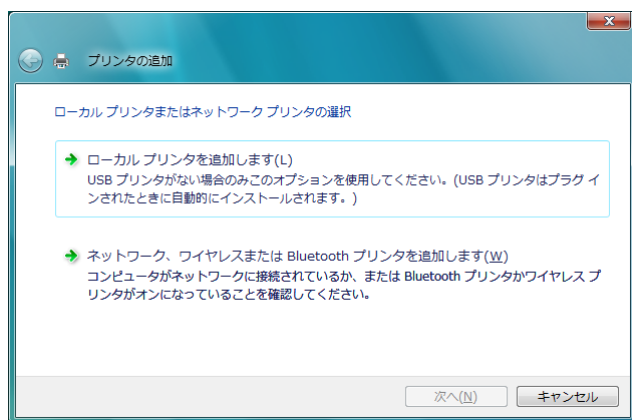
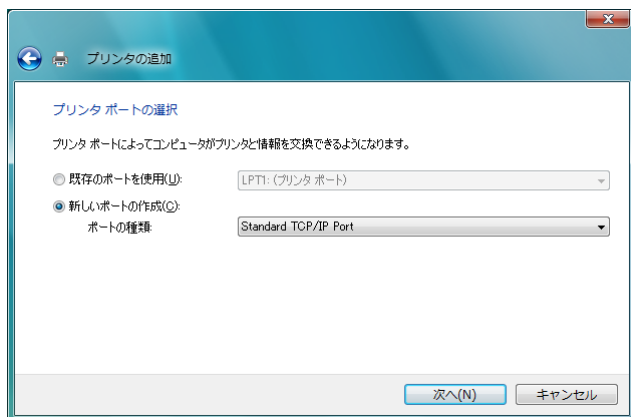
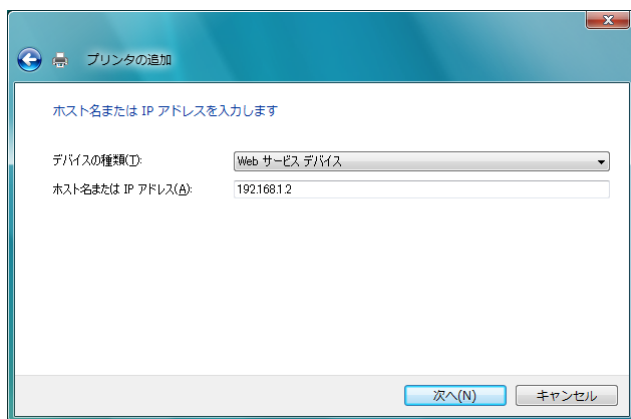
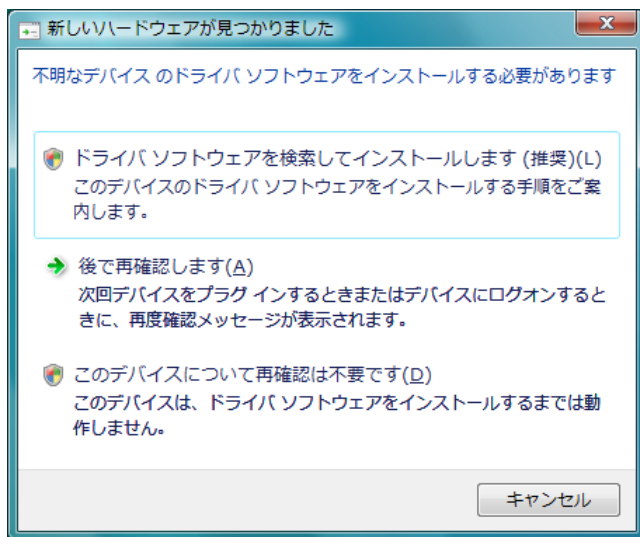
CD-ROM 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので、「AutoRun.exe の実行」をクリックしてください。

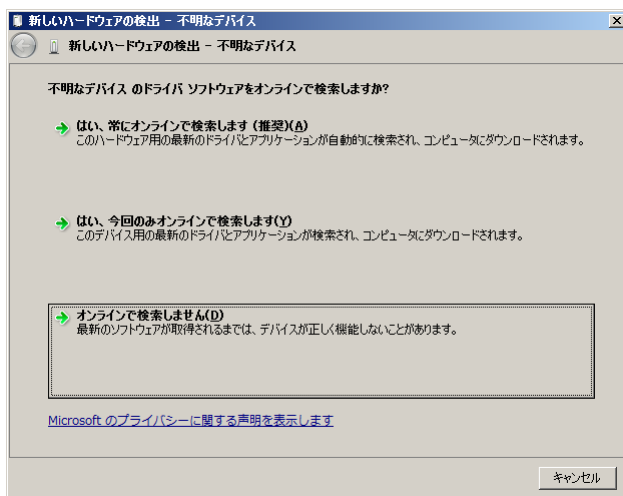
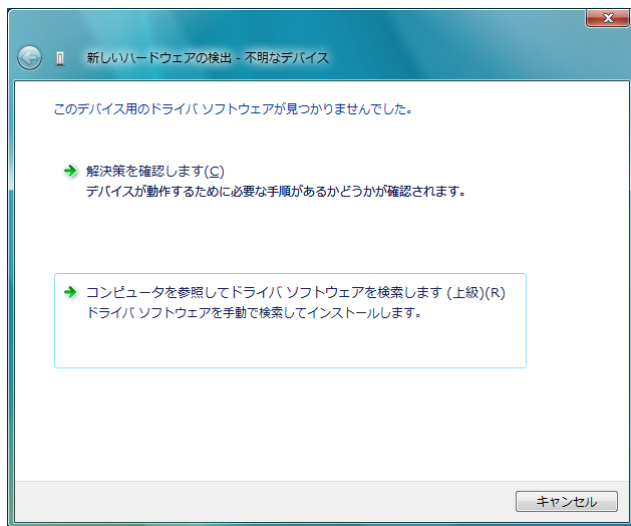
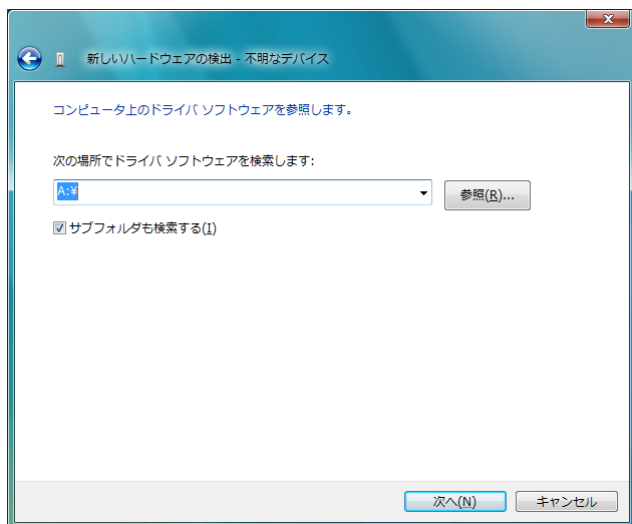
インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM 内の「AutoRun.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

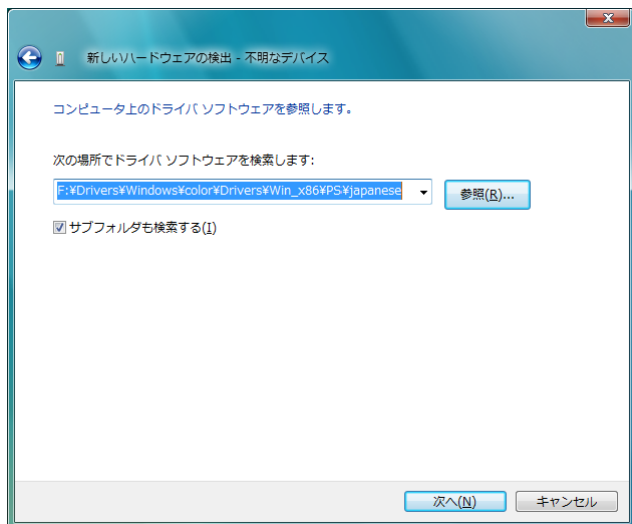
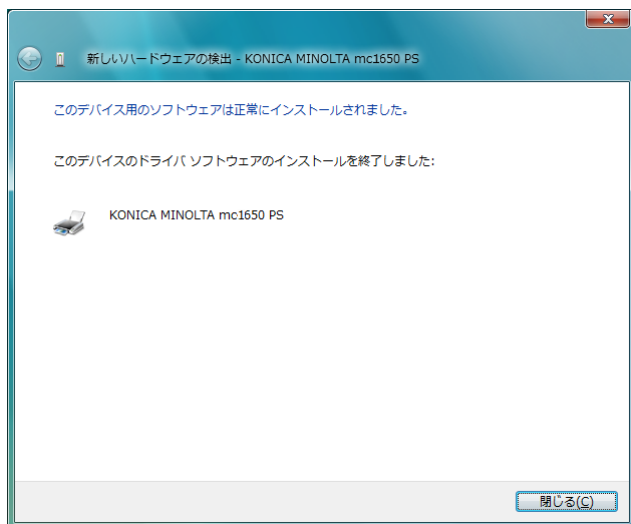
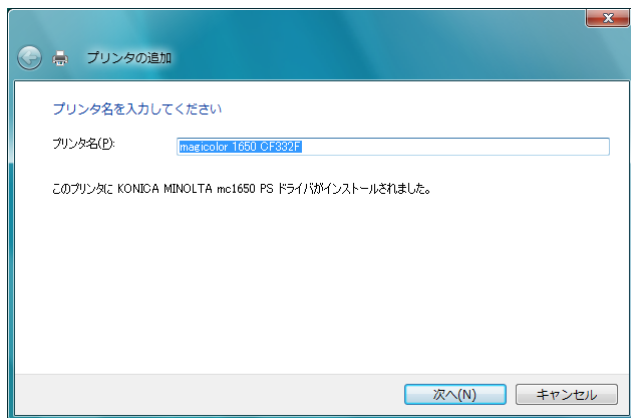
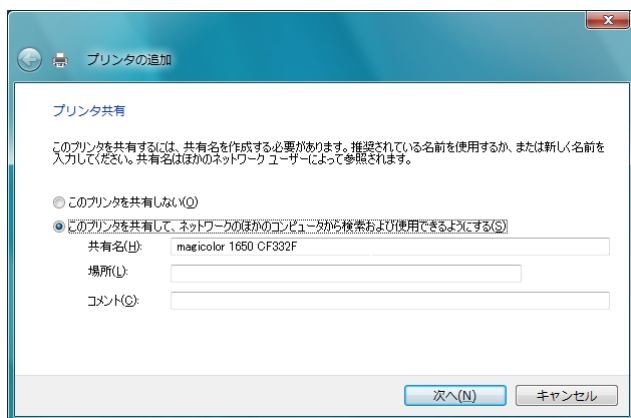
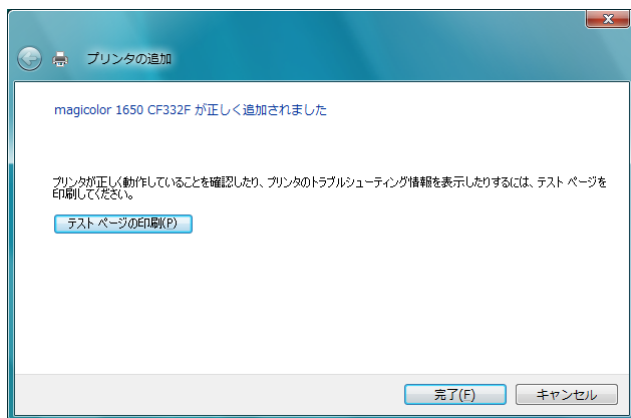
4 インストールプログラムを終了します。

5 ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］を開き、［プリンタ］を選びます。

6 「プリンタのインストール」をクリックします。

7 「ローカルプリンタを追加します」をクリックします。

8 「新しいポートの作成」にチェックをつけ、「Standard TCP/IP Port」を選択して、[次へ] をクリックします。

9 デバイスの種類より「Web サービスデバイス」を選択し、プリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] をクリックします。

10 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）」をクリックします。

11 Windows Vista をご使用の場合は、手順 12 へすすんでください。

Windows Server 2008 をご使用の場合は、「オンラインで検索しません」をクリックしてください。

12 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）」をクリックします。

13 ［参照］をクリックします。

14 CD-ROM 内のプリンタードライバーファイルがあるフォルダー（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥japanese）を指定して、［OK］をクリックします。

15 ［次へ］をクリックします。

16 ［閉じる］をクリックします。

17 必要に応じてプリンター名を変更し、［次へ］をクリックします。

18 プリンターを共有するかどうかを設定し、[次へ] をクリックします。

19 [完了] をクリックします。

接続後にドライバーを更新する

Windows 7/Server 2008 R2 でプリンタードライバーを先にインストールせずに本機を接続した場合、プリンタードライバーが正しく認識されません。この場合は、[ドライバーの更新 ...] が必要です。

1 Printer Driver CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、メインメニュー画面が表示されます。

CD-ROM 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので、「AutoRun.exe の実行」をクリックしてください。

インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM 内の「AutoRun.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

2 インストールプログラムを終了します。

3 ［スタート］メニューから［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［デバイスとプリンターの表示］をクリックし、［デバイスとプリンター］ウィンドウを開きます。

■ ［コントロール パネル］がアイコン表示になっている場合は、［デバイスとプリンター］をダブルクリックします。

4 ［未指定］カテゴリに表示されている本機のデバイス名を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

■ 本機のデバイス名でなく［不明なデバイス（Unknown Device）］と表示されているときは、右クリックでデバイスを削除してから、プリンタードライバーをインストールしてください。本機との接続は、「ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる」（p.153）方法で接続してください。

5 ［ハードウェア］タブの［プロパティ］をクリックします。

6 ［全般］タブの［設定の変更］をクリックします。

7 ［ドライバー］タブの［ドライバーの更新 ...］をクリックします。

8 ドライバーソフトウェアの検索方法を選択する画面で［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックします。

9 ［参照 ...］をクリックします。

10 CD-ROM 内のプリンタードライバーファイルがあるフォルダー（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥japanese）を指定して、［OK］をクリックします。

11 ［次へ］をクリックします。

12 画面の指示にしたがって操作します。

■ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバー ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

13 ［閉じる］をクリックします。

14 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーの更新が完了しました。

Windows Vista/Server 2008 でも、［ドライバの更新 ...］を利用できます。Windows Vista/Server 2008 の場合は、［デバイスマネージャ］で［ほかのデバイス］に表示されている本機の［プロパティ］を開くと、［ドライバの更新 ...］が指定できます。
［デバイスマネージャ］は、［コンピュータ］を右クリックして［プロパティ］をクリックし、表示される［タスク］で選択できます。

サーバーとクライアント OS のビット数が異なる場合の対応

プリントサーバーで Windows Server 2008/Server 2008 R2 が稼動していて、かつ、プリントサーバーとクライアントコンピューターで稼動している OS のビット数が異なる場合、プリントサーバーに追加ドライバーを正しくインストールできないことがあります。
この問題は、プリントサーバーに追加ドライバーをインストールするときに、異なるビット数の OS のセットアップ情報ファイル（ntprint.inf）を指定することで、解決できます。
ここでは、プリントサーバーとは別のコンピューターにあるセットアップ情報ファイルを指定して、追加ドライバーをインストールする方法を説明します。

あらかじめ、プリントサーバーとは別のクライアントコンピューターを設定のために準備して、プリントサーバーとは違うビット数の OS をインストールしてください。

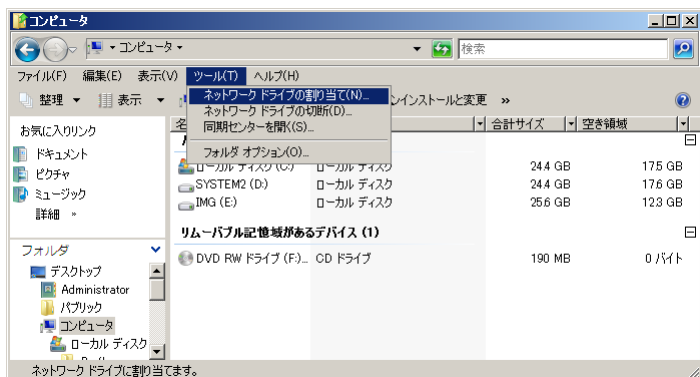
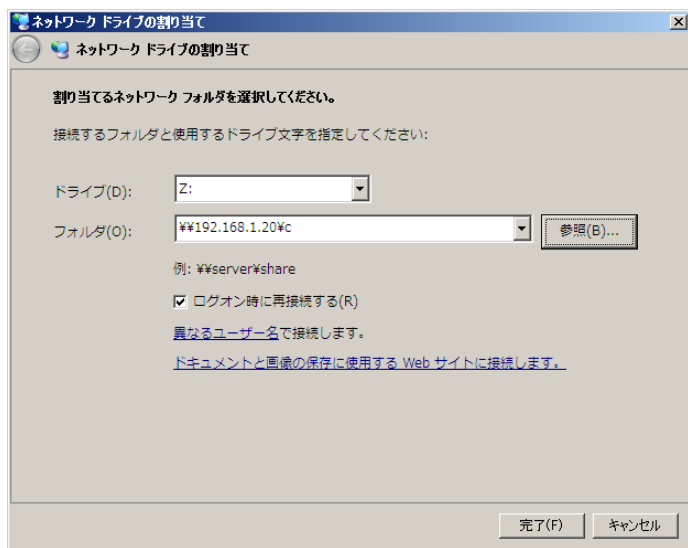
プリントサーバー側で、クライアントコンピューターのシステムドライブを、ネットワークドライブとして割り当てます。あらかじめ、割り当てるドライブを共有するよう設定する必要があります。

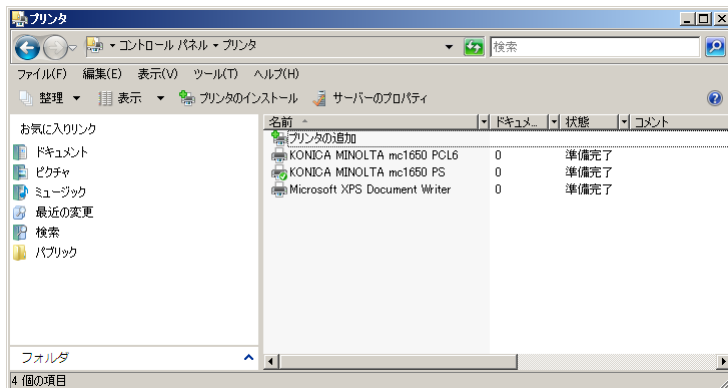
追加ドライバーのインストール方法

ここでは、例として、プリントサーバー Windows Server 2008（64 ビット）に、クライアントコンピューター Windows Vista (32 ビット）をインストールした場合の操作について説明します。

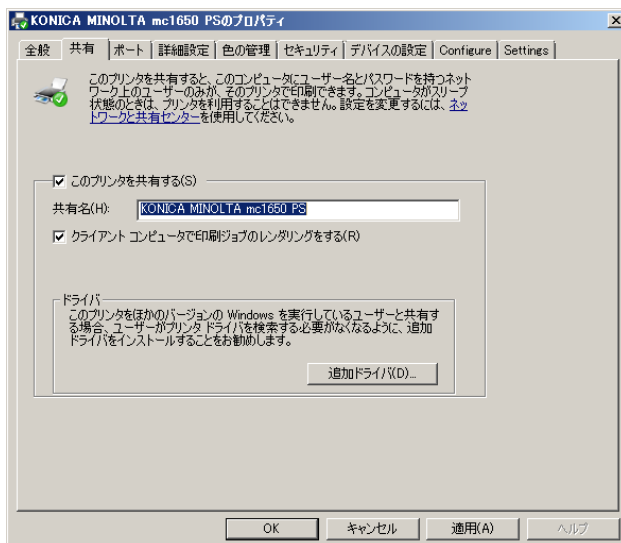
32 ビットのサーバーOS に 64 ビットの PostScript ドライバーを追加インストールする場合は、以下の手順において「64 ビット」と「32 ビット」をそれぞれ読み替えてください。

1 クライアントコンピューター (32 ビット) の、OS がインストールされているドライブ（通常は C ドライブ）を一時的に共有するよう設定します。

2 「ツール」－「ネットワークドライブの割り当て」の手順で、手順 1 で共有した、クライアントコンピューターのドライブ（例：「C」）を、ネットワークドライブ（例：「z」）として割り当てます。

3 ［参照］をクリックし、クライアントコンピューター（32 ビット）の共有設定したドライブを指定します。

4 ［完了］をクリックします。

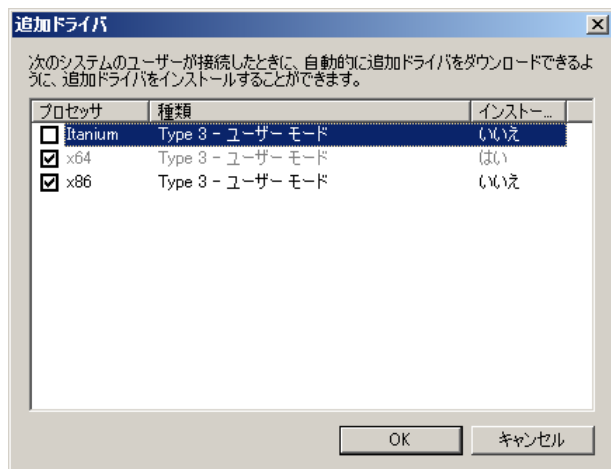
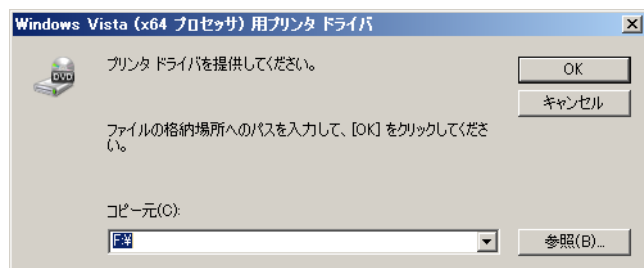
5 プリントサーバー（64 ビット）に、64 ビットの PS ドライバーをインストールします。

プリンタードライバーのインストールについて詳しくは「インストレーションガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

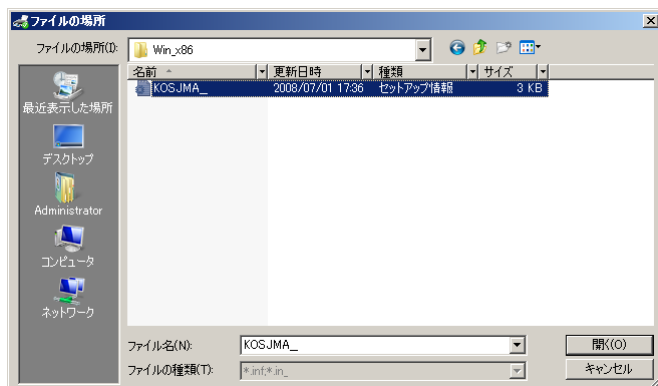
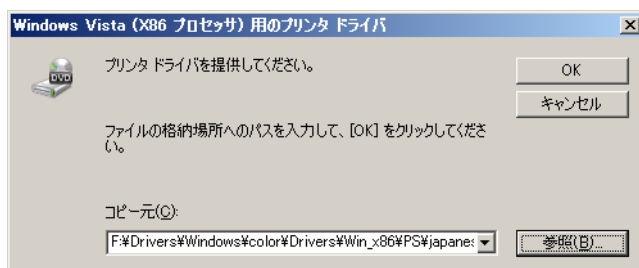
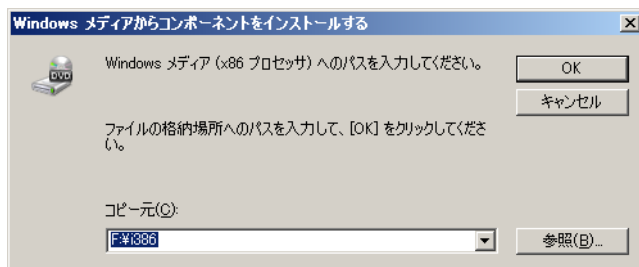
6 インストールしたプリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

プリンターのプロパティ画面が表示されます。

7 「共有」タブを選択し、「このプリンタを共有する」にチェックをつけます。

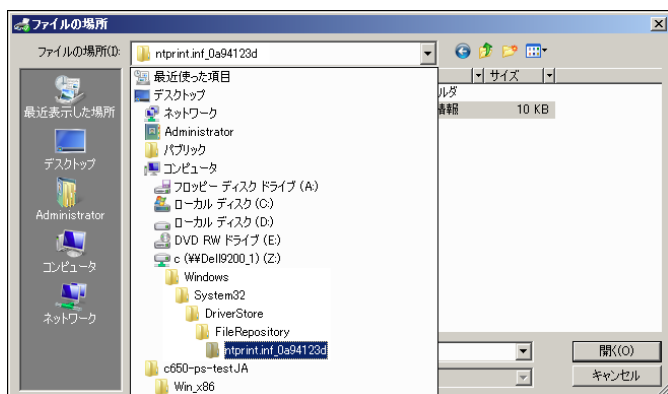
8 ［追加ドライバ］をクリックします。

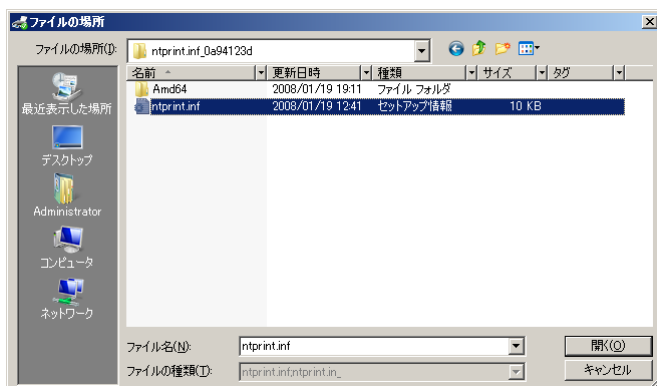
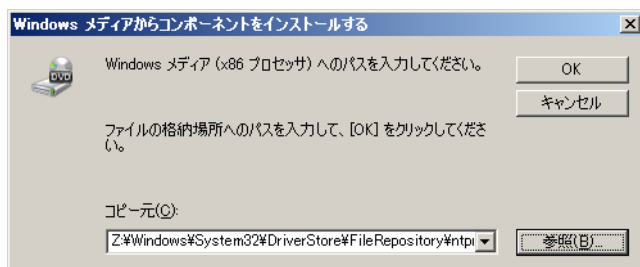
追加ドライバ画面が表示されます。

9 「プロセッサ」列の「x86」にチェックをつけ、［OK］をクリックします。

10 セットアップ情報ファイルを要求する画面が表示されます。

11 ［参照］をクリックし、32 ビットのプリンタードライバーのあるフォルダーもしくは、Driver CD-ROM 内のプリンタードライバーがあるフォルダー（例：Drivers¥Windows¥color¥Drivers¥Win_x86¥PS¥japanese）を指定します。

12 プリンタードライバーにある inf ファイルを指定し、［開く］をクリックします。

13 ［OK］をクリックします。

14 コンポーネントをインストールする画面が表示されるので、［参照］ボタンをクリックします。

15 ネットワークドライブを割り当てたクライアントコンピューターにある、セットアップ情報ファイル (ntprint.inf) を指定します。

－以下のファイルを指定します。
「z:¥Windows¥System32¥DriverStore¥FileRepository¥ntprint.inf_xxx」

－上記のパスで、「z」は割り当てたネットワークドライブです。また、最後の「_xxx」は、ドライバーのバージョンによって異なるかもしれません。

お使いのクライアントコンピューターによっては、セットアップ情報ファイルが格納されている場所が異なる場合があります。「ntprint.inf」と同じ階層に「amd64」というフォルダーが存在する場合、そのフォルダーの中の 64 ビット OS 用のセットアップ情報ファイルを指定してください。また、32 ビット用 OS のドライバーを追加インストールする場合は、「ntprint.inf」と同じ階層に「i386」というフォルダーがあるセットアップ情報ファイルを指定してください。

16 ntprint.inf ファイルを指定し、[開く] をクリックします。

17 [OK] をクリックします。

18 インストールが完了するとプリンタードライバーのプロパティ画面が表示されますので [閉じる] をクリックします。

これで、32 ビット OS 用のドライバーの追加インストールが完了しました。

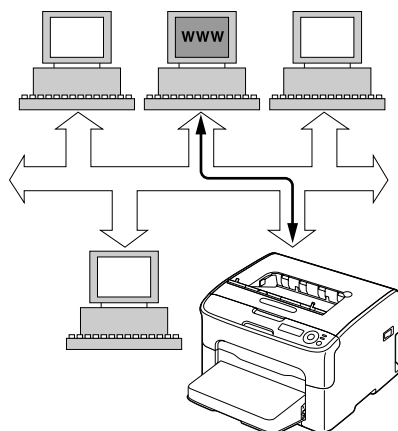
トラブルシューティング

症状	対応処置
サーバーが Windows Server 2003/Server 2008/ Server 2008 R2 で、クライアントが Windows 2000/XP/Vista/7 のとき、ポイントアンドプリントでクライアント側の一部の機能が使えない。	クライアント側に直接プリンタードライバーをインストールしてください。

PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection について

PageScope Web Connection は、プリンターに内蔵されている HTTP（Hyper-Text Transfer Protocol）ベースの Web ページで、Web ブラウザーを使用してアクセスすることができます。

PageScope Web Connection を使用すると、プリンターのステータス（状況）や、プリンターで頻繁に使用する設定内容をすぐに確認することができます。どなたでも Web ブラウザーを使用してネットワーク上のプリンターにアクセスすることができます。また、パスワードを正しく入力すれば、そのコンピューター上でプリンターの設定を変更することができます。

管理者からパスワードを知らされていないユーザーは、設定内容を確認できますが、設定内容を変更できません。

表示言語

PageScope Web Connection 上で表示される言語は、システムー管理ー言語切り替えのページで設定できます。言語切り替えについて詳しくは、「言語切り替え」（p.228）をごらんください。

ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰーｼｽﾃﾑーｾｷｭﾘﾃｨーｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲーﾕｳｺｳに設定されている場合、管理者パスワードを入力してから、「言語切り替え」のページを表示できます。

動作環境

PageScope Web Connection を使用するには、以下の環境が必要です。

- Windows 2000/XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2、Mac OS X 10.2.8/10.3.9/10.4/10.5/10.6
- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降
  Netscape Navigator バージョン 7.0 以降

  インターネットへ接続する必要はありません。
- お使いのコンピューターにTCP/IP接続ソフトウェアがインストールされていること（PageScope Web Connection で使用されます）
- お使いのコンピューターとプリンターの両方がネットワークに接続されていること

  ローカル接続（USB 接続）の場合は、PageScope Web Connection にアクセスできません。

Windows Server 2008/Server 2008 R2 で接続の場合

Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合、PageScope Web Connection の表示において、「システム」タブのみ表示され、「ジョブ」、「印刷」、「ネットワーク」のタブが表示されない場合があります。その場合、JAVA をインストールし、以下の手順でセキュリティ設定を行う必要があります。

インターネットエクスプローラーのすべての画面を閉じてください。

1 ［スタート］をクリックします。

2 「管理ツール」から「サーバーマネージャ」を選択します。

  ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックします。

3 サーバーマネージャ画面の「セキュリティ情報」から、「IE ESC の構成」を選択します。

4 管理者とユーザーを「オフ」に設定します。

5 ［OK］をクリックします。

プリンター内蔵 Web ページの設定

プリンター内蔵 Web ページをネットワーク上で動作させるためには、以下の 2 つの設定が必要です。

■ プリンターの名前とアドレスを設定します。

■ Web ブラウザー上で「プロキシなし」の設定を行います。

プリンター名の設定

プリンターの内蔵 Web ページには、以下の 2 種類の方法でアクセスできます。

ネットワークが WINS をサポートしている場合は、WINS 経由でプリンター名を指定することもできます。

■ プリンターに割り当てられた名前を使用する

プリンター名はコンピューター内の IP ホストテーブル（ファイル名は "hosts"）で設定されており、通常システム管理者によって割り当てられます（例：magicolor 1650EN）。IP アドレスよりもプリンター名を使用する方が扱いやすい場合もあります。

コンピューター内のホストテーブルファイルの場所

- Windows XP/Vista/7/2000 Server/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2
  ¥windows¥system32¥drivers¥etc¥hosts
- Windows 2000
  ¥winnt¥system32¥drivers¥etc¥hosts

■ プリンターの IP アドレスを使用する

プリンターの IP アドレスは固有の番号であるため、特にネットワーク上で多くのプリンターが動作している場合は、入力する値として識別しやすい必要があります。プリンターの IP アドレスは、設定リストページに記載されています。

プリンターの設定メニュー内の設定リストページの場所

- ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝｻﾂ－ｾｯﾃｲﾘｽﾄ

Web ブラウザの設定

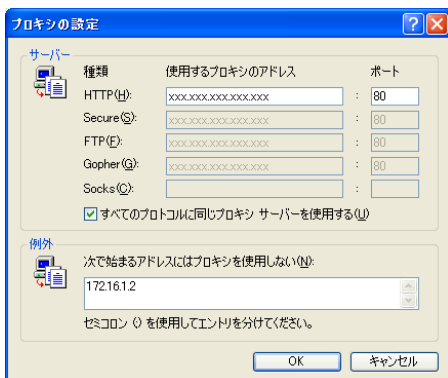
プリンターはイントラネット上にあり、ネットワークのファイアウォールを越えてはアクセスできないため、お使いの Web ブラウザで正しく設定を行う必要があります。Web ブラウザの設定画面の「プロキシなし」のリストにプリンターの名前または IP アドレスを追加する必要があります。

この操作は一度だけ行えば、それ以降は設定の必要ありません。

以下に記載しているサンプル画面は、ソフトウェアのバージョンや使用している OS によって異なる場合があります。

ここでの例では、プリンターの IP アドレスの部分を「xxx.xxx.xxx.xxx」と表しています。必ず上位桁の 0 を入れずにお使いのプリンターの IP アドレスを入力してください。例えば、192.168.001.002 の場合は 192.168.1.2 として入力します。

Internet Explorer（Windows 版バージョン 6.0）

1 Internet Explorer を起動します。
2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選択します。
3 画面の「接続」タブをクリックします。
4 ［LAN の設定］ボタンをクリックして、ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定画面を表示します。
5 プロキシ サーバー内の［詳細設定］ボタンをクリックして、プロキシの設定画面を表示します。
6 必要に応じて「例外」テキストボックスにお使いのプリンターの名前または IP アドレスを入力します。
7 ［OK］を 3 回クリックして、Web ブラウザーのメインウィンドウに戻ります。
8 URL 入力ボックスにプリンターの IP アドレスを入力して、プリンターの Web ページにアクセスします。

Netscape Navigator（バージョン 7.1）

1 Netscape Navigator を起動します。

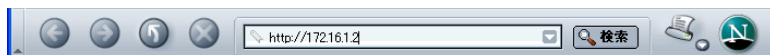
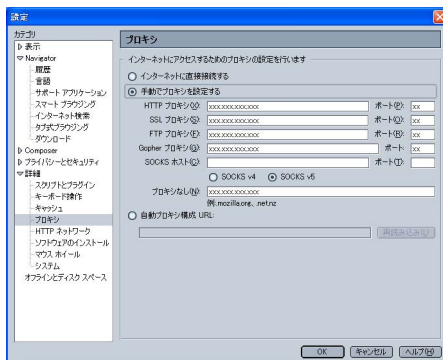
2 「編集」メニューから「設定」を選択します。

3 画面の左側の欄から「詳細／プロキシ」ディレクトリを選択します。

4 「手動でプロキシを設定する」を選択します。

5 「プロキシなし」テキストボックスに、最後のエントリの後にコンマを入力してから、お使いのプリンターの名前または IP アドレスを入力します。

6 ［OK］をクリックして、Web ブラウザーのメインウィンドウに戻ります。

7 URL 入力ボックスにプリンターの名前または IP アドレスを入力して、プリンターの Web ページにアクセスします。

PageScope Web Connection ウィンドウについて

以下の画面図では、PageScope Web Connection ウィンドウ内をナビゲーションエリアと設定エリアに分けて説明しています。

操作方法

メインタブとサブメニューを選択すると、選択した設定項目が設定エリアに表示されます。

現在の設定を変更する場合は、現在設定されている値をクリックし、項目の選択や新しい値の入力を行います。

設定変更の適用、保存を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。（「ログインの方法」（p.185）を参照してください。）

ステータス表示

プリンターの現在の状態（ステータス）は、PageScope Web Connection ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明	例
	レディ	プリンターがオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。	ｲﾝｻﾂｶﾉｳ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ 1/1
	警告	プリンターに注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	ｲｴﾛｰ ﾄﾅｰ ﾛｰ
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。	ｲｴﾛｰ ﾄﾅｰ ﾅｼ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾃｲﾁｬｸ ﾕﾆｯﾄ
	トラブル	プリンターを再起動する必要があります。再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要です。	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ XXX

ログインの方法

ログイン画面

PageScope Web Connection でセキュリティの設定を行うことができます。セキュリティ設定を行うと、管理者モードもしくはユーザーモードでログインしなければなりません。

パブリックユーザーモード

セキュリティ設定が有効の場合、パブリックユーザーモードでは、設定内容を確認できますが、設定内容の変更はできません。

セキュリティ設定が無効の場合、パブリックユーザーモードではユーザーモードと管理者モードとで同じ操作ができます。

ユーザーモード

PageScope Web Connection 上で設定を変更する場合は、まずユーザーモードにログインする必要があります。

1 テキストボックスにユーザーパスワードを入力します。

パスワードの初期設定は「1」ですが、管理者モードでログイン後、システム－管理－セキュリティでパスワードを変更することができます。

2 ［ログイン］ボタンをクリックします。

管理者モード

管理者モードでは、管理設定とネットワーク設定を変更することができます。

1 テキストボックスに管理者パスワードを入力します。

パスワードの初期設定はプリンターのシリアル番号の後半 4 桁です。管理者モードでログイン後、システムー管理ーセキュリティでパスワードを変更することができます。

2 ［ログイン］ボタンをクリックします。

プリンターの設定（ユーザーモード）

システム画面

システム画面では、プリンターのステータス（状態）、現在のシステム構成、プリンター名、他の設定画面へリンクされたタブやメニューが表示されます。

概要（前ページ画面）

システム — 概要画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
プリンタ名	本機のプリンタ名が表示されます。
システムリリース	リリースされたシステムコードのバージョンが表示されます。
IP アドレス	本機の IP アドレスが表示されます。
IPv6 ローカルリンクアドレス	イーサネットインターフェースの IPv6 ローカルリンクアドレスを表示します。
IPv6 グローバルアドレス	イーサネットインターフェースの IPv6 グローバルアドレスを表示します。
メモリ容量	本機にインストールされたメモリの容量が表示されます。
両面ユニット	オプションの両面ユニットが装着されているかどうかが表示されます。
リアルタイムクロック	リアルタイムクロックが装着されているかどうかが表示されます。
トレイ 2	オプションのトレイ 2 が装着されているかどうかが表示されます。
印刷品質	現在の印刷品質の設定が表示されます。
［ログアウト］ボタン	このボタンをクリックすると、ユーザーモードからログアウトできます。

オペレーター設定

用紙設定

システム — オペレーター設定 — 用紙設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
トレイ 1 切り替えモード	トレイ 1 の設定をプリンタードライバーで行うか (自動)、操作パネルで行うか（トレイ優先）を選択します。 設定値 : 自動、トレイ優先 初期値 : 自動 同機能のプリンター操作パネルのメニュー : ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ﾖｳｼ — ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 1 ｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ

項目		説明
トレイ 1	用紙のサイズ	トレイ 1 にセットする用紙のサイズを設定します。 設定値：レター、リーガル、エグゼクティブ、A4、A5、B5、B5(ISO)、G. レター、ステートメント、Folio、UK クオート、Foolscap、G. リーガル、ヨウケイ 2、フウトウ DL、ハガキ、カイ 16、カイ 32、16K、SP Folio、Oficio、カスタム 初期値：A4 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ﾖｳｼ ー ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ ー ﾄﾚｲ 1 ー ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ
	用紙の種類	トレイ 1 にセットする用紙の種類を設定します。 設定値：普通紙、ラベル紙、レターヘッド、封筒、ハガキ、厚紙 1、厚紙 2 初期値：普通紙 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ﾖｳｼ ー ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ ー ﾄﾚｲ 1 ー ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ
トレイ 2	用紙のサイズ	トレイ 2 にセットする用紙のサイズを設定します。 設定値：A4、レター 初期値：A4 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ﾖｳｼ ー ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ ー ﾄﾚｲ 2 ー ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ このメニューは、オプションの給紙ユニットが装着されている場合のみ表示されます。
両面印刷モード		両面印刷の設定を行います。 「オフ」が選択されている場合、片面印刷されます。 「長辺綴」が選択されている場合、長辺綴じで両面印刷されます。 「短辺綴」が選択されている場合、短辺綴じで両面印刷されます。 設定値：オフ、長辺綴、短辺綴 初期値：オフ 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ﾖｳｼ ー ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ この項目は、オプションの両面ユニットが装着されている場合のみ表示されます。

項目		説明
印刷方向		印刷方向を縦向きか横向きか設定します。 設定値：縦、横 初期値：縦 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰーﾖｳｼーﾖｳｼﾎｳｺｳ
ページリカバリー		印刷途中で紙づまりが発生したとき、紙づまりを処理した後、印刷されていないページを再印刷するか設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オン 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰーﾖｳｼーﾍﾟｰｼﾞﾘｶﾊﾞﾘｰ
トレイ切り替え		給紙トレイの用紙がなくなった場合、自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行するか設定します。 設定値：はい、いいえ 初期値：はい 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰーﾖｳｼーｷｭｳｼ ﾄﾚｲーﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ このメニューは、オプションの給紙ユニットが装着されている場合のみ表示されます。
自動継続		プリントジョブの用紙サイズ・種類と指定した給紙トレイの用紙サイズ・種類が異なる場合、印刷を継続するかどうかを設定します。 設定値：オフ、オン 初期値：オフ 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰーﾖｳｼーｷｭｳｼ ﾄﾚｲーｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ
カスタム用紙サイズ	幅	「用紙サイズ」をカスタムに設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。 範囲： 92 ～ 216 mm 初期値： 92 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰーﾖｳｼーｷｭｳｼ ﾄﾚｲーｶｽﾀﾑｻｲｽﾞーﾊﾊﾞ (mm)
	高さ	「用紙サイズ」をカスタムに設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。 範囲 普通紙： 195 ～ 356 mm 厚紙： 184 ～ 297 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰーﾖｳｼーｷｭｳｼ ﾄﾚｲーｶｽﾀﾑｻｲｽﾞーﾀｶｻ (mm)

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定をリセットします。
［カスタム保存］ボタン	現在の数値をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン	すべての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン	すべての設定を初期設定値にします。

トレイマッピング

システム — オペレーター設定 —トレイマッピング画面では、以下の項目を設定できます。

トレイマッピングページはオプションの給紙ユニットを装着している場合のみ表示されます。

項目	説明
トレイマッピングモード	トレイマッピング機能を使用するかしないかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ﾖｳｼ—ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ—ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ—ﾓｰﾄﾞ
論理トレイ 0~9	他社のプリンタードライバーからプリンタージョブを受信したときに、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 論理トレイ2の初期設定値は物理トレイ2ですが、その他の論理トレイの初期設定値は物理トレイ 1 になります。 設定値： 物理トレイ 1、物理トレイ 2 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ﾖｳｼ—ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ—ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ—ﾛﾝﾘ ﾄﾚｲ 0~9

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定をリセットします。

カラーと画質品質

システム — オペレーター設定 —カラーと画質品質画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
印刷品質	印刷の解像度を設定します。 設定値： 高品質、標準 初期値： 高品質 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｲﾝｼﾞ ﾋﾝｼﾂ
カラーモード	モノクロ印刷をするかカラー印刷をするかを設定します。 設定値：カラー、モノクロ 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｶﾗｰ ﾓｰﾄﾞ

項目	説明
トナー出力動作	トナーがなくなった時に、本機がジョブを受け入れ続けるか停止するかどうかを設定します。「継続」を選択すると、トナーがなくなっても印刷を続行できますが、印刷結果は保証されません。 設定値： 停止、継続 初期値： 停止 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ﾋﾝｼﾂ ー ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ
トナー濃度調整	各色（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）のトナー濃度を設定します。設定値が高いほど、濃度が濃くなります。 範囲： １～５ 初期値： ３
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定をリセットします。
［カスタム保存］ボタン	現在の数値をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン	すべての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン	すべての設定を初期設定値にします。

システムページ印刷

システム — オペレーター設定 —システムページ印刷画面では、システムページを印刷できます。

項目	説明
システムページ印刷	システムページを印刷します。印刷したいページを選択し、［適用］をクリックします。メッセージ画面が現れたら、［OK］をクリックします。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ｲﾝｻﾂ ［リセット］をクリックすると、選択したリストのチェックが解除されます。

消耗品の状態

システム — オペレーター設定 — 消耗品の状態画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
消耗品	プリンターの消耗品が表示されます。
パーセント残り	各消耗品の残りの寿命が表示されます。 ■ トナーカートリッジ、イメージングカートリッジ：%表示
種類	消耗品の種類が表示されます。 ■ 同梱トナー、標準、大容量

画面に表示される消耗品の残業表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

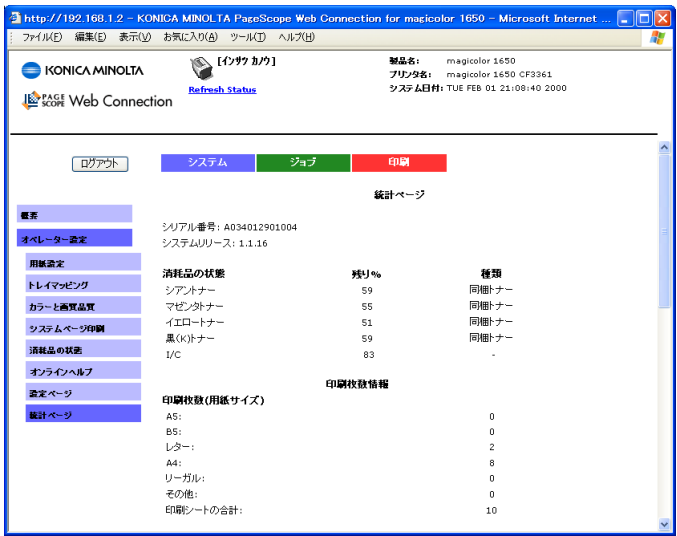
オンラインヘルプ

システム — オペレーター設定 — オンラインヘルプ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
お問い合わせ名	プリンターに関する問い合わせ先を設定します。 範囲： 半角 64 文字以内 初期値： KONICA MINOLTA Customer Support
お問い合わせ先情報	問い合わせ先の Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以内 初期値： http://printer.konicaminolta.com
プリンターヘルプ URL	製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以内 初期値： http://printer.konicaminolta.com
コーポレート URL	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以内 初期値： http://printer.konicaminolta.com
消耗品及びアクセサリー	消耗品とアクセサリー（付属品）の発注先の Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以内 初期値： http://www.q-shop.com
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

設定ページ

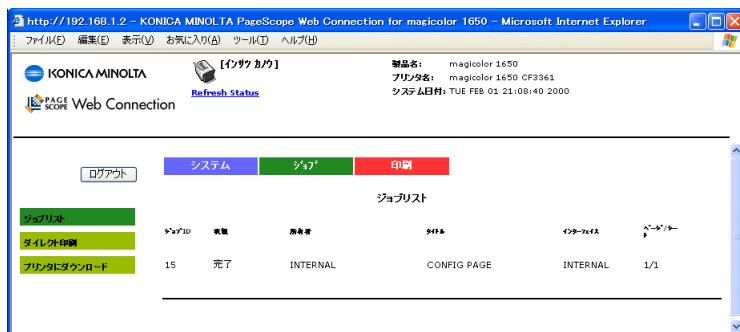
システム — オペレーター設定 — 設定ページ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
プリンター情報	基本的なプリンターの情報が表示されます。
オプション	プリンターのオプションとオプションの状態が表示されます。
用紙設定	プリンターの用紙設定が表示されます。
プリンターインターフェース	プリンターのインターフェースの情報が表示されます。

統計ページ

システム — オペレーター設定 — 統計ページ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
消耗品の状態	各消耗品の状態が表示されます。
印刷枚数情報	用紙サイズごとの印刷枚数、用紙種類ごとの印刷枚数が表示されます。
基準換算情報	基準換算カウントの合計、基準換算カバレッジが表示されます。 A4サイズを1ページとして換算した場合の印刷枚数が表示されます。

ジョブ画面

ジョブ画面では、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できます。

ジョブリスト（上記画面）

ジョブ — ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
ジョブ ID	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンターに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
状態	プリントジョブの現在の状況が表示されます。
所有者	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
タイトル	プリントジョブのジョブ名が表示されます。
インターフェイス	プリントジョブを取り込んだインターフェイスが表示されます。 ■ USB、ETHERNET、DIRECT PRINT、IPP、INTERNAL
ページ / シート	プリントジョブで印刷されるページ数が表示されます。

ダイレクト印刷

ジョブ－ダイレクト印刷画面では、アプリケーションを起動せずに、直接プリンターからファイルを印刷できます。

ダイレクト印刷では、PS、PCL、テキスト、TIFF、JPEG 形式のファイルが印刷できます。

項目	説明
ファイル名	印刷するファイルの場所を指定します。
［参照］ボタン	クリックすると、印刷するファイルを参照するダイアログボックスを表示します。
［適用］ボタン	この画面で指定したジョブをプリンタへ送信します。

プリンタにダウンロード

ジョブ — プリンタにダウンロード画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
エミュレーション	プリンターのエミュレーションを指定します。 設定値：PostScript、PCL5 初期値：PostScript 「PCL5」を選択した場合、テキストボックスに PCL ID を指定します。
ファイルの種類	プリンターにダウンロードするファイルタイプを指定します。 設定値：フォント、プロファイル、フォーム、シンボルセット、マクロ 初期値：フォント

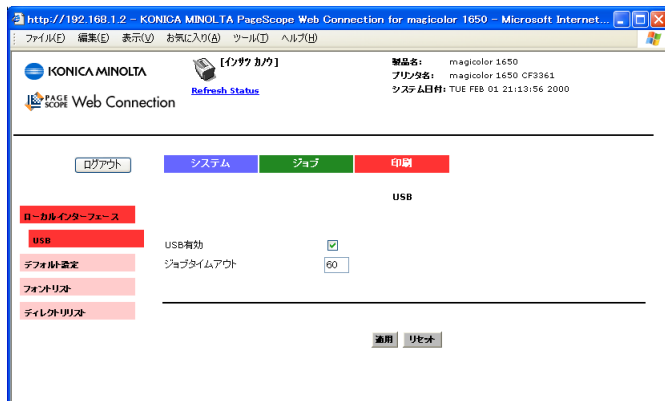
項目	説明
アクション	選択したファイルタイプをダウンロードするか削除するかを指定します。 設定値：ダウンロード、削除 初期値：ダウンロード エミュレーションで「PostScript」を選択した場合、「削除」を選択すると「削除するファイル名」テキストボックスが表示されます。テキストボックスに削除するファイル名を指定します。
ロケーション	ダウンロード先を指定します。 設定値；フラッシュ、メモリ 初期値：フラッシュ
空き	フラッシュとメモリの空き容量を表示します。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。

プリンタにダウンロード（ファイル指定）

ジョブ－プリンタにダウンロード画面（ファイル指定）では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ファイル名	ダウンロードするファイルを指定します。
［参照］ボタン	クリックすると、ダウンロードするファイルを参照するダイアログボックスを表示します。
［適用］ボタン	この画面で指定したファイルをプリンタにダウンロードします。

印刷

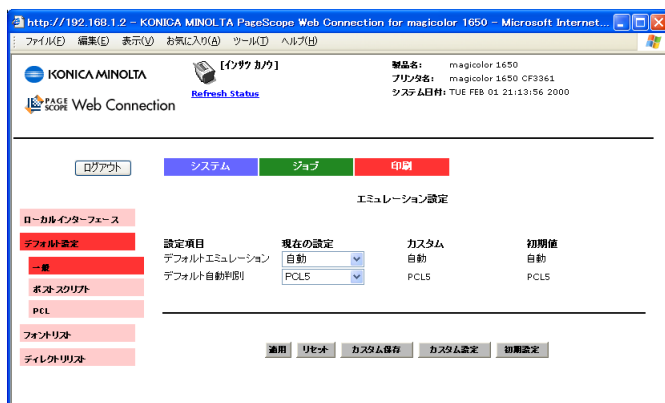
印刷画面では、プリンターの設定に関するより詳細な情報を確認できます。

ローカルインターフェース

USB（上記画面）

印刷 — ローカルインターフェース — USB では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
USB 有効	USB ポートを利用するかどうかを設定します。選択しない場合、USB を通して印刷することができません。 初期値：　（チェック済み） 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ — USB — ﾕｳｺｳ
ジョブタイムアウト	受信タイムアウト（秒）を設定します。 範囲：　0 - 999 秒 初期値：60 秒 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ — USB — IO ﾀｲﾑｱｳﾄ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

デフォルト設定

一般

印刷 — デフォルト設定 — 一般画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
デフォルトエミュレーション	エミュレーションが識別できない印刷ジョブの場合は、デフォルトエミュレーションで設定されたエミュレーションが割り当てられます。 設定値： 自動、ポストスクリプト、PCL5、PCL XL、ヘキサダンプ 初期値： 自動 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｼｽﾃﾑ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ
デフォルト自動判別	デフォルトエミュレーションで「自動」が選択された場合、プリンターは印刷ジョブに適したエミュレーションを割り当てます。プリンターが自動で割り当てができない場合、この設定のエミュレーションが割り当てられます。 設定値： PCL5、ポストスクリプト 初期値： PCL5 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｼｽﾃﾑ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ — ｼﾞﾄﾞｳ ｾﾝﾀｸ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。
［カスタム保存］ボタン	現在の設定をカスタム設定として保存します。

項目	説明
[カスタム設定] ボタン	すべての設定をカスタム設定値に変更します。
[初期設定] ボタン	すべての設定を初期設定値に変更します。

ポストスクリプト

印刷 — デフォルト設定 — ポストスクリプト画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
PS エラーページ	印刷できなかった場合やエラーが発生した場合に、エラーページを印刷するかどうか設定します。 設定値 : オン、オフ 初期値 : オン 同機能のプリンター操作パネルのメニュー : ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ｼｽﾃﾑ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ — ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ — ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ
PS プロトコルイーサネット	ポストスクリプトのジョブを受信するプロトコルを設定します。 設定値 : バイナリ、クオーテッドバイナリ 初期値 : バイナリ 同機能のプリンター操作パネルのメニュー : ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ — ｲｰｻﾈｯﾄ — PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[リセット] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。
[カスタム保存] ボタン	現在の設定をカスタム設定として保存します。

項目	説明
［カスタム設定］ボタン	すべての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン	すべての設定を初期設定値に変更します。

PCL

印刷 — デフォルト設定 — PCL 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
改行指定	PCL 言語での改行コードの定義を設定します。 設定値： CR=CR LF=CRLF、CR=CR LF=LF、CR=CRLF LF=LF、CR=CRLF LF=CRLF 初期値： CR=CR LF=CRLF 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｼｽﾃﾑ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ — PCL — ｶｲｷﾞｮｳ ｼﾃｲ

項目		説明
PCL フォント	ピッチサイズ	PCL 言語でのビットマップフォントサイズを設定します。 範囲： 0.44 - 99.99 初期値： 10.00 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｼｽﾃﾑ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ — PCL — ﾌｫﾝﾄ — ﾋﾟｯﾁ
	フォント番号	PCL 言語でのデフォルトのフォントを設定します。 範囲： 0 - 32767 初期値： 0 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｼｽﾃﾑ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ — PCL — ﾌｫﾝﾄ — ﾊﾞﾝｺﾞｳ
	ポイント	PCL 言語でのアウトラインフォントサイズを設定します。 範囲： 4.00 - 999.75 初期値： 12.00 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｼｽﾃﾑ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ — PCL — ﾌｫﾝﾄ — ﾎﾟｲﾝﾄ
	シンボルセット	PCL 言語で使用するシンボルセットを設定します。 初期値： PC8 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｼｽﾃﾑ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ — PCL — ﾌｫﾝﾄ — ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。
［カスタム保存］ボタン		現在の設定をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン		すべての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン		すべての設定を初期設定値に変更します。

フォントリスト

PS フォント

印刷 — フォントリスト — PS フォント画面では、プリンターにインストールされているポストスクリプトフォントリストが表示されます。

同機能のプリンター操作パネルのメニュー：

ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ― ｲﾝｻﾂ ― ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ ― ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ

PCL フォント

印刷 — フォントリスト — PCL フォント画面では、プリンターにインストールされている PCL フォントリストが表示されます。

同機能のプリンター操作パネルのメニュー：

ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ― ｲﾝｻﾂ ― ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ ― PCL

ディレクトリリスト

フラッシュメモリー

印刷 — ディレクトリリスト — フラッシュメモリー画面では、プリンターのフラッシュメモリーにインストールされているファイルのリストが表示されます。

同機能のプリンター操作パネルのメニュー：

ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ— ｲﾝｻﾂ — ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ ﾘｽﾄ

プリンターの設定（管理者モード）

PageScope Web Connection を使用して設定変更を行うためには、まず管理者モードに入る必要があります。管理者モードにログインする方法については、「管理者モード」（p.186）を参照してください。

システム画面

システム画面では、ユーザー設定とプリンターに関する設定を行うことができます。

概要（前ページ画面）

システム — 概要画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
プリンタ名	本機のプリンター名が表示されます。
システムリリース	リリースされたシステムコードのバージョンが表示されます。
IP アドレス	本機の IP アドレスが表示されます。
IPv6 ローカルリンクアドレス	イーサネットインターフェースの IPv6 ローカルリンクアドレスを表示します。
IPv6 グローバルアドレス	イーサネットインターフェースの IPv6 グローバルアドレスを表示します。
メモリ容量	本機にインストールされたメモリの容量が表示されます。

項目	説明
両面ユニット	オプションの両面ユニットが装着されているかどうかが表示されます。
リアルタイムクロック	リアルタイムクロックが装着されているかどうかが表示されます。
トレイ 2	オプションのトレイ 2 が装着されているかどうかが表示されます。
印刷品質	現在の印刷品質の設定が表示されます。
［ログアウト］ボタン	このボタンをクリックすると、ユーザーモードからログアウトできます。

オペレーター設定

用紙設定

システム — オペレーター設定 — 用紙設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
トレイ 1 切り替えモード		トレイ 1 の設定をプリンタードライバーで行うか (自動)、操作パネルで行うか（トレイ優先）を選択します。 設定値 : 自動、トレイ優先 初期値 : 自動 同機能のプリンター操作パネルのメニュー : ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ﾖｳｼ ー ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ ー ﾄﾚｲ 1 ｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ
トレイ 1	用紙のサイズ	トレイ 1 にセットする用紙のサイズを設定します。 設定値 : レター、リーガル、エグゼクティブ、A4、A5、B5、B5(ISO)、G. レター、ステートメント、Folio、UK クオート、Foolscap、G. リーガル、ヨウケイ 2、フウトウ DL、ハガキ、カイ 16、カイ 32、16K、SP Folio、Oficio、カスタム 初期値 : A4 同機能のプリンター操作パネルのメニュー : ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ﾖｳｼ ー ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ ー ﾄﾚｲ 1 ー ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ
	用紙の種類	トレイ 1 にセットする用紙の種類を設定します。 設定値 : 普通紙、ラベル紙、レターヘッド、封筒、ハガキ、厚紙 1、厚紙 2 初期値 : 普通紙 同機能のプリンター操作パネルのメニュー : ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ﾖｳｼ ー ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ ー ﾄﾚｲ 1 ー ﾖｳｼ ﾉ ｼｭﾙｲ
トレイ 2	用紙のサイズ	トレイ 2 にセットする用紙のサイズを設定します。 設定値 : A4、レター 初期値 : A4 同機能のプリンター操作パネルのメニュー : ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ﾖｳｼ ー ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ ー ﾄﾚｲ 2 ー ﾖｳｼ ﾉ ｻｲｽﾞ このメニューは、オプションの給紙ユニットが装着されている場合のみ表示されます。

項目	説明
両面印刷モード	両面印刷の設定を行います。 「オフ」が選択されている場合、片面印刷されます。 「長辺綴」が選択されている場合、長辺綴じで両面印刷されます。 「短辺綴」が選択されている場合、短辺綴じで両面印刷されます。 設定値：オフ、長辺綴、短辺綴 初期値：オフ 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ﾖｳｼ — ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ この項目は、オプションの両面ユニットが装着されている場合のみ表示されます。
印刷方向	印刷方向を縦向きか横向きか設定します。 設定値：縦、横 初期値：縦 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ﾖｳｼ — ﾖｳｼﾎｳｺｳ
ページリカバリー	印刷途中で紙づまりが発生したとき、紙づまりを処理した後、印刷されていないページを再印刷するか設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オン 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ﾖｳｼ — ﾍﾟｰｼﾞﾘｶﾊﾞﾘｰ
トレイ切り替え	指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合、自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行するか設定します。 設定値： はい、いいえ 初期値： はい 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ﾖｳｼ — ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ このメニューは、オプションの給紙ユニットが装着されている場合のみ表示されます。

項目		説明
自動継続		プリントジョブの用紙サイズ・種類と指定した給紙トレイの用紙サイズ・種類が異なる場合、印刷を継続するかどうかを設定します。 設定値： オフ、オン 初期値： オフ 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ﾖｳｼ －ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ－ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ
カスタム用紙サイズ	幅	「用紙サイズ」をカスタムに設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。 範囲： 92 ～ 216 mm 初期値： 92 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ﾖｳｼ －ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ－ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ－ﾊﾊﾞ（mm）
	高さ	「用紙サイズ」をカスタムに設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。 範囲 普通紙： 195 ～ 356 mm 厚紙： 184 ～ 297 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ﾖｳｼ －ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ－ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ－ﾀｶｻ（mm）
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定をリセットします。
［カスタム保存］ボタン		現在の数値をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン		すべての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン		すべての設定を初期設定値にします。

トレイマッピング

システム — オペレーター設定 — トレイマッピング 画面では、以下の項目を設定できます。

トレイマッピングページはオプションの給紙ユニットを装着している場合のみ表示されます。

項目	説明
トレイマッピングモード	トレイマッピング機能を使用するかしないかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ﾖｳｼ—ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ—ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ—ﾓｰﾄﾞ

項目	説明
論理トレイ 0~9	他社のプリンタードライバーからプリンタージョブを受信したときに、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 論理トレイ2の初期設定値は物理トレイ2ですが、その他の論理トレイの初期設定値は物理トレイ 1 になります。 設定値：物理トレイ 1、物理トレイ 2 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ―ﾖｳｼ―ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ―ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ―ﾛﾝﾘ ﾄﾚｲ 0~9
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定をリセットします。

カラーと画質品質

システム — オペレーター設定 — カラーと画質品質画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
印刷品質	印刷の解像度を設定します。 設定値： 高品質、標準 初期値： 高品質 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｲﾝｼﾞ ﾋﾝｼﾂ
カラーモード	モノクロ印刷をするかカラー印刷をするかを設定します。 設定値： カラー、モノクロ 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｶﾗｰ ﾓｰﾄﾞ
トナー出力動作	トナーがなくなった時に、プリンターがジョブを受け入れ続けるか停止するかどうかを設定します。「継続」を選択すると、トナーがなくなっても印刷を続行できますが、印刷結果は保証されません。 設定値： 停止、継続 初期値： 停止 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ﾋﾝｼﾂ－ﾄﾅｰｼｭﾂﾘｮｸﾄﾞｳｻ
トナー濃度調整	各色（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）のトナー濃度を設定します。設定値が高いほど、濃度が濃くなります。 範囲： １～５ 初期値： 3
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定をリセットします。
［カスタム保存］ボタン	現在の数値をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン	すべての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン	すべての設定を初期設定値にします。

システムページ印刷

システム — オペレーター設定 —システムページ印刷画面では、システムページを印刷できます。

項目	説明
システムページ印刷	システムページを印刷します。印刷したいページを選択し、[適用] をクリックします。メッセージ画面が現れたら、[OK] をクリックします。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： メイン メニュー — インサツ [リセット] をクリックすると、選択したリストのチェックが解除されます。

消耗品の状態

システム — オペレーター設定 — 消耗品の状態画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
消耗品	プリンターの消耗品が表示されます。
パーセント残り	各消耗品の残りの寿命が表示されます。 ■ トナーカートリッジ、イメージングカートリッジ： %表示
種類	消耗品の種類が表示されます。 ■ 同梱トナー、標準、大容量

画面に表示される消耗品の残業表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

オンラインヘルプ

システム — オペレーター設定 —オンラインヘルプ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
お問い合わせ名	プリンターに関する問い合わせ先を設定します。 範囲：　半角 64 文字以内 初期値：KONICA MINOLTA Customer Support
お問い合わせ先情報	問い合わせ先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：http://printer.konicaminolta.com
プリンターヘルプ URL	製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：http://printer.konicaminolta.com
コーポレート URL	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：http://printer.konicaminolta.com
消耗品及びアクセサリー	消耗品とアクセサリー（付属品）の発注先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：http://www.q-shop.com

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

設定ページ

システム－オペレーター設定－設定ページ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
プリンター情報	基本的なプリンターの情報が表示されます。
オプション	プリンターのオプションとオプションの状態が表示されます。
用紙設定	プリンターの用紙設定が表示されます。
プリンターインターフェース	プリンターのインターフェースの情報が表示されます。

統計ページ

システムーオペレーター設定ー統計ページ画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
消耗品の状態	各消耗品の状態が表示されます。
印刷枚数情報	用紙サイズごとの印刷枚数、用紙種類ごとの印刷枚数が表示されます。
基準換算情報	基準換算カウントの合計、基準換算カバレッジが表示されます。 A4サイズを1ページとして換算した場合の印刷枚数が表示されます。

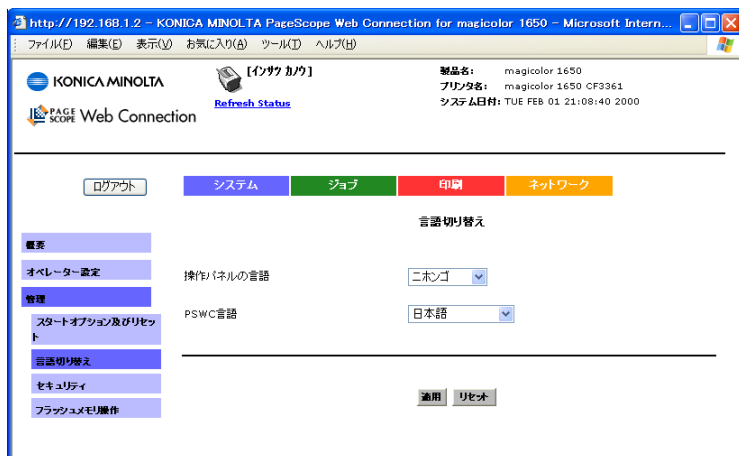
管理

スタートオプション及びリセット

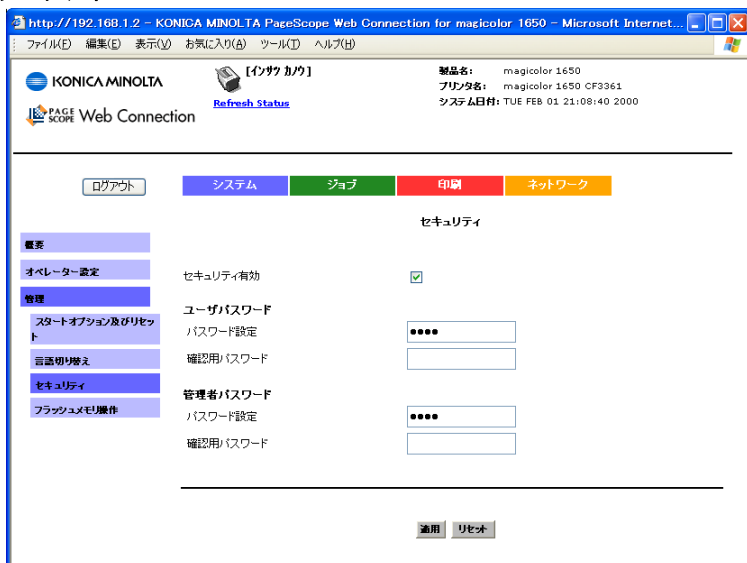
システム－管理－スタートオプション及びリセット画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
節電時間	プリンターを起動させたまま一定時間使用しない場合、節電モードに移行するまでの時間を設定します。 設定値： 15 分後、30 分後、1 時間後 初期値： 30 分後 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ
リセットプリンター	プリンターを再起動します。
SNMP Console Display を表示する	チェックをつけると、SNMP コンソールウィンドウに表示されます。 初期値：チェック済み

項目	説明
プリンタ名	プリンター名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：　magicolor 1650 xxxxxx xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
スタートページ	プリンターの電源を入れたときに、スタートページを印刷するかどうかを設定します。 設定値：　はい、いいえ 初期値：　いいえ 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ― ｼｽﾃﾑ ― ｽﾀｰﾄ ｵﾌﾟｼｮﾝ ― ｽﾀｰﾄ ﾍﾟｰｼﾞ
リセット	プリンターの設定をリセットします。 設定値：　なし、初期設定、カスタム保存、カスタム設定 初期値：　なし 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ― ｼｽﾃﾑ ― ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲｼｮｷｶ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定をリセットします。

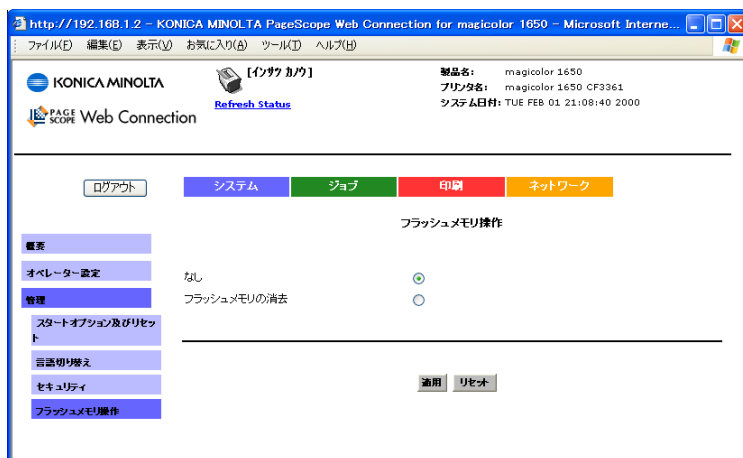
言語切り替え

システム－管理－言語切り換え画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
操作パネルの言語	プリンター操作パネルの表示言語を設定します。 言語の選択欄では、それぞれの言語で表示されます。（「ドイツ語」の場合は「Deutsch」と表示されます） 設定値：英語、チェコ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、オランダ語、日本語（ニホンゴ）、ポーランド語 初期値：日本語（ニホンゴ） 同機能のプリンター操作パネルのメニュー：ｹﾞﾝｺﾞ ｷﾘｶｴ
PSWC 言語	PageScope Web Connection の言語を設定します。 言語の選択欄では、それぞれの言語で表示されます。（「ドイツ語」の場合は「Deutsch」と表示されます） 設定値：英語、チェコ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、簡体中国語、繁体中国語、ロシア語、オランダ語、日本語、ポーランド語 初期値：日本語
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定をリセットします。

セキュリティ

システム－管理－セキュリティ画面では、以下の項目を設定できます。

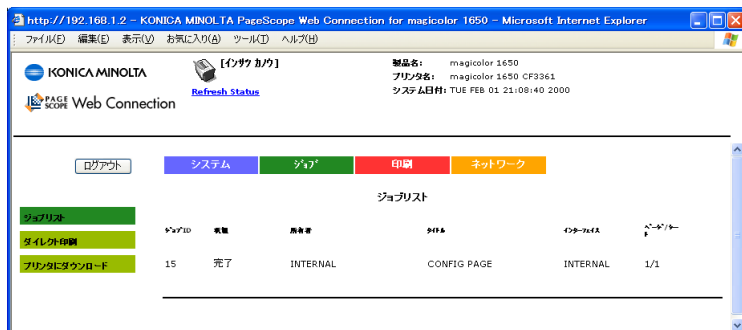
項目		説明
セキュリティ有効		チェックをつけると、プリンターのセキュリティ機能が有効になり、プリンターの設定を変更するためのパスワードが必要になります。 初期値：（チェックなし） 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｾｷｭﾘﾃｨ－ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ－ﾕｳｺｳ
ユーザパスワード	パスワード設定	プリンターのユーザパスワードを設定します。 範囲：　半角 16 文字以内 初期値：1 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｾｷｭﾘﾃｨ－ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ－ ﾕｰｻﾞ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
	確認用パスワード	確認用として、パスワード設定で設定したパスワードを再入力します。

項目		説明
管理者パスワード	パスワード設定	プリンターの管理者パスワードを設定します。 範囲：　半角 16 文字以内 初期値：プリンターのシリアル番号の後半 4 桁 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ｾｷｭﾘﾃｨ—ｾｷｭﾘﾃｨ ｾｯﾃｲ— ｶﾝﾘｼｬﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
	確認用パスワード	確認用として、パスワード設定で設定したパスワードを再入力します。
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定をリセットします。

フラッシュメモリ操作

システムー管理ーフラッシュメモリ操作画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
なし	フラッシュメモリの操作がされません。
フラッシュメモリの消去	プリンターのフラッシュメモリを消去します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ｼｽﾃﾑ—ﾌｫｰﾏｯﾄ—ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘﾉｼｮｳｷｮ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定をリセットします。

ジョブ画面

ジョブ画面では、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できます。

ジョブリスト（上記画面）

ジョブ — ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
ジョブ ID	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンターに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
所有者	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
タイトル	プリントファイル名が表示されます。
状態	プリントジョブの現在の状況が表示されます。
インターフェイス	プリントジョブを取り込んだインターフェイスが表示されます。 ■ USB、ETHERNET、DIRECT PRINT、IPP、INTERNAL
ページ / シート	プリントジョブで印刷されるページ数が表示されます。

ダイレクト印刷

ジョブ－ダイレクト印刷画面では、アプリケーションを起動せずに、直接プリンターからファイルを印刷できます。

ダイレクト印刷では、PS、PCL、テキスト、TIFF、JPEG 形式のファイルが印刷できます。

項目	説明
ファイル名	印刷するファイルの場所を指定します。
[参照] ボタン	クリックすると、印刷するファイルを参照するダイアログボックスを表示します。
[適用] ボタン	この画面で指定したジョブをプリンタへ送信します。

プリンタにダウンロード

ジョブ —プリンタにダウンロード画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
エミュレーション	プリンターのエミュレーションを指定します。 設定値 : PostScript、PCL5 初期値 : PostScript 「PCL5」を選択した場合、テキストボックスに PCL ID を指定します。
ファイルの種類	プリンターにダウンロードするファイルタイプを指定します。 設定値 : フォント、プロファイル、フォーム、シンボルセット、マクロ 初期値 : フォント

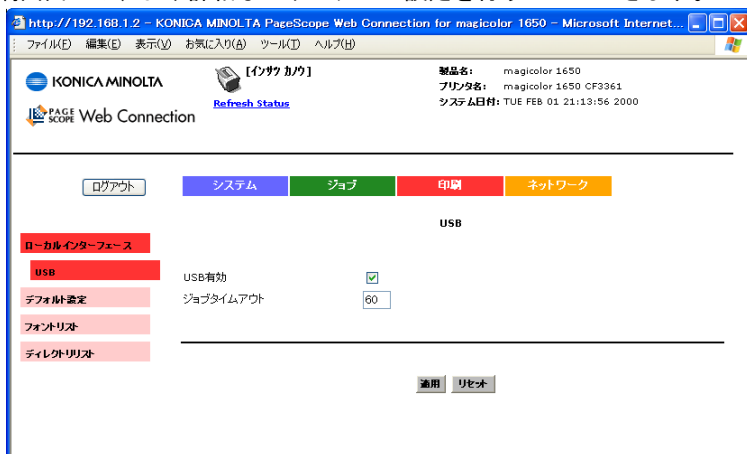
項目	説明
アクション	選択したファイルタイプをダウンロードするか削除するかを指定します。 設定値： 削除、ダウンロード 初期値： ダウンロード エミュレーションで「PostScript」を選択した場合、「削除」を選択すると「削除するファイル名」テキストボックスが表示されます。テキストボックスに削除するファイル名を指定します。
ロケーション	ダウンロード先を指定します。 設定値： フラッシュ、メモリ 初期値： フラッシュ
空き	フラッシュとメモリの空き容量を表示します。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。

プリンタにダウンロード（ファイル指定）

ジョブ－プリンタにダウンロード画面（ファイル指定）では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ファイル名	ダウンロードするファイルを指定します。
［参照］ボタン	クリックすると、ダウンロードするファイルを参照するダイアログボックスが表示されます。
［適用］ボタン	この画面で指定したファイルをプリンタにダウンロードします。

印刷

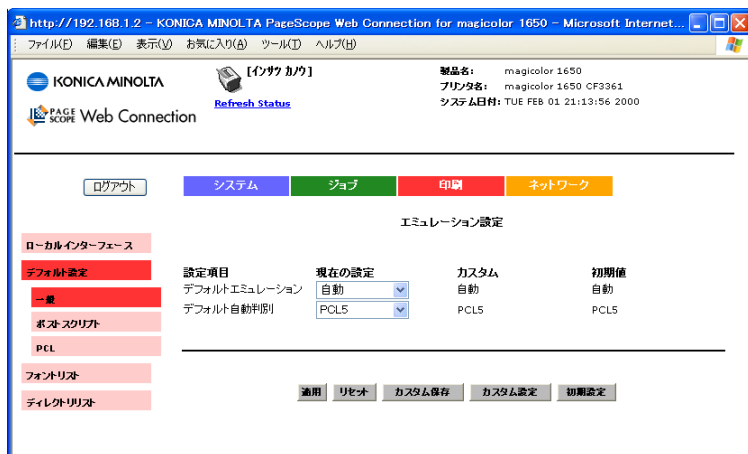
印刷画面では、より詳細なプリンターの設定を行うことができます。

ローカルインターフェース

USB（上記画面）

印刷 — ローカルインターフェース—USB 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
USB 有効	USB ポートを使用するかどうかを選択します。選択しない場合、USB ポートを通じて印刷することができません。 初期値：（チェック済み） 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ— USB —ﾕｳｺｳ
ジョブタイムアウト	受信タイムアウト（秒）を設定します。 範囲： 0 - 999 秒 初期値： 60 秒 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ — ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ— USB — IO ﾀｲﾑｱｳﾄ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

デフォルト設定

一般設定

印刷 — デフォルト設定 — 一般設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
デフォルトエミュレーション	エミュレーションが識別できない印刷ジョブの場合は、デフォルトエミュレーションで設定されたエミュレーションが割り当てられます。 設定値： 自動、ポストスクリプト、PCL5、PCLXL、ヘキサダンプ 初期値： 自動 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ｼｽﾃﾑ—ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ—ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ
デフォルト自動判別	デフォルトエミュレーションで「自動」が選択された場合、プリンターは印刷ジョブに適したエミュレーションを割り当てます。プリンターが自動で割り当てができない場合、この設定のエミュレーションが割り当てられます。 設定値： PCL5、ポストスクリプト 初期値： PCL5 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ｼｽﾃﾑ—ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ—ｼﾞﾄﾞｳ ｾﾝﾀｸ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

項目	説明
［カスタム保存］ボタン	現在の設定をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン	すべての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン	すべての設定を初期設定値に変更します。

ポストスクリプト

印刷－デフォルト設定－ポストスクリプト画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
PS エラーページ	印刷できなかった場合やエラーが発生した場合に、エラーページを印刷するかどうか設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オン 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ｼｽﾃﾑ—ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ—ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ—ｴﾗｰﾚﾎﾟｰﾄ
PS プロトコルイーサネット	ポストスクリプトのジョブを受信するプロトコルを設定します。 設定値： バイナリ、クオーテッドバイナリ 初期値： バイナリ 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ—ｲｰｻﾈｯﾄ— PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。

項目	説明
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットとして、前回の設定値に戻します。
［カスタム保存］ボタン	現在の設定をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン	すべての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン	すべての設定を初期設定値に変更します。

PCL

印刷－デフォルト設定－ PCL 画面では、以下の項目を設定できます。

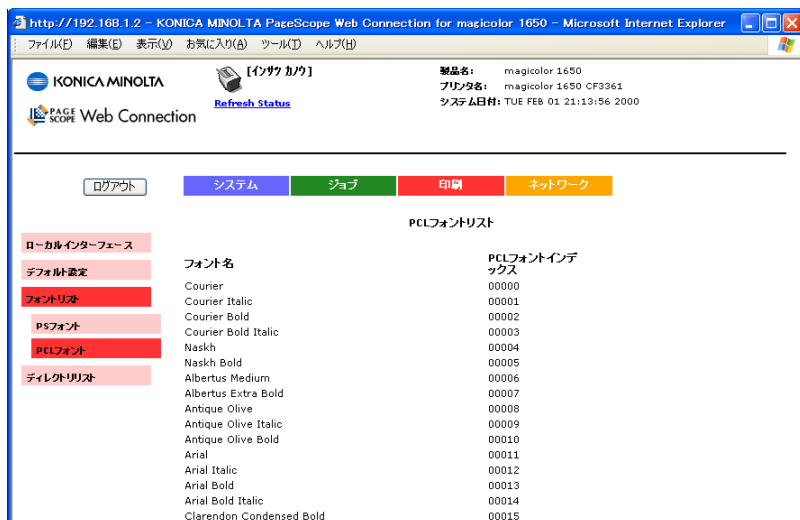
項目	説明
改行指定	PCL 言語での改行コードの定義を設定します。 設定値： CR=CR LF=CRLF, CR=CR LF=LF, CR=CRLF LF=LF, CR=CRLF LF=CRLF 初期値： CR=CR LF=CRLF 同機能のプリンター操作パネルのメニューﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ－ PCL －ｶｲｷﾞｮｳ ｼﾃｲ

項目		説明
PCL フォント	ピッチサイズ	PCL 言語でのビットマップフォントサイズを設定します。 範囲：　0.44 - 99.99 初期値：10.00 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ－ PCL －ﾌｫﾝﾄ－ﾋﾟｯﾁ
	フォント番号	PCL 言語でのデフォルトのフォントを設定します。 範囲：　0 - 32767 初期値：0 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ－ PCL －ﾌｫﾝﾄ－ﾊﾞﾝｺﾞｳ
	ポイント	PCL 言語でのアウトラインフォントサイズを設定します。 範囲：　4.00 - 999.75 初期値：12.00 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ－ PCL －ﾌｫﾝﾄ－ﾎﾟｲﾝﾄ
	シンボルセット	PCL 言語で使用するシンボルセットを設定します。 初期値：PC8 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｾｯﾃｲ－ PCL －ﾌｫﾝﾄ－ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。
［カスタム保存］ボタン		現在の設定をカスタム設定として保存します。
［カスタム設定］ボタン		すべての設定をカスタム設定値に変更します。
［初期設定］ボタン		すべての設定を初期設定値に変更します。

フォントリスト

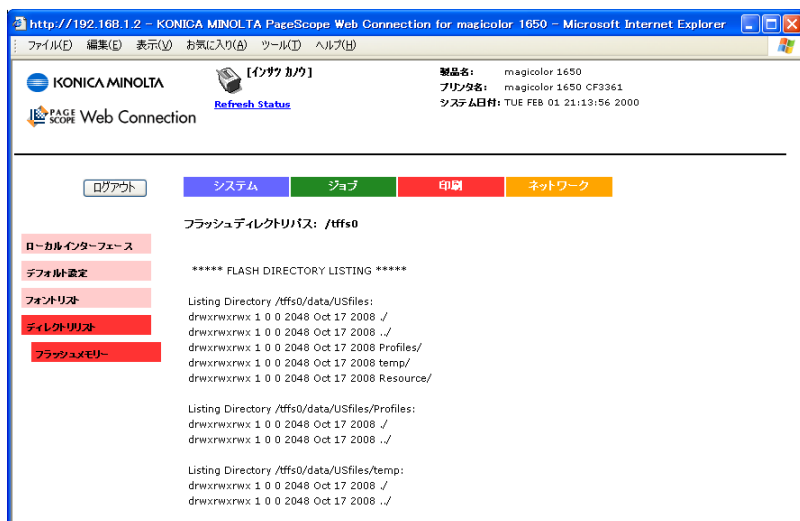
PS フォント

印刷－フォントリスト－ PS フォント画面では、プリンターにインストールされているポストスクリプトフォントリストが表示されます。

同機能のプリンター操作パネルのメニュー：
ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ﾌｫﾝﾄﾘｽﾄ－ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ

PCL フォント

印刷－フォントリスト－ PCL フォント画面では、プリンターにインストールされている PCL フォントリストが表示されます。

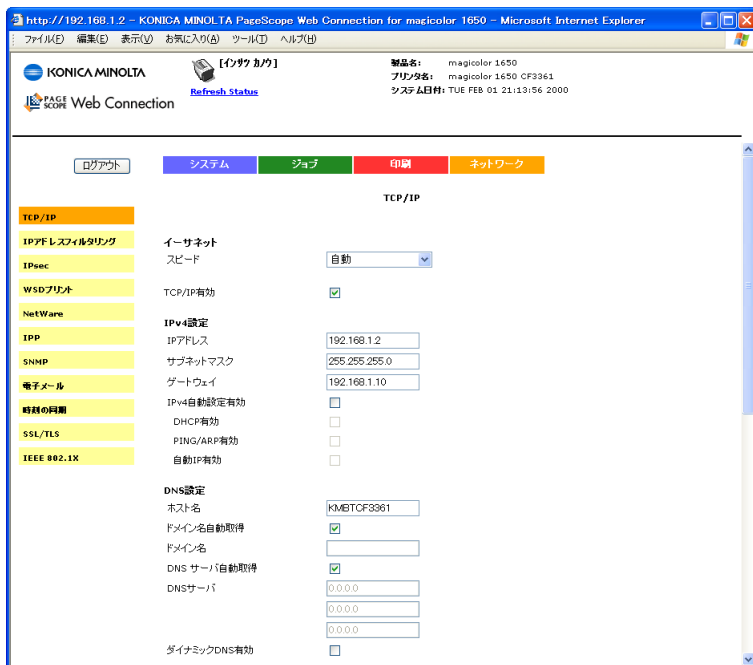
同機能のプリンター操作パネルのメニュー：
ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝｻﾂ－ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ－ PCL

ディレクトリリスト

フラッシュメモリー

印刷－ディレクトリリスト－フラッシュメモリー画面では、プリンターのフラッシュメモリーにインストールされているファイルのリストが表示されます。

同機能のプリンター操作パネルのメニュー：
ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝｻﾂ－ ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ ﾘｽﾄ

ネットワーク画面

ネットワーク画面では、ネットワークの設定を行うことができます。これらのプロトコルの詳細については､第５章“ネットワーク印刷”を参照してください。

TCP/IP（上記画面）

ネットワーク — TCP/IP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
イーサネット	スピード	イーサネットの動作モードを設定します。 設定値： 自動、10 FULL DUPLEX、10 HALF DUPLEX、100 FULL DUPLEX、100 HALF DUPLEX 初期値： 自動 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ—ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ—ｲｰｻﾈｯﾄ—ｽﾋﾟｰﾄﾞ

項目		説明
TCP/IP 有効		TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェック済み 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ﾒﾆｭｰ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP －ﾕｳｺｳ
IPv4 設定	IP アドレス	プリンターの IP アドレスを設定します。 初期値： 192.168.1.2 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP －IPv4 － IP ｱﾄﾞﾚｽ
	サブネットマスク	プリンターのサブネットマスクを設定します。 初期値： 0.0.0.0 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP －IPv4 －ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
	ゲートウェイ	プリンターのデフォルトゲートウェイを設定します。 初期値： 0.0.0.0 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP －IPv4 －ｹﾞｰﾄｳｪｲ
	IPv4 自動設定有効	IPv4 アドレスの自動割り当て方法を設定します。 初期値： チェック済み
	DHCP 有効	チェックをつけると、DHCP が有効になります。 「IPv4 設定 - 自動 IP 有効」の設定が「チェック済み」または「チェックなし」いずれの場合でも有効です。 初期値：チェック済み 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP － IPv4 － DHCP/BOOTP

項目		説明
IPv4 設定	PING/ARP 有効	チェックをつけると、PING/ARP が有効になります。 初期値： チェック済み
	自動 IP 有効	チェックをつけると、IP アドレスが自動で割り当てられます。 「IPv4 設定 - DHCP 有効」のチェックボックスがチェック済みの場合に有効です。 初期値：チェック済み 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ ー ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ ー ｲｰｻﾈｯﾄ ー TCP/IP ー IPv4 ー ｼﾞﾄﾞｳ IP ﾕｳｺｳ
DNS 設定	ホスト名	ホスト名を指定します。 設定値： 半角 63 文字以内 初期値： KMBTxxxxxx xxxxxx にはMAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
	ドメイン名自動取得	チェックをつけると、自動的にドメイン名を取得します。 初期値： チェック済み
	ドメイン名	ドメイン名を指定します。 設定値： 半角 253 文字以内 初期値： 空白
	DNS サーバ自動取得	チェックをつけると、DNS サーバーアドレスを DHCP サーバーなどから自動的に取得する設定にします。 初期値： チェック済み
	DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。最大 3 つまで登録できます。 初期値： 0.0.0.0 IPv4 またはIPv6 アドレスを設定できます。
	ダイナミック DNS 有効	ダイナミック DNS を使用するかどうかを設定します。 初期値：チェックなし

項目		説明
IPv6	IPv6 有効	IPv6 を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェック済み 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP － IPv6 －ﾕｳｺｳ
	IPv6 ローカルリンクアドレス	IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP － IPv6 －ｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾌｧｲﾔ
	グローバルアドレス自動設定有効	IPv6 アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。 初期値： チェック済み 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP － IPv6 －ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾃｲ ﾕｳｺｳ
	IPv6 グローバルアドレス	IPv6 グローバルアドレスを設定します。 範囲： 半角 43 文字以内 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP － IPv6 －ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾌﾟﾚﾌｨｯｸｽ グローバルアドレス自動設定有効が「有効」に設定されている場合、ここでの設定変更は適用されません。
	IPv6 ゲートウェイアドレス	IPv6 ゲートウェイアドレスを設定します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ TCP/IP － IPv6 －ｹﾞｰﾄｳｪｲ 範囲： 半角 39 文字以内 グローバルアドレス自動設定有効が「有効」に設定されている場合、ここでの設定変更は適用されません。

項目		説明
プロトコル	LPD 有効	LPD を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェック済み
	キュー名	LPD のキュー名を表示します。
	FTP 有効	FTP を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェック済み
	FTP ポート番号	FTP ポート番号を指定します。 設定値： 1 - 65535 初期値： 21
	RAW ポート有効	RAW ポートを使用するかどうかを設定します。 初期値： チェック済み
	RAW ポート番号	プリンターの TCP/IP ポートの RAW ポート番号が表示されます。 設定値： 1 - 65535 初期値： 9100
	RAW ポート双方向	RAW ポートの双方向通信を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェック済み
TCP Discovery Services	SLP 有効	SLP を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェック済み
	Bonjour 有効	Bonjour を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェック済み
	Bonjour プリンタ名	プリンターの Bonjour 名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以内 初期値： KONICA MINOLTAmagicolor 1650(xx:xx:xx) xx:xx:xxはMACアドレスの後半6桁です。
	優先プロトコル	Bonjour で優先的に接続するプロトコルを指定します。 設定値： IPP、LPD、RAW ポート 初期値： IPP
[適用] ボタン		この画面で行った設定を適用します。
[リセット] ボタン		この画面で行った設定変更をリセットして、前回の設定値に戻します。

IP アドレスフィルタリング

http://192.168.1.2 – KONICA MINOLTA PageScope Web Connection for magicolor 1650 – Microsoft Internet Exp...

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

KONICA MINOLTA

PAGE SCOPE Web Connection

[インサツ カノウ]

Refresh Status

製品名: magicolor 1650

プリンタ名: magicolor 1650 CF3361

システム日付: TUE FEB 01 21:13:56 2000

ログアウト

システム | ジョブ | 印刷 | ネットワーク

TCP/IP

IPアドレスフィルタリング

IPsec

WSDプリント

NetWare

IPP

SNMP

電子メール

時刻の同期

SSL/TLS

IEEE 802.1X

IPアドレスフィルタリング

受信許可フィルタ

受信許可フィルタ有効

範囲1	0.0.0.0	から	0.0.0.0
範囲2	0.0.0.0	から	0.0.0.0
範囲3	0.0.0.0	から	0.0.0.0
範囲4	0.0.0.0	から	0.0.0.0
範囲5	0.0.0.0	から	0.0.0.0

受信拒否フィルタ

受信拒否フィルタ有効

範囲1	0.0.0.0	から	0.0.0.0
範囲2	0.0.0.0	から	0.0.0.0
範囲3	0.0.0.0	から	0.0.0.0
範囲4	0.0.0.0	から	0.0.0.0
範囲5	0.0.0.0	から	0.0.0.0

適用 リセット

ネットワーク — TCP/IP — IP アドレスフィルタリング画面では、IP アドレスを指定して、プリンターへのアクセスを制限します。

以下の設定は、DNS サーバーおよび DHCP サーバーへの通信には適用されません。

「許可アドレス」で許可した IP アドレスの範囲が、「拒否アドレス」で拒否した IP アドレス範囲と重複した場合は、「拒否アドレス」の拒否設定が優先されます。

項目	説明
受信許可フィルタ	チェックをつけると、プリンターへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定できます。 許可する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。また、指定した範囲以外の IP アドレスからのアクセスは拒否されます。 チェックをはずすと、アクセス許可設定は無効になります。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効
範囲 1 ～ 5	プリンターへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0~225 初期値： 0.0.0.0 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスとに同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。 終了IPアドレスよりも開始IPアドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。
受信拒否フィルタ有効	チェックをつけると、プリンターへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定できます。 拒否する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。 チェックをはずすと、アクセス拒否設定は無効になります。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効

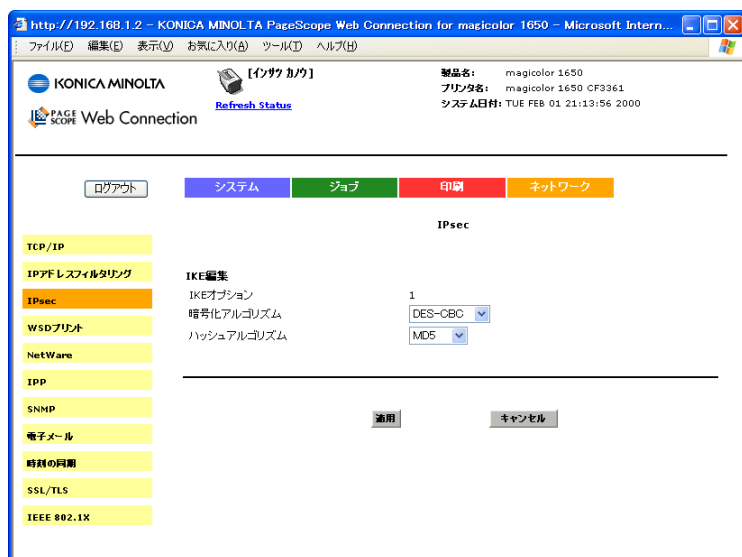
項目	説明
範囲 1 ～ 5	プリンターへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0~225 初期値： 0.0.0.0 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスとに同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。 終了IPアドレスよりも開始IPアドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

IPsec

ネットワーク — IPsec 画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 5 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

項目		説明
IPsec 有効		IPsec を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェックなし
IKE	暗号鍵の有効期限	IKE の使用期限を設定します。 範囲： 80 ～ 604800（秒） 初期値： 28800
	IKE Diffie-Hellman グループ	IKE Diffie-Hellman グループを選択します。 設定値： グループ 1、グループ 2 初期値： グループ 1
	設定オプション	登録されている設定が表示されます。

項目		説明
セキュリティアソシエーション	暗号鍵の有効期限	IPsec SA の使用期限を設定します。 範囲：　120 ～ 604800（秒） 初期値：　3600
	セキュリティアソシエーション設定	登録されている設定が表示されます。
Peer アドレス	Peer アドレス設定	登録されている設定が表示されます。
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定を適用したくない場合にこのボタンを押してください。設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

IPsec（IKE 編集）

ネットワーク－ IPsec — IKE 編集画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 5 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照ください。

項目	説明
IKE オプション	登録された番号が表示されます。

項目	説明
暗号化アルゴリズム	制御用トンネルを作るときに使用する暗号化アルゴリズムを指定します。 設定値： DES-CBC、3DES-CBC 初期値： DES-CBC
ハッシュアルゴリズム	制御用トンネルを作るときに使用する認証アルゴリズムを指定します。 設定値： MD5、SHA-1 初期値： MD5
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

IPsec（セキュリティアソシエーション編集）

ネットワーク — IPsec — セキュリティアソシエーション編集画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
セキュリティアソシエーションオプション	登録された番号が表示されます。

項目	説明
セキュリティプロトコル	セキュリティプロトコルを設定します。 設定値： AH、ESP、ESP & AH 初期値： AH
ESP 暗号化アルゴリズム	セキュリティプロトコルが「ESP」または「ESP & AH」に設定されている場合、ESP 暗号化アルゴリズムを設定します。 設定値： なし、DES-CBC、3DES-CBC、AES-CBC、AES-CTR 初期値： なし
ESP 認証アルゴリズム	セキュリティプロトコルが「ESP」または「ESP & AH」に設定されている場合、ESP 認証アルゴリズムを設定します。 設定値： なし、MD5、SHA-1 初期値： なし
AH 認証アルゴリズム	セキュリティプロトコルが「AH」または「ESP & AH」に設定されている場合、AH 認証アルゴリズムを設定します。 設定値： MD5、SHA-1 初期値： MD5
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットし、IPsec 画面に戻ります。

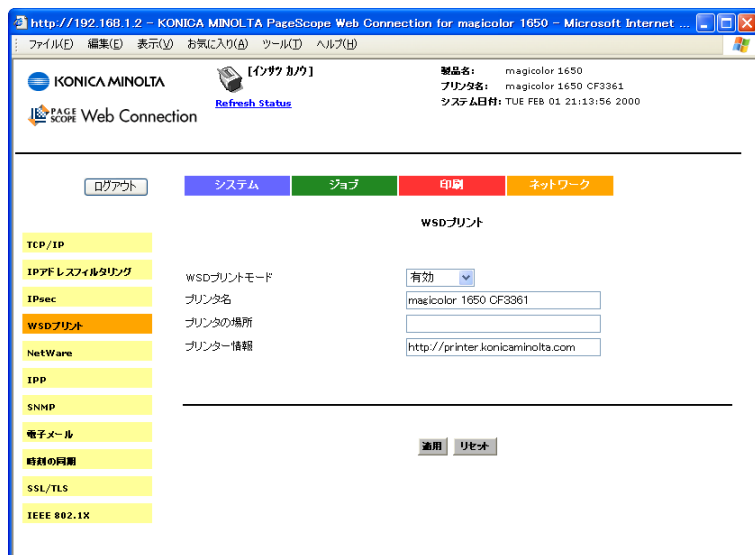
IPsec (IP アドレス編集)

ネットワーク－ IPsec － IP アドレス編集画面では、以下の項目を設定できます。

TCP/IP の詳細については、第 5 章 " ネットワーク印刷 " を参照ください。

項目	説明
アドレス番号	登録されたアドレス番号が表示されます。
IP アドレス	通信先の IP アドレスを設定します。 範囲： 半角 45 文字以内 初期値：（空白） IPv4 または IPv6 のアドレスを設定できます。
パーフェクトフォワードセキュリティー有効	IKE の強度を上げたい場合は、選択します。 初期値： 未チェック
プレ共有キー	通信相手先と共有する Pre-Shared Key 文字列を設定します。 範囲： 半角 64 文字以内 初期値：（空白）
カプセル化モード	IPsec の動作モードを設定します。 設定値： トンネルモード、トランスポートモード 初期値：トンネルモード
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。

項目	説明
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

WSD プリント

ネットワーク — WSD プリント画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
WSD プリントモード	WSD プリント機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効、SSL 有効 初期値： 有効
プリンタ名	プリンター名が表示されます。 範囲： 半角 127 文字以内 初期値： magicolor 1650 (xxxxxx) xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
プリンタの場所	プリンターの設置場所が表示されます。 範囲： 半角 127 文字以内 初期値： （空白）

項目	説明
プリンター情報	プリンターの情報が表示されます。 範囲：　　半角 127 文字以内 初期値： http://printer.konicaminolta.com
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

NetWare

NetWare

ネットワーク — NetWare 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
基本設定	NetWare 有効	NetWare を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェック済み
	フレームタイプ	フレームタイプを設定します。 設定値： 自動、Ethernet 802.2、Ethernet 802.3、Ethernet II、Ethernet SNAP 初期値： 自動 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ－ｲｰｻﾈｯﾄ－ IPX/SPX －ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
	動作モード	NetWare の動作モードを設定します。 設定値： プリントサーバー リモートサーバー 初期値： プリントサーバー

項目		説明
プリントサーバー設定	プリントサーバー名	プリンターのサーバー名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以内 初期値：KMBTxxxxxx xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
	プリントサーバーパスワード	プリントサーバーのパスワードを設定します。 範囲：　半角 63 文字以内 初期値：（空白）
	有効パスワード	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲：　半角 63 文字以内 初期値：（空白）
	プリントサーバモード	プリンターのサーバーモードを設定します。 設定値：バインダリ、NDS、両方 初期値：NDS
	優先ファイルサーバ	プリンターの優先ファイルサーバーを設定します。 範囲：　半角 47 文字以内 初期値：（空白）
	優先 NDS ツリー名	プリンターの優先 NDS ツリーを設定します。 範囲：　半角 63 文字以内 初期値：（空白）
	優先 NDS コンテキスト名	プリンターの優先 NDS コンテキストを設定します。 範囲：　半角 191 文字以内 初期値：（空白）
	プリントキュー取得間隔	キュースキャン間隔を設定します。 範囲：　1 ～ 65535（秒） 初期値：1
	プリンター番号	プリンター番号を設定します。 範囲：　0 ～ 255 初期値：255
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

IPP

ネットワーク — IPP 画面では、以下の項目を設定できます。IPP の詳細については、第 5 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

設定を有効にするためには、設定後にプリンターを再起動してください。

項目	説明
IPP 有効	IPP を有効にするかどうかを設定します。 初期値： チェック済み
プリンタ名	プリンター名が表示されます。 範囲： 半角 127 文字以内 初期値： magicolor 1650 xxxxxx xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。

項目		説明
プリンタの場所		プリンターを設置してある場所が表示されます。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：（空白）
IPP ジョブの受信		IPP ジョブの受信を有効にするかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
プリンタモデル名		プリンターのモデル名が表示されます。
プリンタ URL		プリンターの URL が表示されます。 – http://IP アドレス /ipp – http://FQDN:/ipp – ipp://IP アドレス /ipp – ipp://FQDN:/ipp – https://IP アドレス /ipp – https://FQDN:/ipp "https://IP アドレス /ipp" および "https://FQDN:/ipp" は、SSL/TLS 設定が有効な場合にのみ表示されます。
サポートする操作	印刷ジョブ	この項目にチェックをつけると、ジョブがプリントできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	有効ジョブ	この項目にチェックをつけると、プリントジョブを確認できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブのキャンセル	この項目にチェックをつけると、ジョブをキャンセルできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブ属性の取得	この項目にチェックをつけると、ジョブの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブの取得	この項目にチェックをつけると、ジョブを取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	プリンタ属性の取得	この項目にチェックをつけると、プリンターの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）

項目	説明
認証方式	IPP 印刷時の認証方式を設定します。 設定値 : なし、要求されたユーザ名、 ベーシック認証、ダイジェスト認証 初期値 : 要求されたユーザ名
ユーザー名	ベーシック認証、ダイジェスト認証で使用するユーザー名を設定します。 範囲 : 半角 20 文字以内 初期値 : user
パスワード	ベーシック認証、ダイジェスト認証で使用するパスワードを設定します。 範囲 : 半角 20 文字以内 初期値 : pass
領域	認証方式がベーシック認証またはダイジェスト認証の場合、領域を設定します。 範囲 : 半角 127 文字以内 初期値 : IPP
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

SNMP

ネットワーク — SNMP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
SNMP	SNMP v1/ v2C 有効	SNMP v1/v2c(IP) を使用する場合は、チェックをつけます。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	SNMP v3 有効	SNMP v3(IP) を使用する場合は、チェックをつけます。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効
	IPX SNMP v1 有効	SNMP v1(IPX) を使用する場合は、チェックをつけます。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効

項目		説明
	UDP ポート	UDP ポート番号を設定します。 範囲：　1 ～ 65535 初期値：161
SNMP v1/ v2C	読み取り専用コミュニティ名	読み取り時に使用されるコミュニティ名を設定します。 範囲：　半角 15 文字以内 初期値：public
	読み取り / 書き込みコミュニティ名	読み書き時に使用されるコミュニティ名を設定します。 範囲：　半角 15 文字以内 初期値：private
SNMP v3	コンテキスト名	コンテキスト名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以内 初期値：（空白）
開示	ユーザ名の開示有効	検出用ユーザー名を有効にするかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	開示 ユーザ名	検出用ユーザー名を設定します。 範囲：　半角 32 文字以内 初期値：public
	セキュリティレベル	開示ユーザーのセキュリティレベルを表示します。
	アクセス権	開示ユーザーのアクセス権を表示します。
読み取り専用アカウント	ユーザー名	読み取り専用ユーザーのユーザー名を設定します。 範囲：　半角 32 文字以内 初期値：initial 開示ユーザー名とは別の名前を設定してください。
	認証パスワード	読み取り専用ユーザーの認証パスワードを設定します。 範囲：　半角 8 ～ 32 文字 初期値：AuthPassword
	プライバシーパスワード	プライバシー（暗号）に使用する読み取り専用ユーザーのプライバシーパスワードを設定します。 範囲：　半角 8 ～ 32 文字 初期値：PrivPassword

項目		説明
	セキュリティレベル	読取り専用のユーザーのセキュリティレベルを設定します。 設定値：noAuthNoPriv、authNoPriv、AuthPriv 初期値：AuthPriv
読み取り / 書き込みアカウント	ユーザー名	読み書き専用ユーザーのユーザー名を設定します。 範囲：　半角 32 文字以内 初期値：　restrict 開示ユーザー名とは別の名前を設定してください。
	認証パスワード	読み書き専用ユーザーの認証パスワードを設定します。 範囲：　半角 8 ～ 32 文字 初期値：　<Mac address>（コロンは含まない）
	プライバシーパスワード	プライバシー（暗号化）に使用される読み書き専用ユーザーのプライバシーパスワードを設定します。 範囲：　半角 8 ～ 32 文字 初期値：　<Mac address>（コロンは含まない）
	セキュリティレベル	読み書き専用ユーザーのセキュリティレベルを設定します。 設定値：　noAuthNoPriv、authNoPriv、AuthPriv 初期値：　AuthPriv
SNMP トラップ	トラップ有効	トラップ機能を使用するかどうかを設定します。 設定値：　有効、無効 初期値：　有効
	認証失敗時トラップ有効	認証失敗時にトラップ機能を使用するかどうかを設定します。 設定値：　有効、無効 初期値：　無効
	トラップコミュニティ名 1	プリンターのコミュニティ名 1 を設定します。 範囲：　半角 15 文字以内 初期値：　public
	トラップ IP アドレス 1	プリンターの IP アドレスを設定します。IPv4、IPv6 または FQDN のアドレスを設定できます。 範囲：　半角 255 文字以内 初期値：　0.0.0.0

項目		説明
	トラップ UDP ポート番号 1	プリンターの UDP ポート番号を設定します。 設定値： 1 - 65535 初期値： 162
	トラップコミュニティ名 2	プリンターのコミュニティ名 2 を設定します。 範囲： 半角 15 文字以内 初期値： public
	トラップ IP アドレス 2	プリンターの IP アドレスを設定します。IPv4、IPv6 または FQDN のアドレスを設定できます。 範囲： 半角 255 文字以内 初期値： 0.0.0.0
	トラップ UDP ポート番号 2	プリンターの UDP ポート番号を設定します。 設定値：1 - 65535 初期値：162
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

電子メール

ネットワーク — 電子メール画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
電子メール	差出	電子メールの差出アドレスを設定します。 範囲： 128 文字以内 初期値：（空白） メールアドレスはRFCの形式規格に従って入力してください。 name@domain_name カンマ、セミコロン、コロン、スペースは使用できません。
	宛先	電子メールの宛先アドレスを設定します。 範囲： 128 文字以内 初期値：（空白）
	件名	電子メールに付加する件名を設定します。 範囲： 128 文字以内 初期値：（空白）

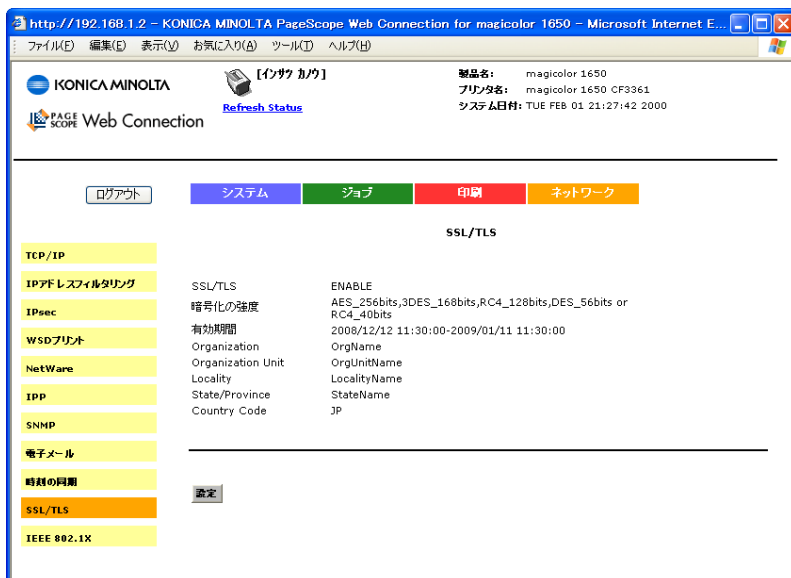
項目		説明
エラー発生時に E メール通知を行う		エラーが発生した場合に E メール通知を行うまでの時間を設定します。 範囲： オフ、1 分後、30 分後、1 時間後、テスト 初期値： オフ
SMTP メールサーバー	メールサーバーアドレス	メール送信サーバーのアドレスを設定します。 IPv4 アドレスまたは SMTP サーバーの FQDN を設定できます。 範囲： 半角 255 文字以内 初期値： 0.0.0.0
	ポート番号	メール送信サーバーのポート番号を設定します。 範囲： 1 ～ 65535 初期値： 25
	接続タイムアウト	メール送信時の接続タイムアウト時間を設定します。 範囲： 30 ～ 300（秒） 初期値： 60
SMTP 認証	アカウント	SMTP 認証で使用されるアカウント名を設定します。 範囲： 半角 255 文字以内 初期値：（空白）
	パスワード	SMTP 認証で使用されるパスワードを設定します。 範囲： 半角 128 文字以内 初期値：（空白）
	領域	認証方式が「Digest-MD5」の場合、realm を設定します。 範囲： 半角 255 文字以内 初期値：（空白）
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。		

時刻の同期

ネットワーク－時刻の同期画面では、以下の項目を設定できます。

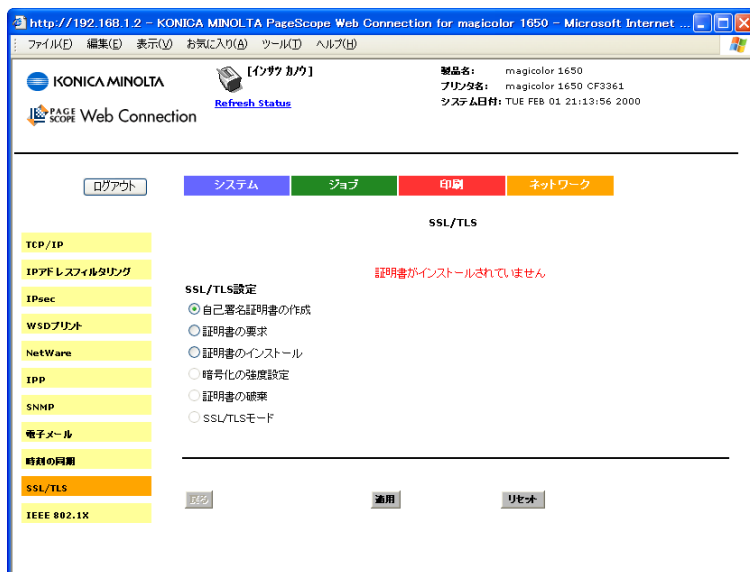
項目		説明
日付 / 時刻設定	日、月、年	プリンターに内蔵されている時計の日、月、年を設定します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ﾋﾂﾞｹ
	時、分、秒	プリンターに内蔵されている時計の時、分、秒を設定します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ－ｼｽﾃﾑ－ﾋﾂﾞｹ
SNTP 有効		プリンターに内蔵されている時計を SNTP で自動的に補正するかどうかを設定する。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効（チェックなし）

項目	説明
SNTP サーバアドレス	SNTP サーバーのアドレスを設定します。 IPv4、IPv6 または FQDN を設定できます。 範囲： 半角 255 文字以内 初期値： 0.0.0.0
SNTP ポート	SNTP サーバーのポート番号を設定します。 範囲： 1 - 65535 初期値： 123
同期間隔	SNTP サーバーへアクセスする頻度を設定します。 設定値： 1 時間後、12 時間後、24 時間後、 1 週間後 初期値： 1 時間後
タイムゾーン	E メール通知を行うときのタイムゾーンを設定します。
前回同期時刻	最後に補正が行われた日と時間を表示します。
夏時間の調整	補正した時刻を保存します。
［今すぐ時刻の同期を行う］ボタン	このボタンをクリックすると、設定した時刻が標準となります。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

SSL/TLS

ネットワーク — SSL/TLS 画面では、SSL/TLS の設定を行うことができます。

SSL/TLS は、デフォルトではインストールされていません。[設定] ボタンをクリックすると、証明書を自己作成して SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
[設定] ボタン	SSL/TLS 設定画面が表示されます。

SSL/TLS 設定

ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 設定画面では、次に表示する SSL/TLS の設定画面を選択します。

項目	説明
自己署名証明書の作成	証明書を自己作成します。
証明書の要求	証明書発行を認証局に要求するためのデータを作成します。
証明書のインストール	認証局が発行した証明書をインストールします。
暗号化の強度設定	暗号化の強度を設定できます。
証明書の破棄	証明書を破棄できます。
SSL/TLS モード	SSL で通信するモードを設定します。
［戻る］ボタン	前の画面に戻ります
［適用］ボタン	選択した画面が表示されます。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

自己署名証明書の設定

ネットワーク — SSL/TLS — 自己署名証明書の設定画面では、証明書を自己発行して、SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
Common Name	SSL 証明書の作成に使用する、プリンターのコモンネームが表示されます。コモンネームは「プリンターのホスト名 .DNS サーバー名」で構成されています。DNS サーバーが利用できない場合には、コモンネームにはプリンターのホスト名のみが使用されます。 この文字列は変更できません。
Organization	組織名または団体名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以内 初期値：（空白）
Organization Unit	部署名を設定します。 範囲：　半角 63 文字以内 初期値：（空白）

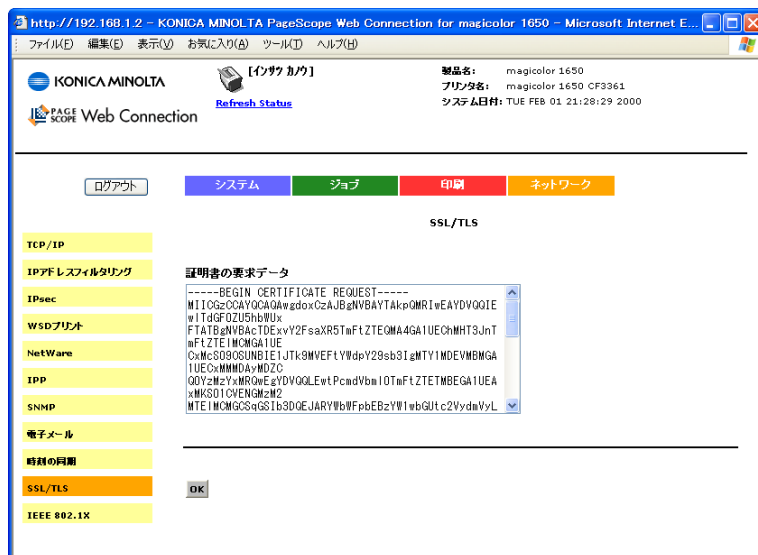
項目	説明
Locality	市町村名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：（空白）
State/Province	州名または県名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：（空白）
Country Code	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：　半角 2 文字 初期値：（空白）
電子メール	電子メールのアドレスを指定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：（空白）
有効な開始日付	現在時刻が表示されます。
有効期間	有効期間を設定します。 範囲：　1 ～ 3650（日） 初期値：30
暗号化の強度	暗号の強度を選択します。 設定値： – AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits 初期値：AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
［戻る］ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［適用］ボタン	自己証明書を作成します。 証明書を作成するために数分かかります。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

証明書の要求

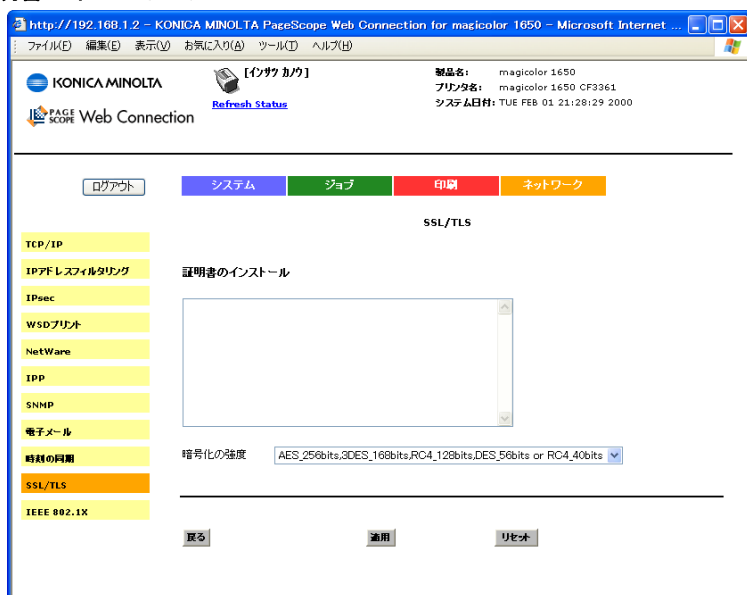
ネットワーク — SSL/TLS — 証明書の要求画面では、以下の項目が設定できます。

項目	説明
Common Name	SSL 証明書の作成に使用する、プリンターのコモンネームが表示されます。コモンネームは「プリンターのホスト名 .DNS サーバー名」で構成されています。DNS サーバーが利用できない場合には、コモンネームにはプリンターのホスト名のみが使用されます。 この文字列は変更できません。
Organization	組織名または団体名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以内 初期値：（空白）
Organization Unit	部署名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以内 初期値：（空白）
Locality	市町村名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以内 初期値：（空白）

項目	説明
State/Province	州名または県名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：（空白）
Country Code	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：　半角 2 文字 初期値：（空白）
電子メール	電子メールのアドレスを指定します。 範囲：　半角 127 文字以内 初期値：（空白）
［戻る］ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［適用］ボタン	証明書発行のための要求データを作成します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

証明書の要求データ

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書の要求画面では、認証局に提出する、証明書発行要求用のデータを表示します。

項目	説明
証明書の要求データ	認証機関に提出するためのデータを表示します。このデータは証明書署名要求（CSR、Certificate Signing Request）と呼ばれ、ユーザーから認証機関に提出されることになります。
［OK］ボタン	SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書のインストール

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書のインストール画面では、認証局から発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
証明書のインストール	署名済みの証明書署名要求（CSR、Certificate Signing Request）をこのテキストエリアに貼り付けます。
暗号化の強度	暗号の強度を設定します。 設定値： – AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits 初期値：AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
［戻る］ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［適用］ボタン	暗号化の強度の設定画面が表示されます。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

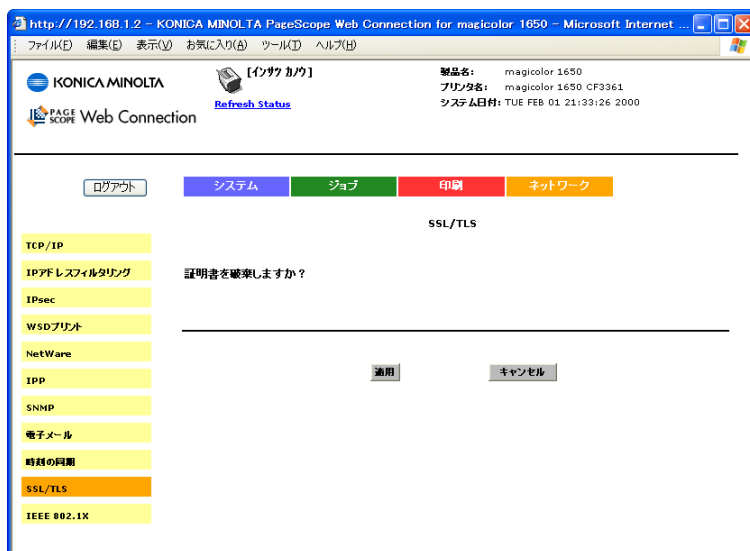
暗号化の強度設定

このメニューは、証明書がインストールされている場合に表示されます。

ネットワーク — SSL/TLS — 暗号化の強度設定画面では、暗号化の強度を設定できます。

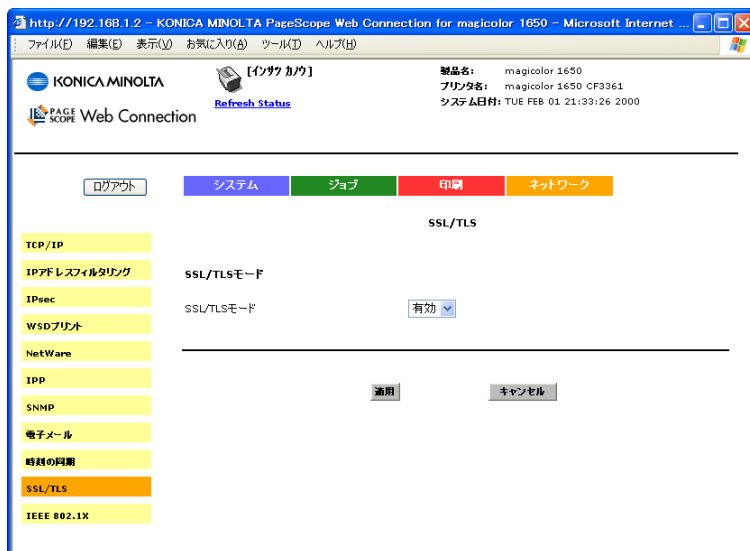
項目	説明
暗号化の強度	暗号の強度を設定します。 設定値： – AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits 初期値： AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
［適用］ボタン	暗号化の強度を設定します。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書の破棄

このメニューは、証明書がインストールされている場合に表示されます。

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書の破棄画面では、インストールされている証明書を削除できます。

項目	説明
［適用］ボタン	確認画面が表示されます。確認画面で［OK］ボタンをクリックすると、証明書が削除されます。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

SSL/TLS モード

このメニューは、証明書がインストールされている場合に表示されます。

ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS モード画面では、SSL で通信するモードを設定できます。

項目	説明
SSL/TLS モード	SSL で通信するモードを選択します。 設定値： 無効、有効 初期値： 有効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［キャンセル］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

IEEE802.1X

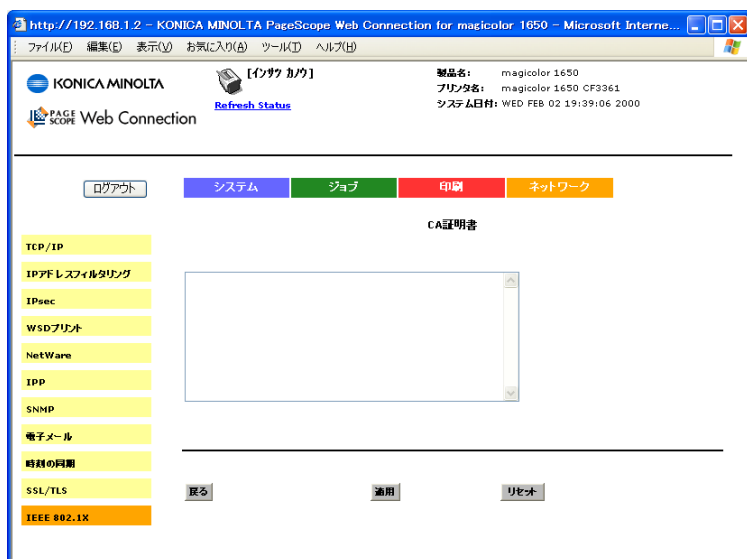
ネットワーク — IEEE802.1X 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
IEEE802.1X	IEEE802.1X を使用するかどうかを設定します。 初期値： チェックなし
EAP タイプ	IEEE802.1X で使用する認証方式を指定します。 設定値： EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS、PEAP、サーバの規格に従う 初期値： サーバの規格に従う
ユーザ ID	EAP タイプを「EAP-MD5」、「EAP-TLS」、「EAP-TTLS」、「PEAP」または「サーバの規格に従う」に設定した場合、ユーザ ID を設定します。 範囲： 半角 128 文字以内 初期値：（空白）

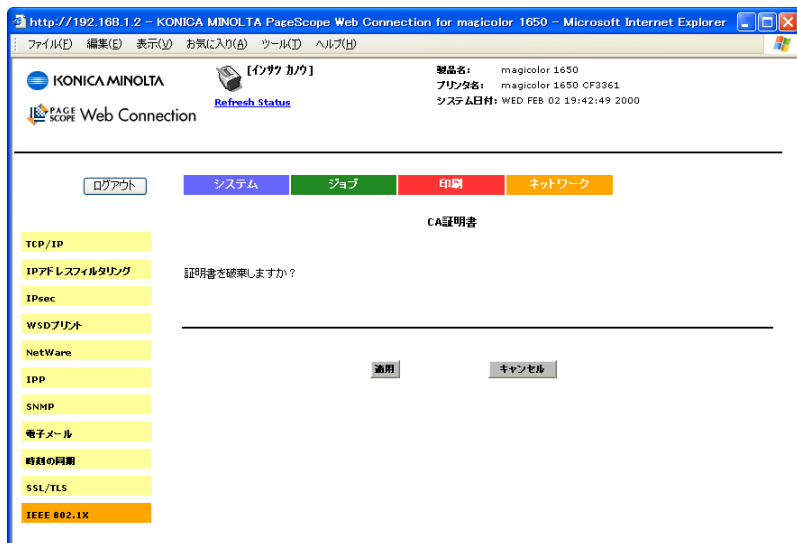
項目	説明
パスワード	EAP タイプを「EAP-MD5」、「EAP-TTLS」、「PEAP」または「サーバの規格に従う」に設定した場合、パスワードを設定します。 範囲： 半角 128 文字以内 初期値：（空白）
TTLS 匿名	EAP － TTLS 一次認証で使用するログイン名を設定します。EAP タイプを「EAP-TTLS」または「サーバの規格に従う」に設定した場合に設定します。 範囲： 半角 128 文字以内 初期値： anonymous EAP タイプが「サーバの規格に従う」で実際の認証方式が EAP-MD5 の場合、ユーザ ID と同じ値を入力してください。
TTLS 認証タイプ	EAP － TTLS の phase2 認証手順を指定します。EAP タイプを「EAP-TTLS」または「サーバの規格に従う」に設定した場合に設定します。 設定値： PAP、MS-CHAP、MS-CHAPv2 初期値： MS-CHAPv2
サーバ ID	サーバー証明書の CN アトリビュート値と後方一致で検証させるための文字列を設定します。EAP タイプを「EAP-TLS」、「EAP-TTLS」または「PEAP」に設定した場合に設定します。 範囲： 半角 64 文字以内 初期値：（空白）
CA 証明書	サーバー証明書の CA 信頼性検証に使用される CA 証明書がインストールされているかどうかが表示されます。 証明書のインストールはネットワーク — 認証 — CA 証明書画面で行います。
サーバ証明書検証	サーバー証明書の検証を行うかどうかを設定します。EAP タイプを「EAP-TLS」、「EAP-TTLS」または「PEAP」に設定した場合に設定します。 設定値： 有効期間、CA チェイン、サーバ ID

項目	説明
クライアント証明書	クライアント証明書がインストールされているかどうかが表示されます。 証明書のインストールはネットワーク — SSL/TLS 画面で行います。
クライアント証明書送信	サーバーからクライアント証明書を要求された場合に、クライアント証明書を送付するかどうかを設定します。EAP タイプを「EAP-TTLS」または「PEAP」に設定した場合に設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効
暗号化の強度	EAP-TLS/TTLS/PEAP での TLS パケットの暗号化強度を設定します。 設定値： 弱、中間、強 初期値： 弱
ネットワーク停止までの時間	認証が成功しない場合の、認証開始からネットワーク停止までの猶予時間を設定します。「0」に設定すると、認証が成功しない場合でも、ネットワークは停止しません。 範囲： 0、60 ～ 255（秒） 初期値： 0
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

CA 証明書

証明書のインストール

ネットワーク — IEEE802.1X — 証明書のインストール画面では、認証局で発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
証明書のインストール	認証局から送付されてきたテキスト形式の CSR（証明書署名要求）を画面に貼り付けてインストールします。
［戻る］ボタン	IEEE802.1X 画面に戻ります。
［適用］ボタン	クリックすると、証明書をインストールします。
［リセット］ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

証明書の破棄

ネットワーク — IEEE802.1X — 証明書の破棄画面では、インストールされた証明書を破棄することができます。

項目	説明
［適用］ボタン	証明書が破棄されます。
［キャンセル］ボタン	IEEE802.1X 画面に戻ります。

索引

へ

ほ

り

ろ